

さいたま市 健康についての調査

報告書

平成18年3月

さいたま市

目 次

1	調査の概要	
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象および方法	1
(3)	回収状況	1
(4)	留意事項	1
2	回答者の属性	
(1)	性別と年齢	2
(2)	就労形態	3
(3)	世帯類型	4
(4)	居住区	5
(5)	BMI	6
3	調査結果等から得た「ヘルスプラン21」平成17年調査値について	8
4	分析結果	
(1)	健康観と健康状況	
①	健康状態	15
②	健康への配慮	17
③	健康に配慮して実行していること	19
④	健康についての不安	21
⑤	不安の内容	23
⑥	不安の相談相手	25
(2)	栄養・食生活について	
①	食生活の状況	26
②	朝食の摂取状況	29
③	野菜の摂取状況	31
④	各種食品の摂取状況	32
⑤	外食の頻度	34
⑥	食生活の評価	36
⑦	食生活の改善意欲	37
(3)	身体活動・運動	
①	意識的に体を動かすこと	38
②	日常生活での歩く時間	40
③	運動習慣の有無	41
④	行っている運動	43
⑤	運動していない理由	44
(4)	休養・こころの健康	
①	ストレスの有無	45
②	ストレスの原因	47
③	ストレス解消の程度	49
④	ストレス解消の方法	51
⑤	相談相手の有無	53

⑥相談相手	54
⑦平均睡眠時間	55
⑧睡眠による休養の充足状況	56
⑨眠りを助けるための睡眠剤やアルコールの使用状況	58
⑩生きがいの有無	60
⑪生きがいの内容	62
(5) たばこ	
①喫煙が及ぼす健康影響についての知識	64
②分煙化・禁煙化の意向	66
③喫煙率	67
④喫煙開始年齢	69
⑤喫煙のきっかけ	70
⑥禁煙・節煙の意向	71
⑦喫煙の際の周囲への配慮	72
(6) アルコール	
①アルコールが及ぼす健康影響についての知識	73
②飲酒の頻度	74
③1日の酒量	76
④飲酒開始年齢	77
⑤飲酒のきっかけ	78
⑥今後の飲酒の意向	79
(7) 歯の健康	
①歯科検診の受診状況	80
②歯や口の健康のために気を付けていること	82
③歯や口の状態	84
④歯や口の状態がよくない理由	85
(8) 疾病予防・健康診断	
①最近1年以内の健康診断や検査の受診状況	87
②受診場所	89
③生活習慣病についての指摘	100
④健診を受けていない理由	106
(9) 食の安全性	
①食品の安全性に対する不安	108
②情報入手に利用したい広報媒体	110
③食品の安全性確保のために市が取り組むべきこと	111
(10) 市の施策	
①ヘルスプラン21の認知度	112
②ヘルスプラン21の情報を得た際の広報媒体	113
③市の健康づくり関連事業についての参加状況・認知度	114
(11) 市への意見・要望	117
調査票	123

1 調査の概要

(1) 調査の目的

さいたま市では平成15年3月に策定した「さいたま市ヘルスプラン21」（計画期間：平成15（2003）～22（2010）年度）に基づき、市民の健康増進と一次予防のための取り組みを進めています。

この計画は、期間の中間にあたる平成18（2006）年度に見直しを行うとしていることから、その基礎資料を得るため、平成15年度に続き、平成17年8月に市民1万人を対象とする第2回目の「健康についての調査」を実施しました。本報告書はその結果をまとめたものです。

(2) 調査対象および方法

- ①調査地域：さいたま市全域
- ②調査対象：市内在住の15歳以上の男女各5,000人、計10,000人
- ③抽出方法：15～24歳、25～44歳、45～64歳、65歳以上の4つの年齢階層ごとに2,500人を住民基本台帳より無作為抽出
- ④調査方法：郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間：平成17年8月～10月初旬

(3) 回収状況

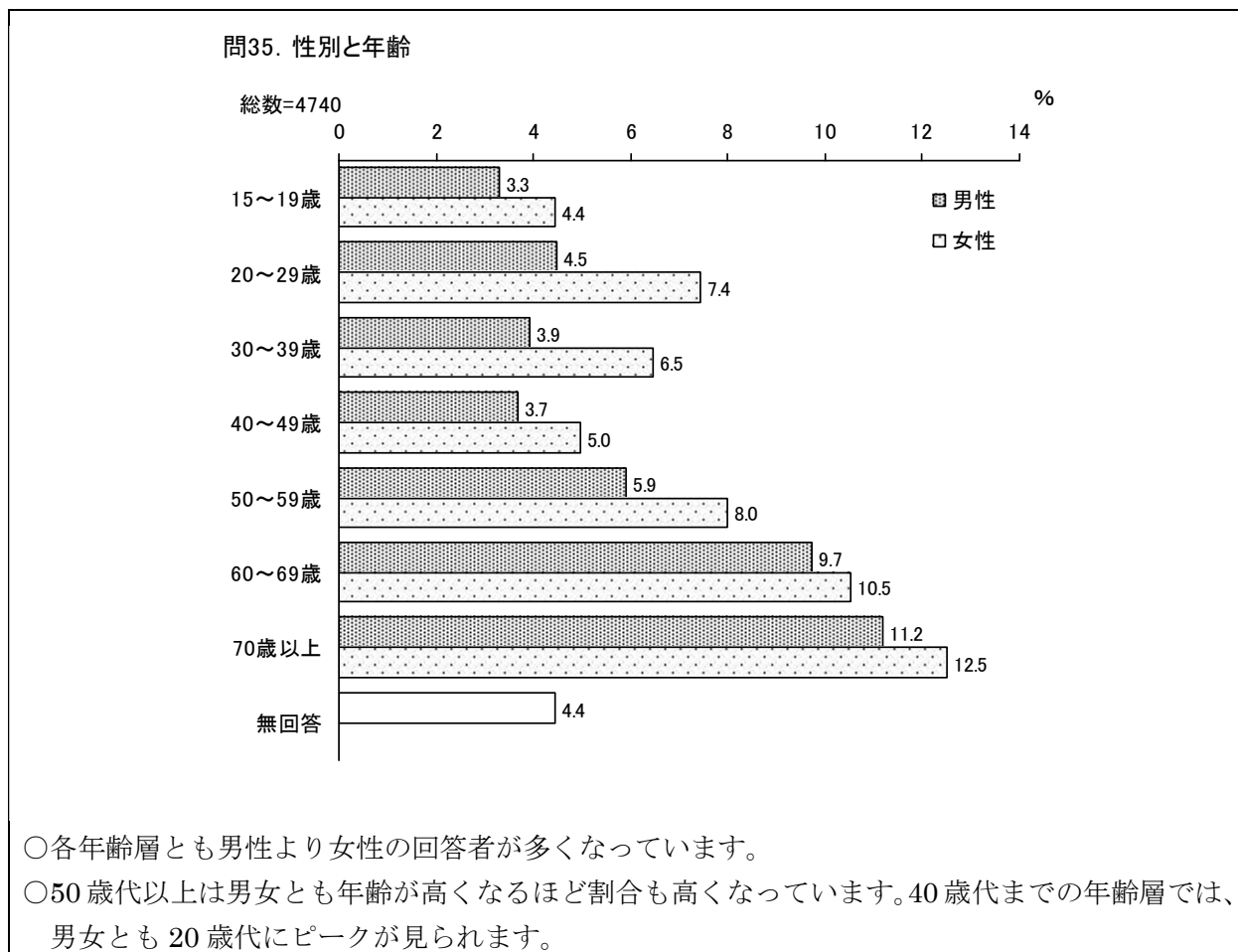
	配布数(票)	有効回収数(票)	有効回収率(%)
15～19歳	1,144	367	32.1
20～29歳	1,926	564	29.3
30～39歳	1,375	493	35.9
40～49歳	1,124	410	36.5
50～59歳	1,304	659	50.5
60～69歳	1,501	960	64
70歳以上	1,626	1,124	69.1
性別年齢不詳	—	163	—
合計	10,000	4,740	47.4
参考(前回調査)	10,000	4,233	42.3

(4) 留意事項

- ・今回のアンケート調査では、平成17年4月に誕生した岩槻区が加わっています。
- ・集計は単純集計と属性（男女別年齢10歳階級、就労形態、世帯類型、居住区）およびBMIとのクロス集計を行いました。クロス集計については、とくに目立った傾向のあるものについて言及しています。
- ・回答の比率（％）は、その設問の回答者数を基数（N）として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100％を超えることがあります。
- ・回答の比率（％）は四捨五入により端数処理をしています。そのため、属性ごとの回答の比率の計が、合計欄の数値と一致しないことがあります。
- ・表の網掛け部分は、全体と比較して5ポイント以上の高い値であることを示します。

2 回答者の属性

(1) 性別と年齢



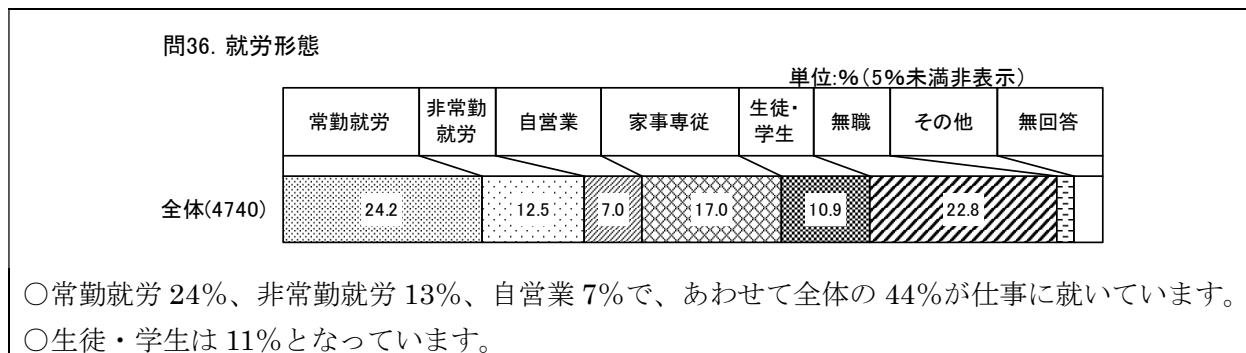
■性別年代(問35):前回との比較

○前回と比較して回答者に占める男性の割合が2.4ポイント低下していますが、おおむね同様の男女比になっています。
 ○性別年代別には男性60歳代や女性40歳代で前回よりも全体に占めるやや低下していますが、概ね前回と同様の構成比となっています。

(性別年代(問35):前回との比較)

	今回	前回	今回-前回
全体(実数)	4,740	4,232	508
男性計	42.2	44.6	-2.4
男性/15～19歳	3.3	3.1	0.2
20～29歳	4.5	4.3	0.2
30～39歳	3.9	4.4	-0.5
40～49歳	3.7	3.8	-0.1
50～59歳	5.9	5.8	0.1
60～69歳	9.7	11.0	-1.3
70歳以上	11.2	12.1	-0.9
女性計	54.3	54.1	0.2
女性/15～19歳	4.4	4.0	0.4
20～29歳	7.4	7.1	0.3
30～39歳	6.5	6.4	0.1
40～49歳	5.0	6.6	-1.6
50～59歳	8.0	7.7	0.3
60～69歳	10.5	10.6	-0.1
70歳以上	12.5	11.5	1.0
無回答	3.4	1.3	2.1

(2) 就労形態



○就労形態を男女別年齢別に見ると、男女とも 10 歳代では生徒・学生が大半を占めています。また、20 歳代では男女とも常勤就労の割合が高まり、常勤、非常勤、自営を合わせると、男女とも 56%が仕事についています。

○男性では、30 歳代から 50 歳代まで常勤就労が大半を占めています。一方、女性は 30 歳代から 50 歳代にかけて、常勤・非常勤と家事専従の割合が年代ごとに変化しています。20 歳代では常勤就労が、30 歳代では家事専従が、40 歳代、50 歳代では非常勤就労の割合が高くなっています。いわゆる「M 字カーブ」を示したものとなっています。

(就労形態 (問 36) 一性別年代別)

○60 歳代以降は、男性では無職の割合が高くなっていますが、仕事についている人(常勤、非常勤、自営の合計)の割合も 60 歳代で 53%、70 歳代で 22%となっています。一方、女性では家事専従や無職の割合が高まり、仕事についている人の割合は、60 歳代で 26%、70 歳代で 8%となっています。

	全体	常勤就労	非常勤就労	自営業	家事専従	生徒・学生	無職	その他
全 体	4740	1147	591	334	806	517	1081	92
	100.0	24.2	12.5	7.0	17.0	10.9	22.8	1.9
男 性	15~19 歳	157	2	5	-	145	1	3
		100.0	1.3	3.2	-	92.4	0.6	1.9
	20~29 歳	212	95	20	3	80	9	5
		100.0	44.8	9.4	1.4	37.7	4.2	2.4
	30~39 歳	186	161	4	11	1	9	-
		100.0	86.6	2.2	5.9	0.5	4.8	-
	40~49 歳	175	148	6	13	1	5	1
	100.0	84.6	3.4	7.4	0.6	2.9	0.6	
女 性	50~59 歳	280	214	9	40	-	12	1
		100.0	76.4	3.2	14.3	-	4.3	0.4
	60~69 歳	461	97	69	79	1	204	9
		100.0	21.0	15.0	17.1	0.2	44.3	2.0
	70 歳以上	531	24	33	59	12	374	18
		100.0	4.5	6.2	11.1	2.3	70.4	3.4
	15~19 歳	210	5	6	1	2	193	2
	100.0	2.4	2.9	0.5	1.0	91.9	1.0	
女 性	20~29 歳	352	135	61	1	41	97	5
		100.0	38.4	17.3	0.3	11.6	27.6	1.4
	30~39 歳	307	81	65	7	134	13	6
		100.0	26.4	21.2	2.3	43.6	4.2	2.0
	40~49 歳	235	67	89	8	61	8	2
		100.0	28.5	37.9	3.4	26.0	3.4	0.9
	50~59 歳	379	74	141	34	102	23	3
	100.0	19.5	37.2	9.0	26.9	6.1	0.8	
女 性	60~69 歳	499	19	65	45	240	115	8
		100.0	3.8	13.0	9.0	48.1	23.0	1.6
	70 歳以上	593	6	11	30	208	278	30
	100.0	1.0	1.9	5.1	35.1	46.9	5.1	

注) 太字は特徴のある値

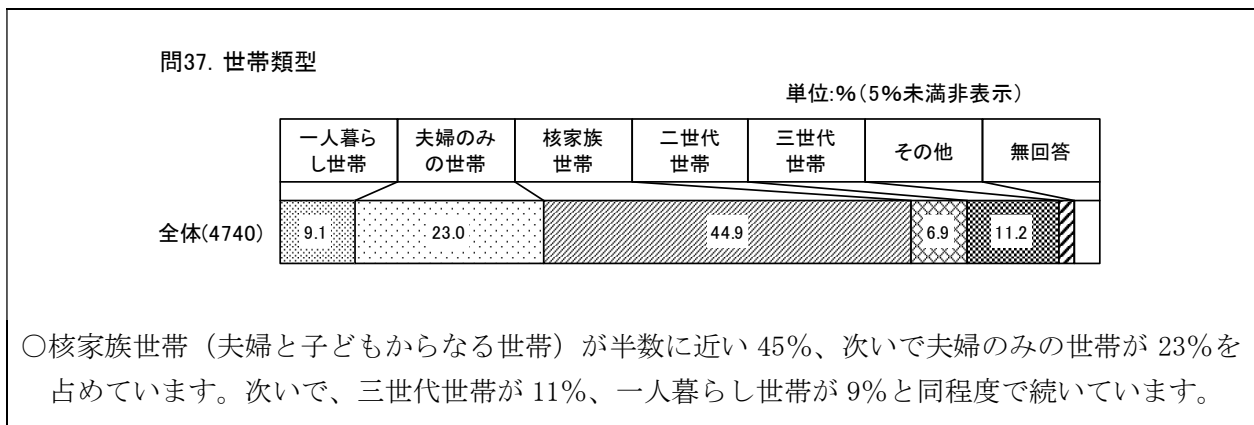
■就労形態(問 36) : 前回との比較

○前回と比較して家事専従の割合が3ポイント減少し、生徒・学生の割合が2ポイント増加していますが、おおむね同様の回答傾向になっています。

(就労形態 (問 36) : 前回との比較)

	今回	前回	今回-前回
常勤就労	24.2	24.3	-0.1
非常勤就労	12.5	12.4	0.1
自営業	7.0	7.7	-0.7
家事専従	17.0	19.8	-2.8
生徒・学生	10.9	8.7	2.2
無職	22.8	23.4	-0.6
その他	1.9	1.7	0.2
無回答	3.6	2.1	1.5

(3)世帯類型



■世帯類型(問 37) : 前回との比較

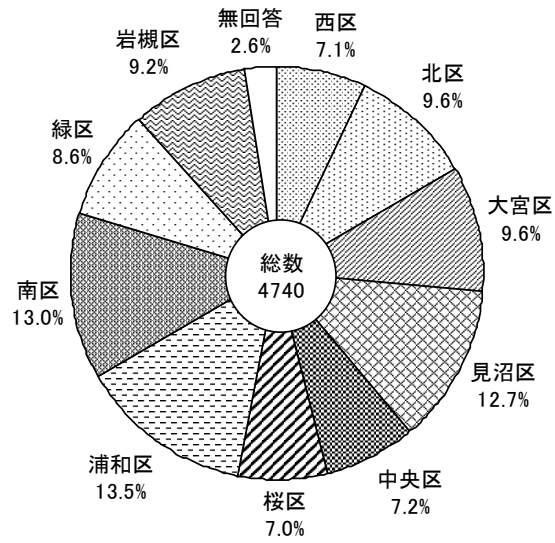
○前回と目立った違いはなく、おおむね同様の回答傾向になっています。

(世帯類型 (問 37) : 前回との比較)

	今回	前回	今回-前回
一人暮らし世帯	9.1	7.8	1.3
夫婦のみの世帯	23.0	24.1	-1.1
核家族世帯	44.9	44.1	0.8
二世帯世帯	6.9	8.0	-1.1
三世帯世帯	11.2	10.8	0.4
その他	1.8	2.9	-1.1
無回答	3.1	2.3	0.8

(4)居住区

問39. 居住区
総数=4740

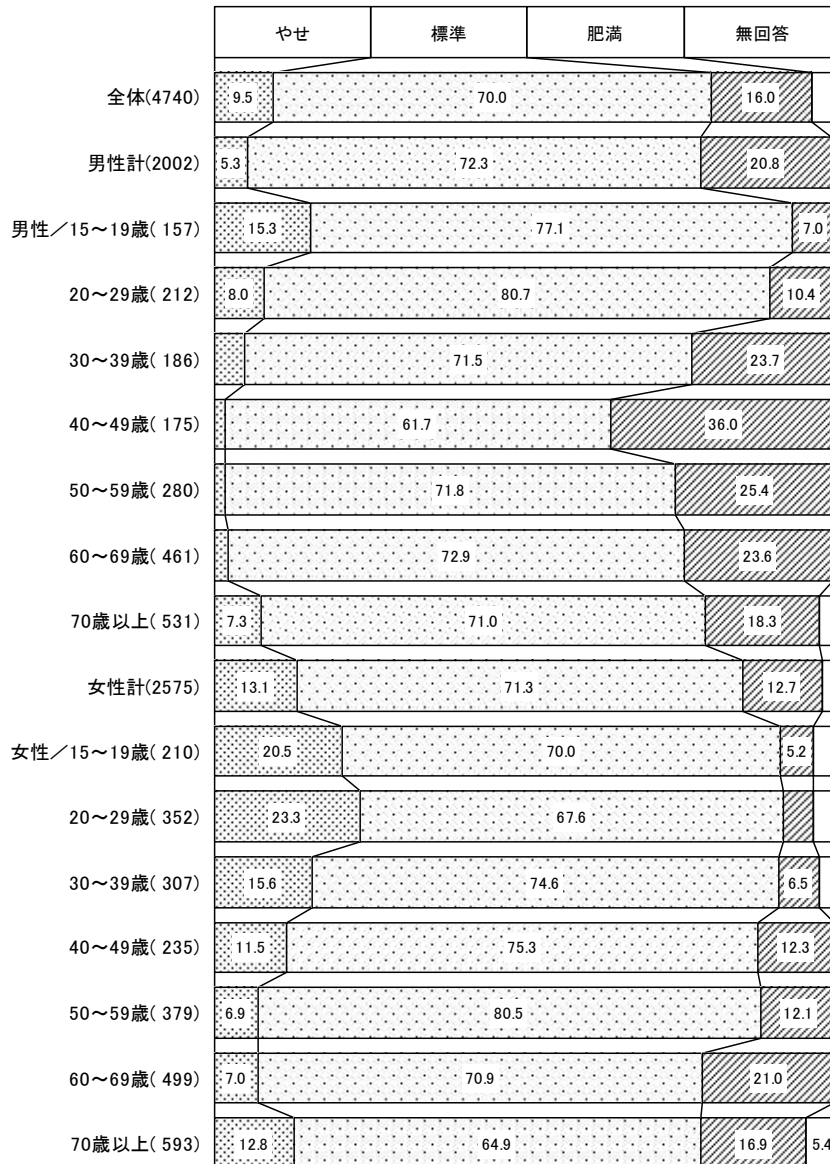


- 浦和区、南区、見沼区がそれぞれ 13～14%を占めています。次いで、北区、大宮区、岩槻区、緑区がそれぞれ 9～10%、中央区、西区、桜区がそれぞれ 7%となっています。
- 今回の調査では、合併により新たに設置された岩槻区が加わっています。

(5)BMI

問38. BMI

単位:%(5%未満非表示)



- 全体では「標準」が70%を占め、「肥満」が16%、「やせ」が10%となっています。
- 「肥満」の割合は、男性30~60歳代で高く、とくに40歳代は36%と目立って高くなっています。女性では、60歳代で肥満の割合が全体よりも高くなっています。
- 「やせ」の割合は若い女性で高く、10歳代、20歳代では20%を超えています。

■BMI(問 38) : 前回との比較

○前回と比較して、「肥満」の割合が男性 40 歳代、50 歳代で 6 ポイント上昇しています。

○女性については、細かな数値の違いはありますが、各年代とも前回とほぼ同様の傾向となっています。

(BMI (問 38) : 前回との比較)

	今回			前回			今回－前回		
	やせ	標準	肥満	やせ	標準	肥満	やせ	標準	肥満
全体	9.5	70.0	16.0	9.4	71.5	15.7	0.1	-1.5	0.3
男性計	5.3	72.3	20.8	6.3	72.9	19.5	-1.0	-0.6	1.3
男性／15～19 歳	15.3	77.1	7.0	14.6	74.6	10.8	0.7	2.5	-3.8
20～29 歳	8.0	80.7	10.4	6.6	80.8	12.6	1.4	-0.1	-2.2
30～39 歳	4.8	71.5	23.7	3.2	73.4	22.9	1.6	-1.9	0.8
40～49 歳	1.7	61.7	36.0	2.5	66.5	29.8	-0.8	-4.8	6.2
50～59 歳	1.8	71.8	25.4	2.5	77.0	19.7	-0.7	-5.2	5.7
60～69 歳	2.2	72.9	23.6	3.4	70.8	24.5	-1.2	2.1	-0.9
70 歳以上	7.3	71.0	18.3	(70～79 歳)	73.8	16.5	—	—	—
				8.4					
				(80 歳～)	65.9	9.8	—	—	—
				18.2					
女性計	13.1	71.3	12.7	12.1	72.0	13.0	1.0	-0.7	-0.3
女性／15～19 歳	20.5	70.0	5.2	22.5	68.6	2.4	-2.0	1.4	2.8
20～29 歳	23.3	67.6	4.8	23.6	70.1	3.7	-0.3	-2.5	1.1
30～39 歳	15.6	74.6	6.5	16.2	76.4	5.2	-0.6	-1.8	1.3
40～49 歳	11.5	75.3	12.3	8.9	78.3	10.7	2.6	-3.0	1.6
50～59 歳	6.9	80.5	12.1	7.1	76.6	14.8	-0.2	3.9	-2.7
60～69 歳	7.0	70.9	21.0	6.3	70.8	21.7	0.7	0.1	-0.7
70 歳以上	12.8	64.9	16.9	(70～79 歳)	69.7	18.6	—	—	—
				7.4					
				(80 歳～)	59.1	19.0	—	—	—
				16.1					

3 調査結果等から得た「ヘルスプラン21」平成17年調査値について

アンケート結果や各種統計などから得た、ヘルスプラン21の平成17年調査値は次のとおりです。

(1) 栄養・食生活について

アンケート調査では、おいしく食事をしている人の割合や、朝食の欠食状況、自分にとって適切な食事の量・内容についての知識などから栄養・食生活の状況について把握しました。

いずれも前回調査から目立った変化は見られませんでした。が、「④自分にとって適切な食事の量・内容を知っている人の割合」は、成人男性でむしろ減少しているとも読み取れます（成人男性前回41%、今回34%）。

本アンケート調査によれば、30～60歳代男性はBMIで「肥満」に該当する割合が高く（p6）、適切な食事の量や内容を知ることが課題となる層であるため、正しい知識を分かりやすく伝えていくことが求められます。

(栄養・食生活 関連指標一覧)

		さいたま市				参考:国		
		策定時の ベース ライン値 (H14)	今回調査(H17)		目標値 (H22)	策定時の ベース ライン	暫定直近 実績値等	目標値 (H22)
			岩槻区を 除く計	市全体				
①おいしく楽しく食事をして いる人の割合 (問4 選択肢8)	全体	46.3	44.5	44.1	55 以上	—	—	—
②朝食を毎日食べない 人の割合 (問5)	20歳代男性	48.9	47.7	48.1	25 以下	32.9	27.5	15 以下
	30歳代男性	36.7	43.8	42.5	25 以下	20.5	23.0	15 以下
	20歳代女性	35.9	43.8	43.8	25 以下	—	—	—
③1日3食食べる人の割 合 (問4 選択肢1)	20歳代男性	53.8	54.8	55.2	65 以上	—	—	—
	30歳代男性	66.0	63.9	64.5	80 以上	—	—	—
	20歳代女性	64.5	60.6	61.9	80 以上	—	—	—
④自分にとって適切な食 事の内容・量を知って いる人の割合 (問4 選択肢12)	全体	41.2	36.4	36.2	—	—	—	—
	成人男性	40.9	34.7	34.1	50 以上	65.6	調査中	80 以上
	成人女性	44.2	40.9	40.5	50 以上	73.0	調査中	80 以上
⑤野菜を毎食食べる人 の割合 (問6)	20歳代男性	22.0	26.4	25.9	40 以上	—	—	—
	20歳代女性	23.6	25.2	25.6	40 以上	—	—	—
	30歳代男性	25.0	23.7	23.1	40 以上	—	—	—
	30歳代女性	26.2	29.4	29.0	40 以上	—	—	—
⑥飲食店や給食施設で 栄養成分表示をしてい る割合	100食以上の 集団給食施設 で栄養成分表 示をしている割 合	73.0	79.7	77.8	85 以上	—	—	—

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率(%)である。

注) 策定時(平成14年)は岩槻区設置(平成17年4月1日)より前であったため、岩槻区を除く9区の値を参考として掲げている。

(2) 身体活動・運動について

正しい食事とともに、適度な運動が生活習慣病予防をはじめ、健康な生活には不可欠ですが、①意識的に体を動かす人の割合、②運動習慣のある人の割合は前回調査から目立った変化は見られませんでした。

運動しない理由として「時間がない」を挙げる割合が高くなっていますが (p44)、優先的に運動に時間を割くよう意識の変化を促すとともに、日常生活で手軽に取り組める身体活動を広めていくことが、身体活動の実行率の向上のために必要と考えられます。

(身体活動・運動 関連指標一覧)

		さいたま市				参考:国		
		策定時の ベース ライン値 (H14)	今回調査(H17)		目標値 (H22)	策定時の ベース ライン	暫定直近 実績値等	目標値 (H22)
			岩槻区を 除く計	市全体				
①意識的に体を動かすなど運動している人の割合(問10)	男性	29.0	27.1	27.3	35 以上	51.8	54.2	63 以上
	女性	21.8	22.6	22.3	26 以上	53.1	55.5	63 以上
	30～40 歳代 男性	14.9	16.0	16.9	22 以上	—	—	—
	20～40 歳代 女性	11.6	11.7	11.4	17 以上	—	—	—
②運動習慣のある人の割合(問12)	男性	26.5	26.4	26.6	36 以上	28.6	29.3	39 以上
	女性	18.8	19.3	19.2	27 以上	24.6	24.1	35 以上
	30～40 歳代 男性	12.6	15.1	15.2	19 以上	—	—	—
	20～40 歳代 女性	7.9	11.2	11.1	12 以上	—	—	—
③日常生活における歩数(単位:歩)	男性	—	—	—	9,200 以上	8,202	7,575	9,200 以上
	女性	—	—	—	8,300 以上	7,282	6,821	8,300 以上
④ジョギング、ウォーキングのできる場所の数(単位:か所)	都市公園	658	(H17.3.31) 704	(H17.4.1) 756	700	—	—	—
	緑道	7	(H17.3.31) 15	(H17.4.1) 15	9	—	—	—
	遊歩道	5			7	—	—	—
⑤うんどう遊園の数(単位:か所)		17	28	29	29	—	—	—

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率 (%) である。

注) 策定時(平成14年)は岩槻区設置(平成17年4月1日)より前であったため、岩槻区を除く9区の値を参考として掲げている。

(3) 休養・こころの健康づくりについて

ストレスを感じている人の割合や解消できていない人の割合など、ストレスの状況については、前回から目立った変化はありません。調査ではストレスの原因として人間関係が第1位に挙げられる一方、ストレスの解消方法としても友人や家族など身近な人に話を聞いてもらうことが第1位に挙げられており（p47,51）、健全な人間関係を築いていくことが、ストレスの少ない生活のための重要であることがうかがえます。また、⑥生きがいを持っている人の割合も前回から大きな変化はありませんでした。

一方、休養やこころの健康と密接にかかわる睡眠については、④睡眠を十分とれない人の割合が10～40歳代女性で低下しており、やや改善が見られます。しかし、同世代の男性では前回と同程度にとどまっています。この世代の男性、とくに30歳代、40歳代では自分自身の健康状態を「疲労気味」と感じている割合が30%前後と高く（p15）、働き盛りの男性が睡眠不足で疲労気味の実態が示されています。

(休養・こころの健康づくり 関連指標一覧)

		さいたま市				参考:国		
		策定時のベースライン値(H14)	今回調査(H17)		目標値(H22)	策定時のベースライン	暫定直近実績値等	目標値(H22)
			岩槻区を除く計	市全体				
①ストレスを感じている人の割合(問13)	全体	63.9	65.4	65.0	57以下	54.6	62.2	49以下
②ストレスが解消できていない人の割合(問13-2)	全体	30.7	31.5	31.8	25以下	—	—	—
③身近に相談相手のいない人の割合(問14)	全体	14.1	15.5	15.5	10以下	—	—	—
④睡眠を十分とれない人の割合(問16)	全体	21.4	22.5	22.0	18以下	23.1	19.9	21以下
	10～40歳代男性	35.7	35.7	34.9	28以下	—	—	—
	10～40歳代女性	35.8	30.2	30.3	28以下	—	—	—
⑤睡眠の確保のためにアルコールや睡眠補助剤を使用する人の割合(問17)	睡眠剤	睡眠剤やアルコール	9.1	9.5	睡眠剤やアルコール	睡眠剤やアルコール 14.1	17.6	13以下
	アルコール	14.1	16.2	16.6	15以下			
⑥生きがいを持っている人の割合(問18)	全体	71.2	67.7	67.6	85以上	—	—	—

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率(%)である。

注) 策定時(平成14年)は岩槻区設置(平成17年4月1日)より前であったため、岩槻区を除く9区の値を参考として掲げている。

(4) たばこについて

前回と比較して、喫煙の健康への影響について、正しい知識のある人の割合が高まっており、なかでも、心臓病、脳卒中など生活習慣病や歯周病への影響についての認識は広く浸透しています(①)。③禁煙希望者も増えて、すでに目標値のレベルに達しており、大きな傾向としては、たばこ離れが進んでいると見受けられます。

しかし、一方で未成年の喫煙率(「あなたはたばこを吸いますか」の間に「吸う」と回答した未成年の割合)は6%で(④)、これらの回答者の喫煙開始年齢は中学生からが60%を占めることから(⑤)、引き続き小中学生に対する禁煙教育を進めていくことが重要となっています。

(たばこ 関連指標一覧)

		さいたま市				参考:国		
		策定時のベースライン値(H14)	今回調査(H17)		目標値(H22)	策定時のベースライン	暫定直近実績値等	目標値(H22)
			岩槻区を除く計	市全体				
①喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識のある人の割合(問19)	肺がん	85.0	84.9	84.4	100	84.5	87.5	100
	ぜんそく	62.7	64.2	63.9	100	59.9	63.4	100
	気管支炎	68.9	71.1	70.7	100	65.5	65.6	100
	心臓病	51.5	57.3	56.8	100	40.5	45.8	100
	脳卒中	45.1	56.2	55.4	100	35.1	43.6	100
	胃かいよう	37.3	40.0	39.5	100	34.1	33.5	100
	妊娠への影響	74.8	75.5	75.0	100	79.6	83.2	100
	歯周病	34.1	41.0	40.6	100	27.3	35.9	100
②分煙化を推進する人の割合(問20)	全体	77.3	71.6	71.0	100	—	—	—
③禁煙・節煙希望者への支援(問21-3)	禁煙希望者(成人)	26.3	33.2	32.9	32以上	—	—	—
	節煙希望者(成人)	50.4	43.6	43.5	60以上	—	—	—
④未成年の喫煙率(問21)※1	19歳以下	18.1	5.9	6.2	なくす	—	—	—
	男性(中1)	—	—	—	—	7.5	調査中	0
	男性(高3)	—	—	—	—	36.9	調査中	0
	女性(中1)	—	—	—	—	3.8	調査中	0
	女性(高3)	—	—	—	—	15.6	調査中	0
⑤未成年の喫煙開始年齢(問21-1)※2	小学生以下	24.1	10.0	13.0	なくす	—	—	—
	中学生	48.1	60.0	60.9	なくす	—	—	—
	16~19歳	27.8	30.0	26.1	なくす	—	—	—

※1: 前回は「吸ったことがありますか」、今回は「吸いますか」の問に対する回答率である。

※2: 前回は「吸ったことがある」とした回答者に対する質問、今回はたばこを「吸う」とした回答者に対する質問の結果である。

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率(%)である。

注) 策定時(平成14年)は岩槻区設置(平成17年4月1日)より前であったため、岩槻区を除く9区の値を参考として掲げている。

(5) アルコールについて

毎日お酒を飲む人の割合は前回から低下しており、とくに40～60歳代の男性では13ポイント低下して目標値のレベルに達しています(①)。しかし、②大量飲酒者の割合は、わずかですが割合が上昇しており、適度な飲酒習慣の浸透を図っていく必要があります。また、③アルコールが身体に及ぼす影響については、脳や心臓、高脂血症や高血圧との関係があまりよく知られていない状況となっています。

未成年の習慣的な飲酒は4割近くにのぼっており(④)、飲酒開始年齢は中学生以上からとなっていることから(⑤)、中高生に対する対策が重要となっています。

(アルコール 関連指標一覧)

		さいたま市				参考:国		
		策定時のベースライン値(H14)	今回調査(H17)		目標値(H22)	策定時のベースライン	暫定直近実績値等	目標値(H22)
			岩槻区を除く計	市全体				
①毎日飲酒をしている人の割合(問23)	成人男性	34.3	32.3	32.6	27以下	—	—	—
	40～60歳代男性	53.4	40.4	40.8	43以下	—	—	—
②大量飲酒者(一日平均3合以上)の割合(問23-1)	成人男性	3.6	5.3	5.3	2.8以下	4.1	5.3	3.2以下
	成人女性	1.7	1.7	1.8	1.1以下	0.3	0.8	0.2以下
	40歳代男性	5.8	6.2	7.0	4.6以下	—	—	—
	50歳代男性	7.2	9.6	9.7	5.8以下	—	—	—
	20～30歳代女性	3.2	1.5	1.5	2.6以下	—	—	—
③アルコールによる身体への影響について正しい知識のある人の割合(問22)	肝臓病	—	86.3	85.8	100	—	—	—
	胃腸病	—	54.5	54.1	100	—	—	—
	糖尿病	—	60.3	60.1	100	—	—	—
	肥満	—	58.3	57.7	100	—	—	—
	高脂血症	—	53.0	52.7	100	—	—	—
	心臓病	—	48.4	48.1	100	—	—	—
	妊娠中の影響	—	72.4	72.1	100	—	—	—
	依存症	—	73.9	73.6	100	—	—	—
	脳障害	—	46.9	46.8	100	—	—	—
④未成年の飲酒の経験(問23)※1	高血圧	—	58.3	58.2	100	—	—	—
	19歳以下	62.2	36.5	36.3	なくす	—	—	—
	男性(中1)	—	—	—	—	25.4	調査中	0
	男性(高3)	—	—	—	—	51.5	調査中	0
	女性(中1)	—	—	—	—	17.2	調査中	0
⑤未成年の飲酒開始年齢(問23-2)※2	女性(高3)	—	—	—	—	35.9	調査中	0
	小学生以下	23.1	8.1	8.2	なくす	—	—	—
	中学生	40.9	23.6	23.9	なくす	—	—	—
	16～19歳	33.9	65.0	64.9	なくす	—	—	—

※1: 前回は「飲んだことがありますか」の質問に「ある」とした回答率、今回の数値は飲酒の程度(問23)のうち、「毎日」から「それ以下」の計である。

※2: 前回は飲んだことが「ある」回答者に対する質問「はじめてお酒を飲んだのは何歳ですか」の回答結果、今回の数値は「お酒を飲み始めたのは、いつからですか」の回答結果である。

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率(%)である。

注) 策定時(平成14年)は岩槻区設置(平成17年4月1日)より前であったため、岩槻区を除く9区の値を参考として掲げている。

(6) 歯の健康について

定期的に歯科健診を受けている人の割合(⑥)は、前回よりも4ポイント上昇し、また、⑧歯間部清掃器具を使用する人の割合も、わずかですが上昇しています。さらに、⑨歯や口の状態が良くない人の割合も低下しており、これらの変化から、歯の健康に対する意識が高まっていると受け取れます。

(歯の健康 関連指標一覧)

	さいたま市				参考:国			
	策定時の ベース ライン値 (H14)	今回調査(H17)		目標値 (H22)	策定時の ベース ライン	暫定直近 実績値等	目標値 (H22)	
		岩槻区を 除く計	市全体					
①1歳6か月児歯科健診でむし歯のない 幼児の割合	95.6	(H16) 95.5	—	100	—	—	—	
②3歳児歯科健診でむし歯のない幼児の 割合	63.8	(H16) 73.3	—	90 以上	59.5	68.7	80 以上	
③3歳児で定期的にフッ素塗布を受けて いる幼児の割合	—	—	—	増やす	39.6	調査中	50 以上	
④小学生で未処置歯のある者の割合	27.9	(H16) 24.4	—	20 以下	—	—	—	
⑤中学生で未処置歯のある者の割合	19.4	(H16) 17.8	—	14 以下	—	—	—	
⑥定期的な歯科健診受 診者の割合(問 24)	全体	14.5	18.5	18.5	30 以上	—	—	
⑦成人歯科健康診査受診者数 (単位:人)	1,879	(H16) 4,868	—	6,000 以上	—	—	—	
⑧歯間部清掃用器具の 使用割合 (問 25 選択肢2)	40 歳男女 (35~44 歳)	32.6	35.3	35.5	60 以上	19.3	調査中	50 以上
	50 歳男女 (45~54 歳)	27.6	31.4	31.3	60 以上	17.8	調査中	50 以上
⑨歯や口の状態が良くな い人の割合(問 26)	全体	58.2	53.0	53.0	30 以下	—	—	

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率(%)である。

注) 策定時(平成14年)は岩槻区設置(平成17年4月1日)より前であったため、岩槻区を除く9区の値を参考として掲げている。

(7) 健康管理について

①健康であると意識している人の割合や、②健康に配慮していない人の割合については大きな変化は見られませんでした。③適正体重を維持している人の割合についても、前回と同程度となっており、改善されたとはいいがたいものとなっています。健康に配慮した生活や健康の維持、向上は、継続的な努力が必要なものであり、これらについてはまだ取り組みが十分ではないことが示されています。

これまで見てきたように、とくに 30～50 歳代の男性は、睡眠と休養が十分でない、適切な食事の内容・量を知らない割合が高い、運動習慣のない割合が高い、酒量が多い、喫煙率が高い、BMI で肥満と判定される人の割合が高いなど、生活習慣病の要因を多く抱えており、自らの健康は自らの責任で守ることを基本に、健康管理の取り組みを広げていく必要があります。

一方、④定期健診を受けていない人の割合はやや低下し、健診等の受診率が向上しています。健康チェックの機会の活用は、市民のあいだに広がっていると読み取れます。

(健康管理 関連指標一覧)

		さいたま市				参考:国		
		策定時のベースライン値 (H14)	今回調査 (H17)		目標値 (H22)	策定時のベースライン	暫定直近実績値等	目標値 (H22)
			岩槻区を除く計	市全体				
①健康であると意識している人の割合(問1)	全体	65.2	65.3	64.7	80 以上	—	—	—
②健康に配慮していない人の割合(問2)	20～40 歳代男性	28.4	30.7	30.7	15 以下	—	—	—
	20～40 歳代女性	18.1	20.8	20.9	10 以下	—	—	—
③適正体重を維持している人の割合 (問38 BMI 換算値)	20 歳代女性のやせの者	23.6	24.6	23.3	15 以下	23.3	23.4	15 以下
	20～60 歳代男性の肥満者	22.3	23.6	23.5	14 以下	24.3	29.5	15 以下
	40～60 歳代女性の肥満者	16.6	16.3	16.2	13 以下	25.2	25.0	20 以下
④定期的に健康診査を受けていない人の割合 (問27)	全体	28.9	24.6	24.4	20 以下	—	—	—
	20～40 歳代女性	44.4	32.2	32.9	30 以下	—	—	—
⑤健康診査・各種がん検診受診者の割合	基本健康診査	44.6	(H16)56.4	(H16)56.7	60 以上	—	—	—
	肺がん検診	21.7	(H16)27.3	(H16)25.0	30 以上	—	—	—
	大腸がん検診	19.6	(H16)23.4	(H16)22.4	30 以上	—	—	—
	胃がん	15.1	(H16)17.2	(H16)16.1	30 以上	—	—	—
	乳がん	7.8	(H16)10.3	(H16)9.9	15 以上	—	—	—
	子宮がん	7.7	(H16)10.0	(H16)10.4	15 以上	—	—	—
⑥市の健康診査結果における主な生活習慣病要指導者の割合	総コレステロール	37.7	39.6	—	30 以下	—	—	—
	血圧	34.0	33.4	—	25 以下	—	—	—
	糖尿病	11.1	9.9	—	10 以下	—	—	—
⑦生活習慣病による死亡割合	悪性新生物	34.0	(H16)33.7	—	30 以下	—	—	—
	心疾患	14.9	(H16)16.2	—	13 以下	—	—	—
	脳血管疾患	13.2	(H16)12.7	—	12 以下	—	—	—

注) 太字は本アンケート調査の結果によるもの。数値は特別なことわりのない場合、百分率 (%) である。

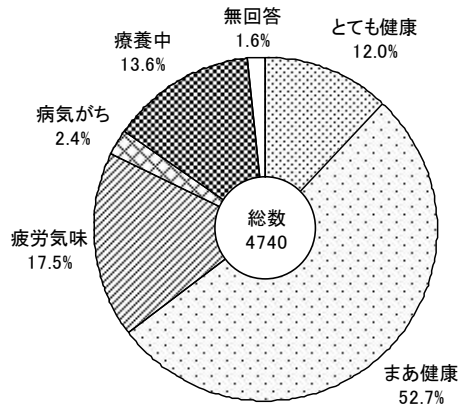
注) 策定時 (平成 14 年) は岩槻区設置 (平成 17 年 4 月 1 日) より前であったため、岩槻区を除く 9 区の値を参考として掲げている。

4 分析結果

(1) 健康観と健康状況

①健康状態

問1 現在、あなたは自分の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ)



○全体では、「とも健康」が12%、「まあ健康」が53%で、あわせて65%が健康であるとしています。一方、「疲労気味」18%、「病気がち」2%、「療養中」14%で、あわせて34%は健康でないとしています。

■問1:属性別

○性別年代別では、男女とも10歳代で「とも健康」とする割合が20%を超えており、高くなっています。

○男性では「疲労気味」とする割合が、30歳代をピークに20~40歳代の層で高く、働き盛りの疲労感が強いことが示されています。女性では、20歳代で「疲労気味」とする割合が28%と高くなっています。

○男性では60歳代以上、女性では70歳以上で「療養中」とする割合が20%を超えて高くなっています。

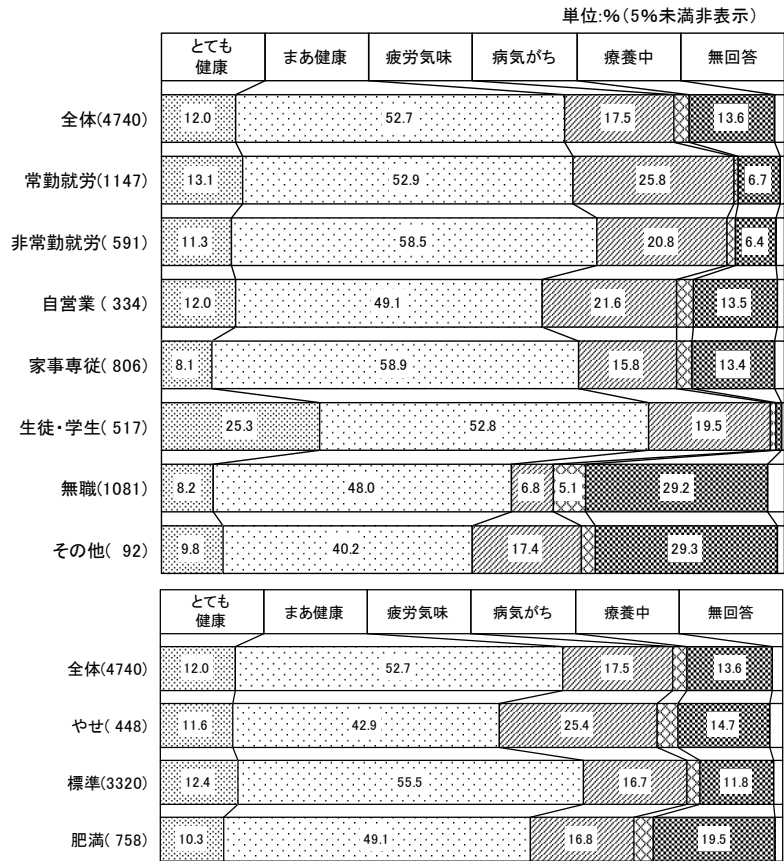
問1. 健康状態(性別年代別)

単位:.(5%未満非表示)

	とも健康	まあ健康	疲労気味	病気がち	療養中	無回答
全体(4740)	12.0	52.7	17.5	2.4	13.6	1.6
男性計(2002)	12.9	50.8	16.4	2.4	16.2	1.6
男性/15~19歳(157)	29.9	46.5	19.7	2.4	1.6	1.6
20~29歳(212)	20.8	50.9	24.5	2.4	1.6	1.6
30~39歳(186)	12.9	46.8	31.7	6.5	1.6	1.6
40~49歳(175)	8.6	54.9	28.6	7.4	1.6	1.6
50~59歳(280)	8.6	57.1	17.9	13.6	1.6	1.6
60~69歳(461)	13.2	51.4	10.0	20.2	1.6	1.6
70歳以上(531)	8.3	48.2	7.5	30.5	1.6	1.6
女性計(2575)	11.2	54.7	18.3	11.6	1.6	1.6
女性/15~19歳(210)	22.9	55.7	18.6	1.6	1.6	1.6
20~29歳(352)	17.0	50.9	27.8	1.6	1.6	1.6
30~39歳(307)	12.4	57.7	24.8	1.6	1.6	1.6
40~49歳(235)	8.5	65.1	20.0	5.1	1.6	1.6
50~59歳(379)	9.5	54.6	23.0	10.3	1.6	1.6
60~69歳(499)	8.8	59.5	11.4	15.4	1.6	1.6
70歳以上(593)	7.3	46.9	11.5	25.1	1.6	1.6

○就労形態別に見ると、10歳代の多い生徒・学生では「とても健康」の割合が高く、男性を多く含む常勤就労で「疲労気味」が多くなっています。また、高齢者の多い無職で「療養中」が30%と高くなっています。

問1. 健康状態 (就労形態別、BMI別)



■問1: 前回との比較

○健康であるとする割合（「とても健康」と「まあ健康」の合計）は、前回（全体65%）と同程度となっており、大きな変化はありません。

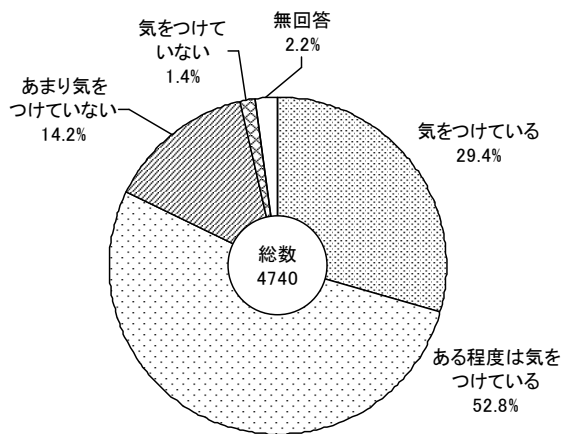
（問1：前回との比較－全体）

	とても健康	まあ健康	疲労気味	病気がち	療養中
今回	12.0	52.7	17.5	2.4	13.6
前回	9.8	55.4	16.7	2.3	15.0
今回－前回	2.2	-2.7	0.8	0.1	-1.4

注) 無回答は略

②健康への配慮

問2 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。(○は1つだけ)



○健康に「気をつけている」は29%、「ある程度は気をつけている」は53%で、大多数の82%が健康に配慮しています。

■問2:属性別

○男女とも、年齢が高くなるほど健康に気をつけている人の割合(「気をつけている」と「ある程度気をつけている」の計)が高まる傾向にあります。

○健康に気をつけていない割合(「あまり気をつけていない」と「気をつけていない」の計)は、40歳代までの男性と、30歳代までの女性で、全体を大きく上回っています。

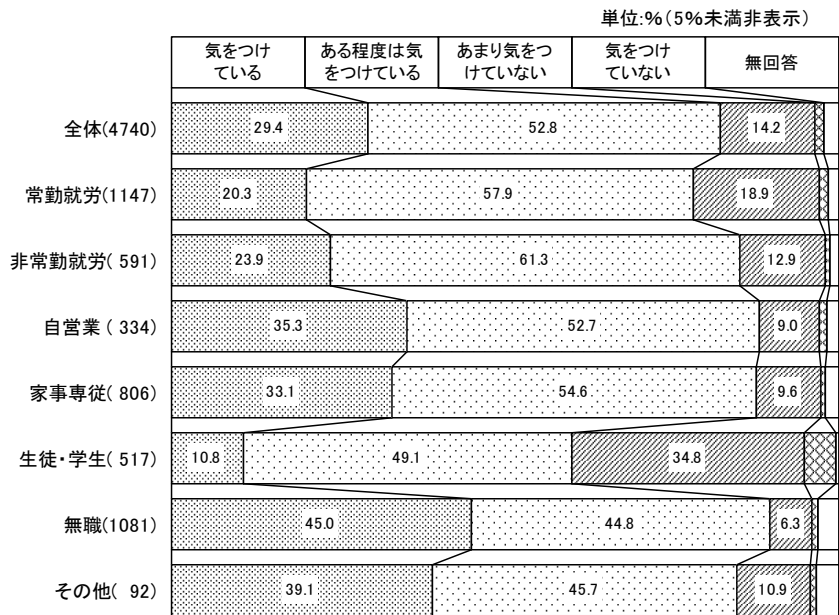
問2.健康について(性別年代別)

単位:%(5%未満非表示)

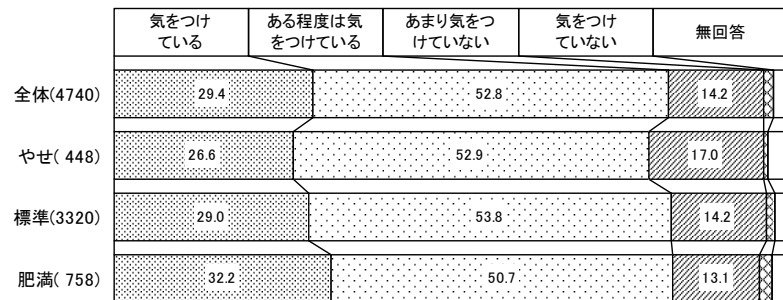
	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全体(4740)	29.4	52.8	14.2	1.4	2.2
男性計(2002)	30.7	49.8	15.9	1.4	2.2
男性/15~19歳(157)	10.8	45.9	35.7	7.6	0.0
20~29歳(212)	14.6	48.1	31.1	6.2	0.0
30~39歳(186)	11.8	56.5	28.0	3.7	0.0
40~49歳(175)	17.7	57.1	23.4	1.8	0.0
50~59歳(280)	25.0	58.2	13.9	2.9	0.0
60~69歳(461)	39.9	50.3	7.2	2.6	0.0
70歳以上(531)	48.8	41.8	6.0	2.4	0.0
女性計(2575)	28.4	55.4	13.1	3.1	0.0
女性/15~19歳(210)	8.6	51.0	34.8	5.6	0.0
20~29歳(352)	13.4	59.7	24.7	2.2	0.0
30~39歳(307)	14.0	63.8	20.2	2.0	0.0
40~49歳(235)	15.7	71.1	11.5	1.7	0.0
50~59歳(379)	25.1	62.3	10.0	2.6	0.0
60~69歳(499)	39.3	53.3	5.6	2.8	0.0
70歳以上(593)	49.9	41.1	5.6	2.4	0.0

- 就労形態別では、高齢者の多い無職で気をつけている割合が45%と最も高くなっています。
- 常勤就労、非常勤就労のほうが自営業よりも健康に気をつけていないとする割合が高くなっています。

問2. 健康について（就労形態別、BMI別）



- BMI別にみると、健康に気をつけていない割合（「あまり気をつけていない」と「気をつけていない」の計）は、「やせ」の範囲の人で18%、「標準」の範囲の人で16%であるのに対し、「肥満」の範囲の人で15%とやや低くなっていますが、ほぼ同程度となっています。



■問2: 前回との比較

- 健康に気をつけている割合、気をつけていない割合は、前回から大きな変化は見られません。

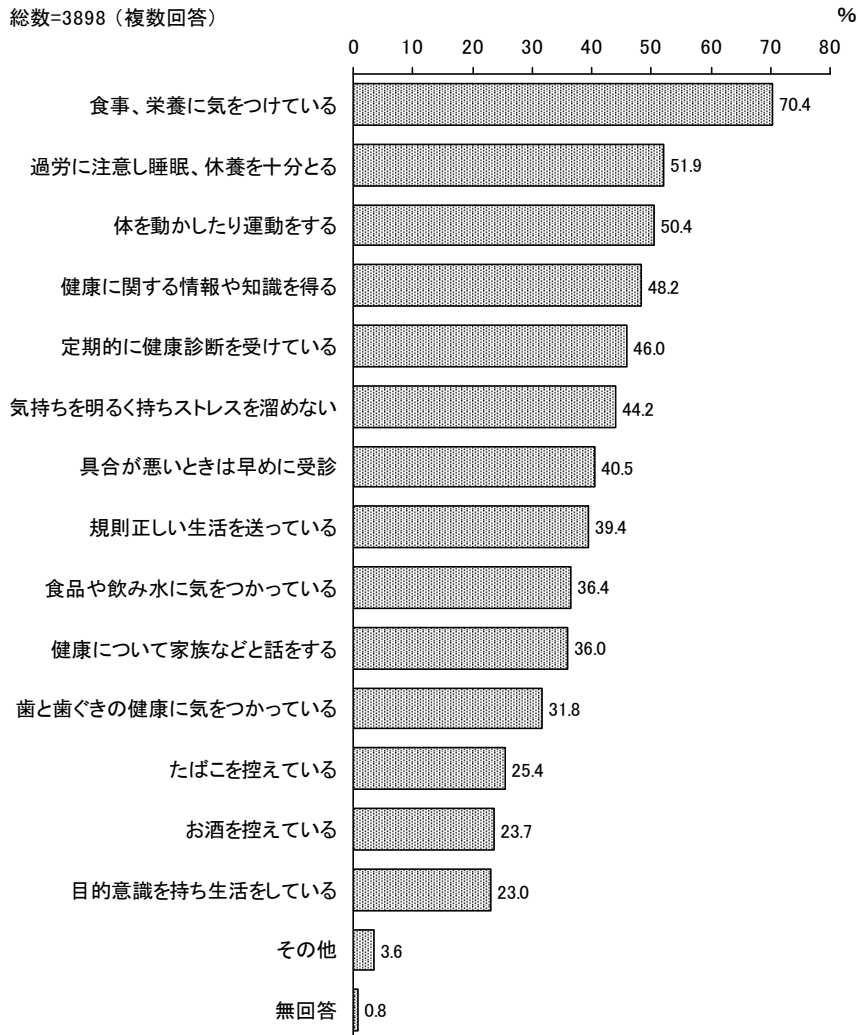
(問2 前回との比較—全体)

	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない
今回	29.4	52.8	14.2	1.4
前回	32.1	52.4	13.1	1.5
今回-前回	-2.7	0.4	1.1	-0.1

注) 無回答は略

③健康に配慮して実行していること

問2-1 (問2で「1. 気をつけている」、または「2. ある程度は～」とお答えの方に) 何か実行していることがありますか。(〇はあてはまるものすべて)



○健康に配慮して実行していることとしては、「食事、栄養に気をつけている」を挙げた割合が70%と最も高くなっています。次いで、「睡眠、休養を十分に取る」(52%)、「体を動かしたり運動をする」(50%)が続いており、栄養、休養、運動の3つが重要と考えられている様子が伺えます。

○健康に関する情報や知識(48%)、定期的な健康診断(46%)、ストレスをためない(44%)なども半数近くの方が実行しているとしています。

■問2-1:属性別

○運動や定期的な健診、たばこやお酒を控えるという点については、女性よりも男性で高くなっていますが、その他の項目については、全般的に女性の実行率が高くなっています。

○女性では、栄養、休養、運動のほか「健康に関する情報や知識を得る」が54%と高くなっています。また、「健康について家族などと話をする」も女性で高くなっています。

○男女とも年齢が高くなるほど実行率が高くなる傾向がありますが、とくに、女性60歳代以上では実行率が全体よりも高い項目が多くなっています。

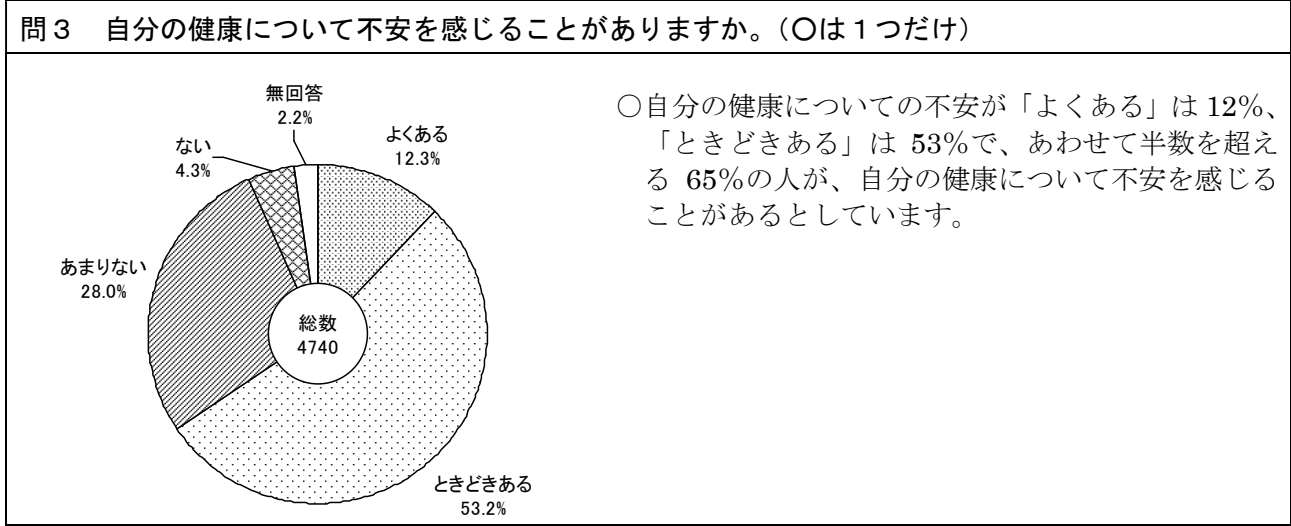
(問 2-1 : 性別年代別)

	N= (実数)	食事、栄養に気をつけている	過労に注意し睡眠、休養を十分とる	体を動かしたり運動をする	健康に関する情報や知識を得る	定期的に健康診断を受けている	気持ちを明るく持ちストレスを溜めない	具合が悪いときは早めに受診	規則正しい生活を送っている
全 体	3898	70.4	51.9	50.4	48.2	46.0	44.2	40.5	39.4
男性計	2002	65.2	50.8	54.5	40.7	51.3	39.6	39.3	36.9
男性/15～19 歳	157	61.8	34.8	61.8	18.0	5.6	33.7	13.5	25.8
20～29 歳	212	64.7	38.3	52.6	25.6	15.8	35.3	21.8	20.3
30～39 歳	186	60.6	43.3	41.7	25.2	29.9	33.9	23.6	22.8
40～49 歳	175	60.3	43.5	42.7	22.1	56.5	40.5	27.5	23.7
50～59 歳	280	62.2	48.1	48.9	32.6	64.8	31.8	36.1	30.0
60～69 歳	461	65.4	55.8	60.6	45.7	57.9	42.3	41.8	44.2
70 歳以上	531	69.9	58.2	57.6	57.8	61.5	44.7	55.7	47.8
女性計	2575	74.4	52.9	47.0	54.3	41.6	47.4	41.6	41.1
女性/15～19 歳	210	45.6	47.2	36.8	36.0	8.0	34.4	18.4	20.0
20～29 歳	352	68.1	49.4	32.7	40.5	12.8	38.1	26.1	27.2
30～39 歳	307	78.2	52.7	36.0	38.9	28.5	34.7	33.9	35.6
40～49 歳	235	82.8	53.9	36.3	49.0	47.5	45.6	32.8	46.6
50～59 歳	379	78.2	46.8	48.6	58.0	45.9	47.7	37.5	41.7
60～69 歳	499	78.6	53.2	59.7	64.5	53.7	59.1	49.1	46.3
70 歳以上	593	73.1	59.1	53.1	63.0	53.7	50.9	57.2	48.3

	食品や飲み水に気をつけている	健康について家族などと話をしている	歯と歯ぐきの健康に気をつけている	たばこを控えている	お酒を控えている	目的意識を持ち生活をしている	その他
全 体	36.4	36.0	31.8	25.4	23.7	23.0	3.6
男性計	30.8	28.3	28.6	30.9	28.4	19.6	3.2
男性/15～19 歳	24.7	11.2	28.1	25.8	20.2	11.2	3.4
20～29 歳	27.8	24.1	18.8	33.8	27.1	13.5	0.8
30～39 歳	26.0	19.7	24.4	27.6	23.6	11.8	3.1
40～49 歳	22.9	22.1	21.4	24.4	16.0	13.7	3.1
50～59 歳	24.9	20.6	23.2	24.5	20.2	14.2	2.1
60～69 歳	34.1	32.2	31.5	32.2	32.0	24.5	3.8
70 歳以上	36.2	37.0	34.7	35.8	35.8	24.7	4.0
女性計	40.7	42.3	34.3	21.2	20.2	25.6	3.9
女性/15～19 歳	32.0	28.0	20.8	12.8	11.2	16.0	2.4
20～29 歳	24.5	34.6	22.2	29.6	24.5	14.0	5.1
30～39 歳	31.8	30.1	25.9	19.2	20.5	15.5	2.5
40～49 歳	34.3	40.2	29.9	27.0	21.6	22.1	2.0
50～59 歳	48.0	45.0	34.1	19.6	19.3	25.4	2.7
60～69 歳	53.5	53.2	43.5	24.9	24.5	36.1	5.2
70 歳以上	41.3	44.3	40.7	15.6	16.3	30.4	4.6

注) 無回答は略

④健康についての不安



■問3:属性別

○健康について不安がある割合は、男性の30歳代と50歳代で71%、40歳代68%、女性の40歳代と60歳代で73%、50歳代78%となっており、30～40歳代から急速に不安が高まっていく様子が見られます。

問3. 健康について不安を感じる事(性別年代別)

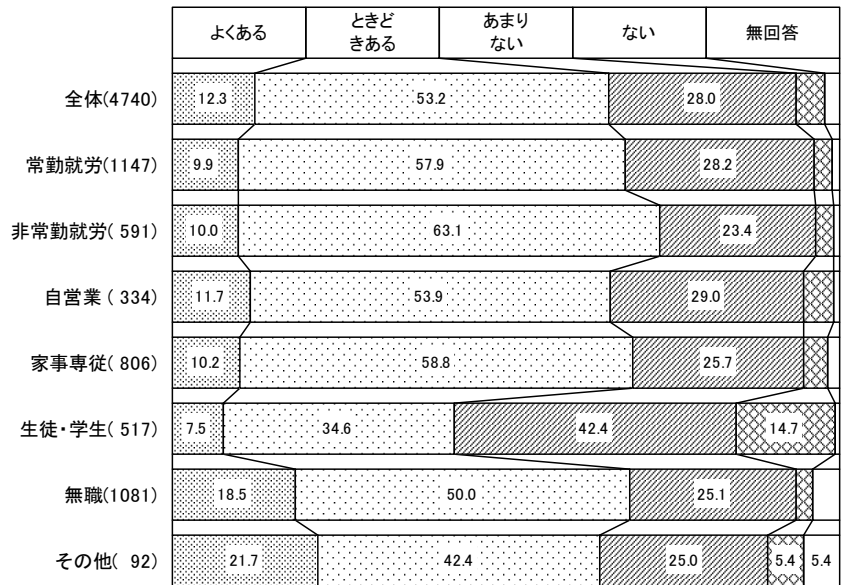
単位:%(5%未満非表示)

	よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
全体(4740)	12.3	53.2	28.0		
男性計(2002)	12.4	50.4	30.2		
男性/15～19歳(157)	7.0	28.7	43.3	20.4	
20～29歳(212)	10.4	41.0	36.8	10.4	
30～39歳(186)	14.0	56.5	24.7		
40～49歳(175)	6.9	61.1	29.7		
50～59歳(280)	7.5	63.6	25.4		
60～69歳(461)	14.1	50.3	30.6		
70歳以上(531)	17.1	48.2	27.9		
女性計(2575)	12.0	55.8	26.3		
女性/15～19歳(210)	7.1	32.9	46.7	12.9	
20～29歳(352)	10.2	50.9	31.8	6.5	
30～39歳(307)	7.2	57.3	33.2		
40～49歳(235)	8.1	64.7	24.7		
50～59歳(379)	11.1	67.0	17.9		
60～69歳(499)	10.4	63.1	22.4		
70歳以上(593)	20.6	49.1	21.6	5.2	

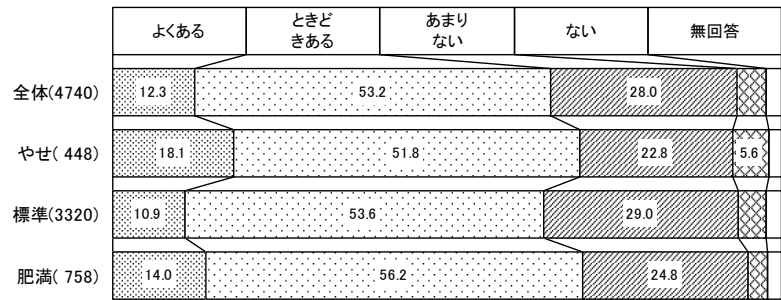
○就労形態別に見ると、健康について不安がある割合は、中高年女性の多い非常勤就労で 73% と最も高く、生徒・学生で 42% と最も低くなっています。

問3. 健康について不安を感じること（就労形態別、BMI別）

単位:%(5%未満非表示)

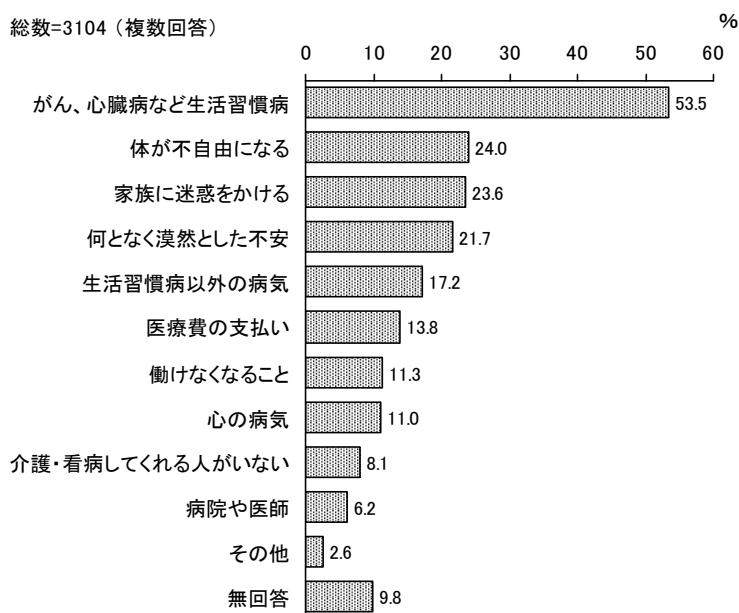


○BMI 別に見ると、健康について不安のある割合は「やせ」の範囲の人で 70%、「標準」の範囲の人で 65%、「肥満」の範囲の人で 70%となっており、「やせ」や「肥満」の範囲の人で不安がやや高くなっています。



⑤不安の内容

問3-1（問3で「1. よくある」、または「2. ときどきある」とお答えの方に）それはどんな不安ですか。（〇は3つまで）



○不安の内容としては、「がん、心臓病など生活習慣病」が54%と半数を超えて目立って高く、次いで、「体が不自由になる」「家族に迷惑をかける」「なんとなく漠然とした不安」などが20%台で続いています。

■問3-1:属性別

- 「生活習慣病」を挙げた割合は、男性40歳代で70%に達するのをはじめ、40歳代以上の男性で目立って高くなっています。
- 女性の10～30歳代、男性の20歳代などの若い層で、「心の病気」を挙げる割合が20%を超えて高くなっています。
- 疾病以外の不安なこととして、「働けなくなる」は男性30～50歳代と女性40歳代で高くなっています。また、「体が不自由になる」「家族に迷惑をかける」は男性70歳以上、女性60歳代以上で顕著に高く、女性の60歳代以上で「介護・看病してくれる人がいない」を挙げる割合が高いなど、高齢期においては介護が必要になったときの不安が挙げられています。
- BMI別に見ると、「生活習慣病」を挙げた割合が、「肥満」の範囲の人で64%と高くなっています。

(問 3-1 : 性別年代別、BMI 別)

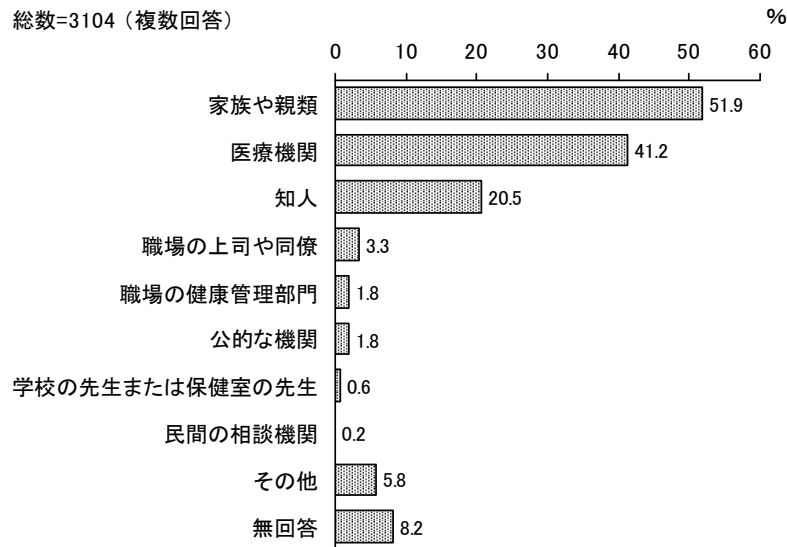
	N= (実数)	がん、心 臓病など 生活習慣 病	体が不自 由になる	家族に迷 惑をかけ る	何となく漠 然とした不 安	生活習慣 病以外の 病気	医療費の 支払い	働けなくな ること
全 体	3104	53.5	24.0	23.6	21.7	17.2	13.8	11.3
男性計	1258	61.0	23.9	22.8	17.8	17.4	13.4	12.9
男性/15～19 歳	56	39.3	12.5	7.1	35.7	21.4	5.4	3.6
20～29 歳	109	35.8	13.8	14.7	36.7	25.7	14.7	6.4
30～39 歳	131	58.0	9.9	18.3	26.0	16.0	12.2	17.6
40～49 歳	119	70.6	8.4	10.9	13.4	25.2	13.4	20.2
50～59 歳	199	69.3	19.6	18.6	17.1	19.6	16.1	21.6
60～69 歳	297	66.3	23.9	25.3	13.5	16.8	17.8	11.4
70 歳以上	347	61.1	42.1	34.0	11.5	11.2	9.5	8.4
女性計	1744	48.1	24.1	24.3	24.8	17.2	14.3	10.1
女性/15～19 歳	84	32.1	9.5	13.1	52.4	28.6	14.3	-
20～29 歳	215	35.3	6.5	10.2	37.7	23.3	11.2	4.7
30～39 歳	198	47.5	8.6	16.7	31.3	20.7	12.1	10.6
40～49 歳	171	57.3	11.7	17.5	19.9	17.0	16.4	16.4
50～59 歳	296	57.1	21.3	23.0	18.9	18.6	15.9	13.9
60～69 歳	367	52.0	33.8	29.2	17.2	13.9	17.7	9.0
70 歳以上	413	44.6	42.4	36.8	22.3	12.1	11.9	10.4
やせ	313	37.7	20.4	21.7	28.1	14.1	11.2	8.0
標準	2142	53.7	23.6	23.4	22.6	17.6	13.8	11.3
肥満	532	64.3	27.1	24.2	13.9	18.0	16.2	13.5

	心の病気	介護・看病 してくれる 人がいない	病院や医 師	その他
全 体	11.0	8.1	6.2	2.6
男性計	9.2	6.6	5.2	1.8
男性/15～19 歳	10.7	-	3.6	8.9
20～29 歳	25.7	-	5.5	2.8
30～39 歳	18.3	6.1	6.1	0.8
40～49 歳	11.8	6.7	3.4	1.7
50～59 歳	9.5	5.5	4.5	0.5
60～69 歳	3.0	7.7	6.4	1.7
70 歳以上	4.6	9.5	5.2	1.7
女性計	12.1	9.1	6.9	3.0
女性/15～19 歳	27.4	1.2	1.2	4.8
20～29 歳	26.0	0.5	6.5	5.1
30～39 歳	21.7	4.0	6.1	5.1
40～49 歳	11.7	5.3	7.0	1.8
50～59 歳	9.5	11.1	10.1	1.7
60～69 歳	5.2	14.2	8.7	2.7
70 歳以上	5.3	13.3	4.8	2.4
やせ	15.0	6.4	7.7	3.5
標準	11.2	8.2	6.5	2.4
肥満	7.1	8.5	3.9	2.3

注) 無回答は略

⑥不安の相談相手

問3-2（問3で「1. よくある」、または「2. ときどきある」とお答えの方に）ご自身の健康の不安について、どこに相談していますか。（○はあてはまるものすべて）



○不安の相談相手としては、「家族や親類」が最も多く 52%となっています。次いで、医療機関 41%、知人 21%と続いています。

○一方、公的な機関(保健センター、保健所など)の利用は 2%と少なくなっています。

■問3-2:属性別

○「家族や親類」「知人」の割合は、全般的に男性よりも女性で高くなっています。

○男女とも 40 歳代以上から医療機関を挙げる割合が高まり、男性では 60 歳代以上で 60%を超え、女性では 60 歳代、70 歳以上で半数程度に達しています。

○公的な機関は男性 70 歳以上、女性 60 歳代で利用する割合がやや高くなっています。

(問3-2:性別年代別)

	N=(実数)	家族や親類	医療機関	知人	職場の上司や同僚	職場の健康管理部門	公的な機関	学校の先生または保健室の先生	民間の相談機関	その他
全体	3104	51.9	41.2	20.5	3.3	1.8	1.8	0.6	0.2	5.8
男性/15~19歳	56	48.2	14.3	28.6	-	-	-	7.1	1.8	17.9
20~29歳	109	46.8	15.6	25.7	9.2	2.8	0.9	-	-	13.8
30~39歳	131	65.6	17.6	12.2	6.9	6.1	-	-	-	9.9
40~49歳	119	44.5	30.3	7.6	7.6	7.6	0.8	-	-	10.9
50~59歳	199	41.7	47.2	7.5	3.0	7.5	1.0	-	-	4.0
60~69歳	297	40.7	62.6	10.1	2.0	1.7	1.3	0.3	0.3	6.1
70歳以上	347	45.0	67.1	5.8	0.3	0.3	4.3	-	0.3	1.4
女性/15~19歳	84	59.5	15.5	35.7	1.2	-	-	9.5	-	10.7
20~29歳	215	64.7	19.1	34.9	6.5	1.4	0.5	2.8	-	6.5
30~39歳	198	68.7	21.7	27.8	6.6	1.0	1.0	-	-	6.1
40~49歳	171	59.6	29.2	29.8	7.0	1.2	-	-	0.6	7.0
50~59歳	296	55.4	31.4	39.5	5.1	1.4	2.0	-	0.3	6.8
60~69歳	367	53.1	46.9	25.9	0.3	0.3	3.5	-	0.3	4.1
70歳以上	413	50.6	55.7	14.8	0.2	0.2	2.2	-	-	1.9

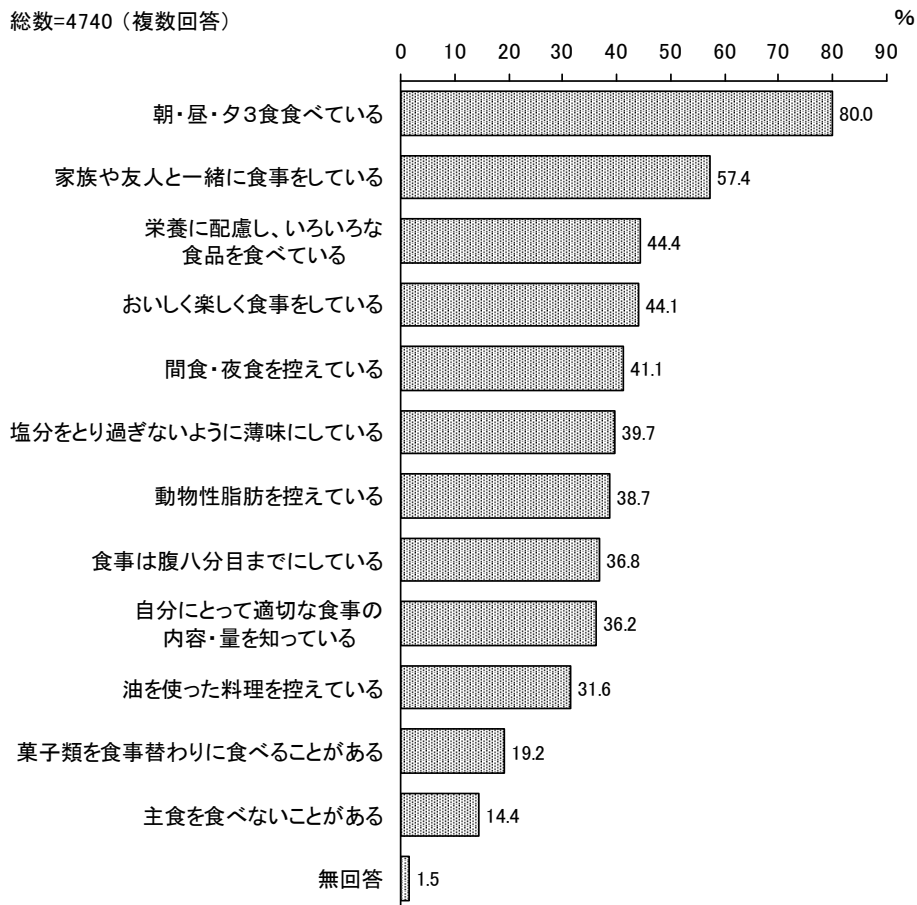
注) 無回答は略

(2) 栄養・食生活について

①食生活の状況

問4 現在の(日常)の食生活の状況をお答えください。(○はあてはまるものすべて)

総数=4740(複数回答)



○食生活の状況としては、「朝・昼・夕3食食べている」を挙げた割合が80%と最も多くなっています。次いで、「家族や友人と一緒に食事をしている」が57%と半数以上の割合となっています。

○中位グループには、「栄養に配慮しいろいろな食品を食べている」「おいしく楽しく食事をする」「間食・夜食を控える」などが40%台で続いています。総じて、規則正しく、バランスの良い食事を楽しくとるとということが意識されているといえます。

○一方、「自分にとって適切な食事の内容・量を知っている」割合は、全体で36%、ほぼ3人にひとり程度の割合にとどまっています。

■問 4: 属性別

- 全般に、3食食べる、間食・夜食を控える、腹八分目までにする、栄養に配慮するなど、望ましい食生活は男女とも50歳代以上でよく浸透している様子が伺えます。反対に、菓子類を食事代わりに食べる、主食を食べないことがあるなど、望ましくない食生活は、20歳代までの若い男性や、40歳代までの女性に多くなっています。
- 「おいしく、楽しく食事をしている」については、男性の20～50歳代で低くなっています。また、「家族や友人と一緒に食事をしている」についても、男性では10歳代を除いて低い割合となっています。一方、女性では10歳代から50歳代までの幅広い層で、家族や友人と一緒に食事をしているとする割合が高くなっています。
- 「自分にとって適切な食事の内容・量を知っている」割合は、男性50歳代まで、女性40歳代までの層で全体を下回っており、とくに男性10歳代、30歳代、40歳代、女性10歳代は20%を下回る低い割合となっています。

(問 4: 性別年代別)

	N=(実数)	朝・昼・夕3食食べている	家族や友人と一緒に食事をしている	栄養に配慮し、いろいろな食品を食べている	おいしく楽しく食事をしている	間食・夜食を控えている	塩分をとり過ぎないように薄味にしている	動物性脂肪を控えている	食事は腹八分目までにしてている	自分にとって適切な食事の内容・量を知っている	油を使った料理を控えている	菓子類を食事代わりに食べることがある	主食を食べないことがある
全体	4740	80.0	57.4	44.4	44.1	41.1	39.7	38.7	36.8	36.2	31.6	19.2	14.4
男性計	2002	78.9	50.8	41.1	40.6	40.3	34.6	34.8	38.8	32.9	26.5	13.2	11.7
男性/15～19歳	157	79.0	68.8	25.5	47.1	26.1	8.3	5.1	15.3	18.5	5.1	31.2	6.4
20～29歳	212	55.2	50.5	26.9	36.8	28.8	14.6	12.3	20.8	25.9	9.0	28.3	11.8
30～39歳	186	64.5	45.7	31.7	33.3	29.0	22.0	18.8	25.8	19.4	17.2	17.2	16.7
40～49歳	175	75.4	46.3	28.0	33.7	37.7	21.7	19.4	21.1	16.6	18.9	11.4	22.3
50～59歳	280	80.4	47.9	42.1	33.2	50.7	34.6	37.9	33.9	25.7	30.7	7.1	14.3
60～69歳	461	85.7	51.2	46.4	44.7	46.0	43.0	46.2	46.6	39.7	36.7	8.5	9.8
70歳以上	531	87.9	50.1	53.9	45.4	43.3	51.6	51.6	59.1	48.0	34.7	8.3	8.5
女性計	2575	80.5	63.3	47.0	47.2	41.8	43.4	41.4	35.1	38.5	35.4	24.2	16.2
女性/15～19歳	210	69.5	83.3	23.3	63.8	26.7	15.7	12.9	17.1	16.2	12.4	43.8	25.2
20～29歳	352	61.9	62.5	29.3	48.3	28.1	22.2	19.9	19.0	23.9	19.6	43.5	29.3
30～39歳	307	78.5	73.0	39.4	46.3	37.8	26.4	19.5	20.8	29.0	22.8	33.9	19.5
40～49歳	235	82.6	68.1	43.4	44.3	40.4	33.6	33.6	29.4	31.5	31.1	24.7	18.3
50～59歳	379	85.8	63.6	47.8	40.1	47.5	50.7	51.7	37.2	38.0	40.4	20.1	16.6
60～69歳	499	86.8	62.3	61.9	51.7	50.9	59.5	61.5	44.1	49.5	50.9	11.4	11.0
70歳以上	593	87.2	50.4	58.0	43.2	46.7	60.4	55.3	51.8	54.0	45.0	13.8	6.6

注) 無回答は略

- 就労形態別に見ると、常勤就労者では望ましい食習慣の実行率が低い傾向が見られ、「塩分を控える」「動物性脂肪を控える」「腹八分目にする」「適切な食事量を知っている」などの項目を実行している割合は、全体よりも10ポイント程度低くなっています。
- 一方、家事専従や無職では全般に望ましい食習慣の実行率が全体よりも高い傾向が見られます。
- BMIで「肥満」の範囲の人をとくに見てみると、「動物性脂肪を控えている」を挙げた割合がやや高いほかは目立った傾向の違いはなく、「間食・夜食を控える」、「腹八分目までにする」、「栄養に配慮する」「自分にとって適切な内容・量を知っている」など、望ましい食生活への取り組みは、まだ十分に浸透しないとも受け取れます。

(問4：就労形態別、BMI別)

	N=(実数)	朝・昼・夕3食食べている	家族や友人と一緒に食事をしている	栄養に配慮し、いろいろな食品を食べている	おいしく楽しく食事をしている	間食・夜食を控えている	塩分をとり過ぎないように薄味にしている	動物性脂肪を控えている	食事は腹八分目までにしている	自分にとって適切な食事の内容・量を知っている	油を使った料理を控えている	菓子類を食事代わりに食べることがある	主食を食べないことがある
全体	4740	80.0	57.4	44.4	44.1	41.1	39.7	38.7	36.8	36.2	31.6	19.2	14.4
常勤就労	1147	74.0	52.3	36.3	37.1	40.2	28.9	29.4	26.6	27.6	25.7	18.7	18.8
非常勤就労	591	78.2	60.4	40.4	44.2	39.9	37.4	38.2	33.5	32.1	32.3	23.9	17.4
自営業	334	80.8	53.6	47.0	41.3	39.8	44.0	47.6	46.7	37.1	34.1	12.6	15.0
家事専従	806	86.8	67.0	58.8	48.0	48.0	54.3	50.0	40.9	45.2	42.7	18.9	10.7
生徒・学生	517	70.6	74.3	26.5	55.1	26.1	13.5	11.2	17.2	19.3	9.7	38.7	18.4
無職	1081	86.1	48.5	51.5	43.9	44.9	52.5	50.1	51.9	47.1	38.5	11.5	8.8
やせ	448	75.9	57.6	38.8	38.6	30.8	37.7	33.3	34.2	39.5	31.0	23.9	16.7
標準	3320	80.2	58.7	45.6	44.4	43.1	39.4	37.9	37.6	36.5	30.8	19.1	14.2
肥満	758	81.3	54.1	43.5	46.0	39.6	42.3	45.3	34.8	31.7	35.8	16.1	13.1

注) 無回答は略

■問4：前回との比較

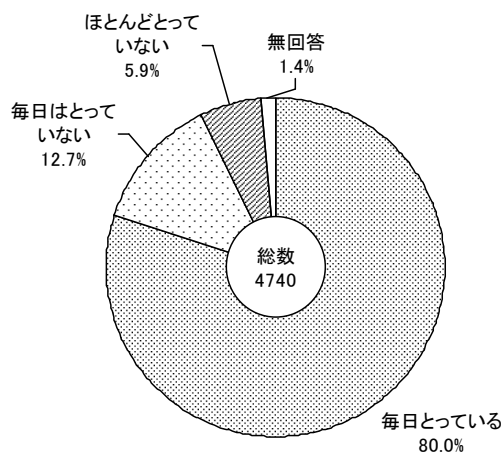
- 全般的に、望ましい食習慣・食生活については、その値がわずかとはいえ、前回よりも低下しており、なかでも、「自分にとって適切な食事の内容・量を知っている」は、5ポイントの低下となっています。

(問4：前回との比較－全体)

項目(複数選択)	今回(全体)	前回(全体)	今回－前回
朝・昼・夕3食食べている	80.0	83.0	-3.0
家族や友人と一緒に食事をしている	57.4	60.4	-3.0
栄養に配慮し、いろいろな食品を食べている	44.4	49.1	-4.7
おいしく楽しく食事をしている	44.1	46.3	-2.2
間食・夜食を控えている	41.1	45.0	-3.9
塩分をとり過ぎないように薄味にしている	39.7	44.6	-4.9
動物性脂肪を控えている	38.7	41.9	-3.2
食事は腹八分目までにしている	36.8	40.2	-3.4
自分にとって適切な食事の内容・量を知っている	36.2	41.2	-5.0
油を使った料理を控えている	31.6	31.2	0.4
菓子類を食事代わりに食べることがある	19.2	19.4	-0.2
主食を食べないことがある	14.4	11.5	2.9

②朝食の摂取状況

問5 あなたは、朝食をとっていますか。(○は1つだけ)



○朝食を毎日とっている割合は 80%で大多数となっています。

○欠食率(「毎日はとっていない」と「ほとんどとっていない」の計)は 19%、およそ 5 人にひとりとなっています。

■問5:属性別

○欠食率は男性 10～40 歳代、女性 10～30 歳代の若い年代層で高く、男性 20 歳代(48%)、30 歳代(43%)、女性 20 歳代(44%)が目立って高くなっています。

(問5:性別年代別)

	N=(実数) (0)	毎日とっている (1)	毎日はとっていない (2)	ほとんどとっていない (3)	朝食の欠食率 (2)+(3)
全 体	4740	80.0	12.7	5.9	18.7
男性計	2002	79.7	12.2	7.2	19.4
男性/15～19 歳	157	71.3	26.1	2.5	28.7
20～29 歳	212	50.9	32.5	15.6	48.1
30～39 歳	186	57.5	23.1	19.4	42.5
40～49 歳	175	75.4	9.7	14.3	24.0
50～59 歳	280	82.5	9.3	7.5	16.8
60～69 歳	461	89.4	5.2	4.3	9.5
70 歳以上	531	92.8	4.5	1.1	5.6
女性計	2575	79.7	13.6	5.1	18.7
女性/15～19 歳	210	66.2	25.7	7.6	33.3
20～29 歳	352	56.3	30.7	13.1	43.8
30～39 歳	307	76.2	17.9	5.9	23.8
40～49 歳	235	80.0	13.2	5.5	18.7
50～59 歳	379	84.4	9.8	5.3	15.0
60～69 歳	499	88.6	8.0	2.0	10.0
70 歳以上	593	89.7	4.2	1.3	5.6

○就労形態別に欠食率を見ると、常勤者 27%、生徒・学生 34%と毎日通勤・通学する層で多くなっています。

○世帯類型別の欠食率では、一人暮らし（34%）や夫婦のみの世帯（27%）で欠食率が高く、子どもを持つ核家族世帯（11%）で低くなっています。

（問 5：就労形態、世帯類型別）

	N= (実数) (0)	毎日とっている (1)	毎日はとっていない (2)	ほとんどとっていない (3)	朝食の 欠食率 (2)+(3)
全 体(4740)	4740	80.0	12.7	5.9	18.7
常勤就労	1147	72.4	15.5	11.4	26.9
非常勤就労	591	76.5	15.9	7.1	23.0
自営業	334	81.7	9.9	7.5	17.4
家事専従	806	88.1	8.6	2.1	10.7
生徒・学生	517	66.2	27.3	6.4	33.7
無職	1081	88.5	6.8	2.3	9.2
一人暮らし世帯	432	66.2	27.3	6.4	33.7
夫婦のみの世帯	1091	71.5	17.4	9.3	26.6
核家族世帯	2127	88.0	6.5	4.2	10.7
二世帯世帯	325	76.8	15.8	6.5	22.3
三世帯世帯	533	84.6	9.5	4.9	14.5

■問 5: 前回との比較

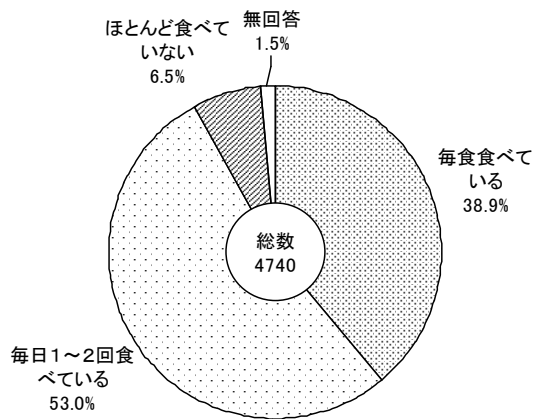
○全体での欠食率は前回から 3 ポイント上昇していますが、ほぼ同じ程度とみることができます。しかし、男性 30 歳代では 6 ポイント、女性 20 歳代では 8 ポイント上昇しており改善が進んでいません。

（問 5：前回との比較—朝食を「毎日とっていない」「ほとんどとっていない」の計）

	今回	前回	前回－今回
全体	18.7	15.9	2.8
男性／20～29 歳(212)	48.1	48.9	-0.8
30～39 歳(186)	42.5	36.7	5.8
女性／20～29 歳(352)	43.8	35.9	7.9

③野菜の摂取状況

問6 あなたは、毎食野菜を食べていますか。(○は1つだけ)



○一日の食事で野菜を食べる頻度は、毎日1~2回が53%で最も多く、毎食が39%となっており、ほとんど食べていないのは7%と少なくなっています。

■問6: 属性別

- 「毎食食べている」とする割合は、男性70歳以上、女性60歳代以上で多くなっています。反対に、「ほとんど食べない」割合は男性20~40歳代、女性20歳代で高くなっています。
- 就労形態で見ると、自宅で食事をとることが多いと考えられる自営業、家事専従、無職などで「毎食食べている」割合が高くなっています。
- 世帯類型別では、一人暮らしで「ほとんど食べていない」の割合が15%と高くなっています。

■問6: 前回との比較

- 野菜を「毎食食べている」割合は、全体では前回とほぼ同程度となっています。男性20歳代、女性20歳代、30歳代では、前回よりもやや割合が高くなっていますが、大きな変化はありません。

(問6: 性別年代、就労形態、世帯類型別)

	N=(実数)	毎食食べている	毎日1~2回食べている	ほとんど食べていない
全体	4740	38.9	53.0	6.5
男性計	2002	35.1	55.2	8.5
男性/15~19歳	157	24.8	65.0	10.2
20~29歳	212	25.9	56.1	17.0
30~39歳	186	23.1	60.2	16.7
40~49歳	175	25.1	58.9	14.3
50~59歳	280	28.2	62.1	9.3
60~69歳	461	39.0	54.2	5.0
70歳以上	531	49.5	46.3	2.6
女性計	2575	41.7	51.6	5.0
女性/15~19歳	210	30.5	58.6	10.5
20~29歳	352	25.6	62.2	12.2
30~39歳	307	29.0	68.1	2.9
40~49歳	235	41.7	52.8	4.3
50~59歳	379	43.3	50.1	5.5
60~69歳	499	48.7	46.7	2.8
70歳以上	593	55.1	39.0	1.7
常勤就労	1147	29.4	59.2	10.7
非常勤就労	591	33.2	59.1	6.9
自営業	334	47.6	45.2	5.4
家事専従	806	46.0	50.6	2.0
生徒・学生	517	29.8	60.0	10.1
無職	1081	47.5	45.9	4.3
一人暮らし世帯	432	29.6	53.0	15.0
夫婦のみの世帯	1091	44.6	50.0	3.5
核家族世帯	2127	34.6	57.9	6.4
二世帯世帯	325	51.1	43.4	4.6
三世帯世帯	533	47.6	40.7	6.2

(問6: 前回との比較-野菜を「毎食食べている」割合)

注) 無回答は略

	今回	前回	前回-今回
全体	38.9	40.0	-1.1
男性/20~29歳(212)	25.9	22.0	3.9
30~39歳(186)	23.1	25.0	-1.9
女性/20~29歳(352)	25.6	23.6	2.0
30~39歳(307)	29.0	26.2	2.8

④各種食品の摂取状況

問7 次の食品を、どのくらいの頻度で食べていますか。ア～ウのそれぞれについてお答えください。
(○はそれぞれ1つずつ)

単位:%(5%未満非表示)

	毎日	週に4 ～6日	週に1 ～3日	週に1 日未満	無回答
ア. 牛乳・乳製品	50.6	16.4	17.0	10.4	5.7
イ. 大豆・大豆製品	32.0	25.9	29.3	7.6	5.1
ウ. 果物	32.0	22.0	25.9	15.5	

○牛乳・乳製品については「毎日」がほぼ半数、「週に4～6日」が16%と比較的頻度が高くなっています。

○大豆、果物については牛乳・乳製品よりも頻度が低く、どちらも「毎日」の割合は32%で、大豆・大豆製品については「週に1日未満」とする割合も30%にのぼっています。

■問7:属性別

○男性ではいずれの食品とも、20～40歳代で「毎日」の割合が低く、「週に1日未満」の割合が高い傾向が見られ、50歳代以上から食べる頻度が高くなっています。

○女性では、牛乳については30歳代以上で頻度が高く、10歳代、20歳代ではそれ以上の世代よりも低いものの、半数近くが「毎日」としています。しかし、大豆・大豆製品、果物について「毎日」とする割合は、女性10～40歳代まで全体よりも低く、50歳代以上で高くなっています。

問7. 食品の頻度「ア. 牛乳・乳製品」

「イ. 大豆・大豆製品」

「ウ. 果物」

	単位:%(5%未満非表示)					単位:%(5%未満非表示)					単位:%(5%未満非表示)				
	毎日	週に4 ～6日	週に1 ～3日	週に1 日未満	無回答	毎日	週に4 ～6日	週に1 ～3日	週に1 日未満	無回答	毎日	週に4 ～6日	週に1 ～3日	週に1 日未満	無回答
全体(4740)	50.6	16.4	17.0	10.4	5.7	32.0	25.9	29.3	7.6	5.1	32.0	22.0	25.9	15.5	
男性計(2002)	44.7	15.1	19.9	13.6	6.7	29.1	26.0	32.0	8.0	5.1	26.7	21.7	27.6	18.9	
男性/15～19歳(157)	56.1	19.7	17.2	7.0		19.1	35.0	36.3	9.6		19.1	26.8	36.9	17.2	
20～29歳(212)	42.9	18.4	28.3	9.9		17.9	25.0	41.5	15.1		13.7	13.7	35.4	36.3	
30～39歳(186)	40.9	17.2	27.4	13.4		17.2	23.7	47.8	10.8		9.1	21.0	31.2	38.2	
40～49歳(175)	36.6	20.6	22.9	18.9		18.9	26.3	42.3	10.9		11.4	18.9	39.4	28.6	
50～59歳(280)	34.6	19.3	20.4	21.8		28.2	30.0	32.9	7.1		22.1	24.6	31.1	19.6	
60～69歳(461)	44.7	11.9	19.3	15.6	8.5	34.9	24.5	27.8	6.7	6.1	33.8	24.7	22.6	13.4	5.4
70歳以上(531)	51.4	10.4	13.9	9.4	14.9	39.5	29.5	21.3	11.3		41.4	20.5	20.0	6.8	11.3
女性計(2575)	55.6	17.2	14.7	8.0		34.1	26.2	27.8	7.5		36.4	22.2	24.5	13.0	
女性/15～19歳(210)	48.1	21.4	21.0	8.6		17.6	26.7	41.0	13.3		19.5	28.1	36.2	15.2	
20～29歳(352)	44.3	21.6	20.5	13.4		20.2	24.1	40.3	15.3		17.3	22.4	29.8	30.4	
30～39歳(307)	63.5	20.2	9.8	6.2		28.0	32.9	33.6	5.5		18.9	22.8	36.8	21.5	
40～49歳(235)	56.2	18.7	15.3	6.4		30.2	33.2	26.4	6.5		25.1	22.6	36.6	14.0	
50～59歳(379)	55.1	19.8	16.9	6.9		39.8	25.9	25.6	6.9		37.7	26.1	24.3	10.8	
60～69歳(499)	56.7	14.0	15.0	9.2	5.0	42.5	25.7	22.8			52.3	17.6	18.2	6.8	5.0
70歳以上(593)	59.9	11.8	9.8	5.9	12.8	42.0	21.8	17.9	14.3		53.1	20.7	11.6		10.6

- 就労形態別に見ると、中高年女性の占める割合の高い家事専従でいずれの食品も「毎日」とする割合が高くなっています。
- 外食の機会が多い常勤就労ではいずれの食品も「毎日」とする割合が低く、大豆・大豆製品では「週に1～3日」が、果物については「週に1日未満」の割合が全体よりも10ポイント程度高くなっており、頻度が低くなっています。
- 高齢層の多い無職では、大豆・大豆製品や果物を摂る割合が全体よりも高くなっています。
- 世帯類型では、一人暮らし世帯で、いずれの食品も「毎日」や「週に4～6日」とする割合が全体よりも低く、「週に1日未満」とする割合が高い傾向があります。とくに、大豆・大豆製品は「週に1日未満」が全体を7ポイント、果物は10ポイント上回っています。
- BMI別では細かな数値の違いはあるものの、とくに傾向の違いは見られません。

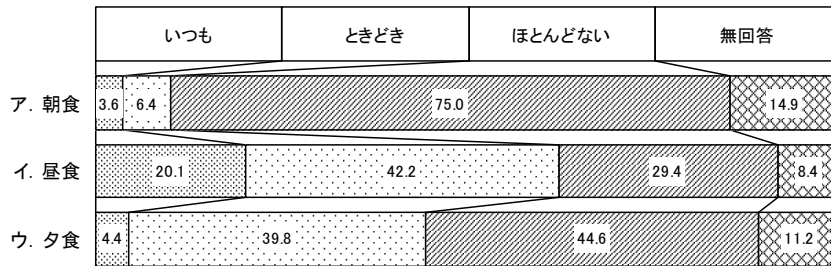
(問7：就労形態、世帯類型、BMI別)

	N=(実数)	ア. 牛乳・乳製品				イ. 大豆・大豆製品				ウ. 果物			
		毎日	週に4-6日	週に1-3日	週に1日未満	毎日	週に4-6日	週に1-3日	週に1日未満	毎日	週に4-6日	週に1-3日	週に1日未満
全体	4740	50.6	16.4	17.0	10.4	32.0	25.9	29.3	7.6	32.0	22.0	25.9	15.5
常勤就労	1147	42.6	19.6	20.7	14.6	24.0	26.3	38.6	9.8	18.8	20.9	33.0	25.7
非常勤就労	591	47.5	19.5	18.1	11.0	28.6	27.2	31.5	9.1	28.8	22.8	28.6	17.6
自営業	334	45.5	13.5	16.2	14.7	35.3	24.9	22.5	9.3	34.1	20.4	21.6	17.1
家事専従	806	62.3	15.6	12.4	5.1	41.6	26.9	24.1	3.2	45.5	20.0	20.7	9.6
生徒・学生	517	51.5	19.9	20.5	7.7	20.7	28.8	38.3	11.4	18.6	28.6	35.4	17.0
無職	1081	53.4	11.5	14.6	10.0	39.1	24.1	21.6	5.8	43.1	22.0	18.5	8.2
一人暮らし世帯	432	47.5	12.7	17.1	14.6	26.2	20.1	30.3	14.8	30.1	15.3	22.5	25.5
夫婦のみの世帯	1091	55.3	15.9	14.3	8.8	37.1	27.1	24.2	4.8	43.2	21.0	20.2	9.9
核家族世帯	2127	49.9	18.1	18.1	10.0	29.9	27.3	32.3	8.0	27.2	22.9	30.1	17.4
二世帯世帯	325	47.1	13.2	20.9	10.8	37.2	21.2	28.9	6.8	34.8	23.4	25.5	11.4
三世帯世帯	533	49.0	17.4	15.6	11.4	30.8	28.5	29.3	6.4	27.8	26.8	25.7	15.0
やせ	448	49.8	18.5	15.2	10.7	28.8	23.2	35.7	7.6	29.5	23.0	27.7	16.3
標準	3320	52.1	16.4	17.0	9.3	33.2	26.8	28.5	7.2	32.8	22.1	25.6	15.3
肥満	758	45.1	15.2	18.2	15.3	28.5	25.7	30.9	8.8	30.3	21.6	26.9	16.5

注) 無回答は略

⑤ 外食の頻度

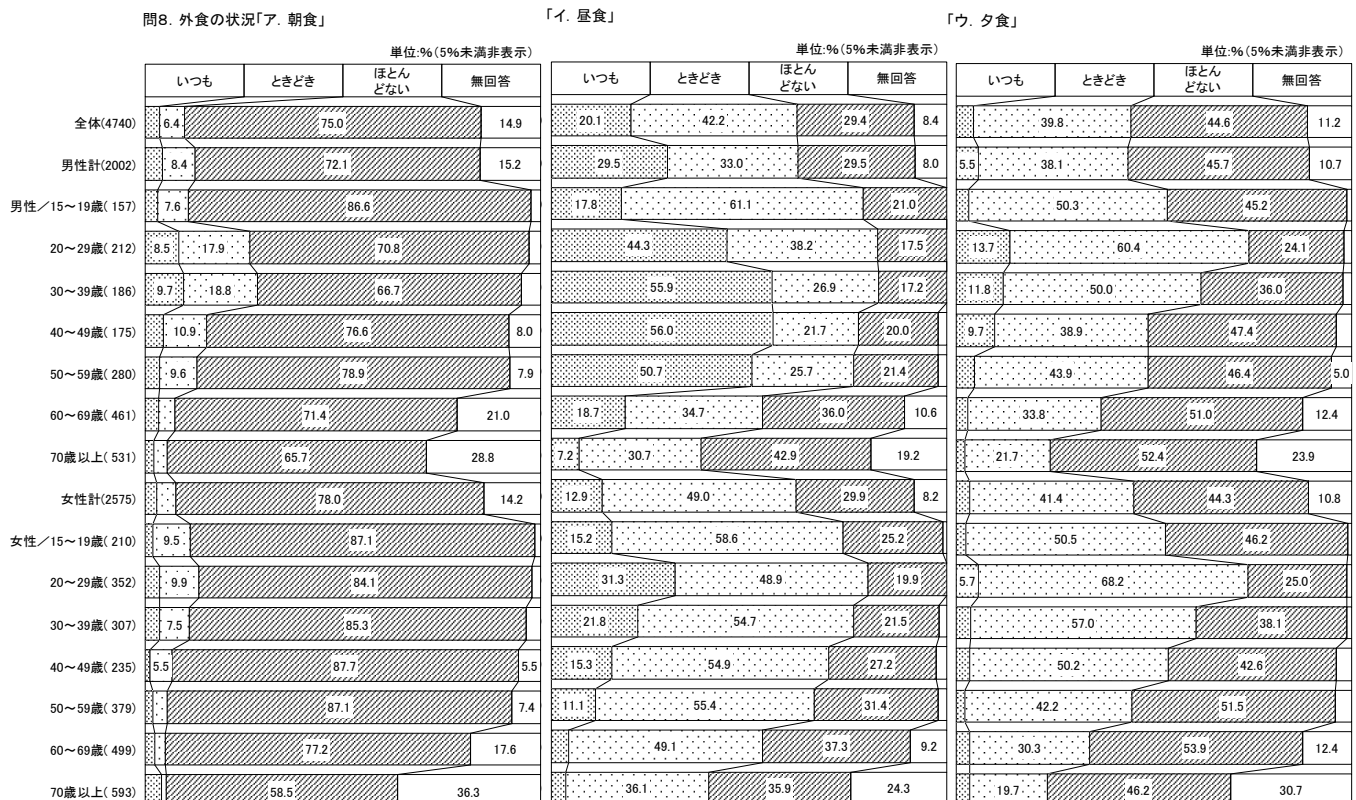
問8 あなたの外食（市販の弁当も含む）状況について、お答えください。（〇はそれぞれ1つずつ）



- 朝食については、外食が「ほとんどない」とする割合が75%と大半であり、「いつも」と「ときどき」をあわせて外食する割合は10%となっています。
- 昼食については、外食が「ほとんどない」とする割合は30%と低く、外食する割合が62%と大半を占めています。
- 夕食については、「ときどき」と「ほとんどない」でおおむね二分されています。

■ 問8: 属性別

- 性別年代別に見ると、全般に、男性20歳代、30歳代の外食率がとくに高い傾向が見られます。
- 朝食については、男女とも全般的に外食の割合が低くなっていますが、男性20歳代、30歳代では20%を超えて高くなっていることが目立ちます。
- 昼食については、男女とも10歳代は「ときどき」が最も多くなっていますが、男性20～50歳代では50%前後が「いつも」、女性20～60歳代は「ときどき」が高い割合を占めています。
- 夕食については、男性20～30歳代、女性20～40歳代で「ときどき」が高い割合を占めています。また、男性20歳代、30歳代では「いつも」とする割合も他世代より高くなっています。



○就労形態別では、常勤就労で外食率が高い傾向が見られ、昼食では51%が「いつも」、夕食でも50%が「ときどき」としており、いずれも全体を大きく上回っています。

○世帯類型では、一人暮らし世帯で「いつも」とする割合が3食とも全体を上回っています。

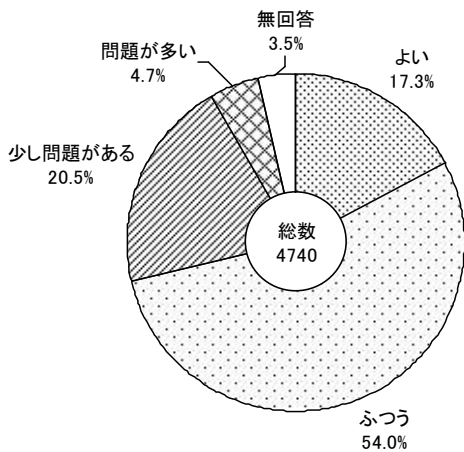
(問8：就労形態、世帯類型別)

	N= (実数)	ア. 朝食			イ. 昼食			ウ. 夕食		
		いつも	ときどき	ほとんど ない	いつも	ときどき	ほとんど ない	いつも	ときどき	ほとんど ない
全体	4740	3.6	6.4	75.0	20.1	42.2	29.4	4.4	39.8	44.6
常勤就労	1147	5.2	12.4	74.2	51.4	28.2	18.6	7.6	50.3	37.1
非常勤就労	591	2.9	5.4	82.1	15.7	48.4	32.0	3.2	41.8	47.7
自営業	334	3.9	5.7	70.1	15.0	37.1	34.7	4.2	35.3	45.5
家事専従	806	2.4	2.1	78.0	2.9	54.6	32.9	2.5	36.2	48.8
生徒・学生	517	2.9	9.5	85.5	22.4	58.2	19.0	4.1	56.7	37.9
無職	1081	3.1	3.2	69.4	4.2	37.7	41.1	3.2	26.0	51.5
一人暮らし世帯	432	8.8	10.4	61.1	27.8	35.2	25.2	14.4	40.3	31.0
夫婦のみの世帯	1091	2.4	3.7	74.7	14.7	38.9	35.7	2.9	36.3	47.1
核家族世帯	2127	3.3	7.9	79.0	23.6	44.1	27.2	3.4	44.0	45.4
二世帯世帯	325	2.8	4.3	72.0	15.7	42.8	29.8	3.7	32.6	47.4
三世帯世帯	533	3.0	3.8	79.7	15.8	46.5	30.2	3.6	37.5	49.0

注) 無回答は略

⑥食生活の評価

問9 現在の自分の食生活をどのように思いますか。(○は1つだけ)



- 食生活の自己評価は「ふつう」とする割合がほぼ半数で、最も多くなっています。
- 反対に、「問題が多い」「少し問題がある」をあわせて25%が、食生活に問題があるとしており、「よい」(17%)を上回っています。

■問9: 属性別

- 男性 20～40 歳代では、問題があるとする割合（「問題が多い」「少し問題がある」の計）が40%以上にのぼっています。
- 女性では、20 歳代で問題があるとする割合が50%近くへのぼり、30 歳代、40 歳代でも問題があるとする割合は30%を超えています。
- 問題があるとする割合がとくに高い男性 20～40 歳代、女性 20 歳代は、野菜（問5）、牛乳・乳製品、大豆・大豆製品、果物（問6）を摂る頻度が少なく、外食率の高い層（問7）であり、こうした食生活に対する問題意識があることを示唆しています。

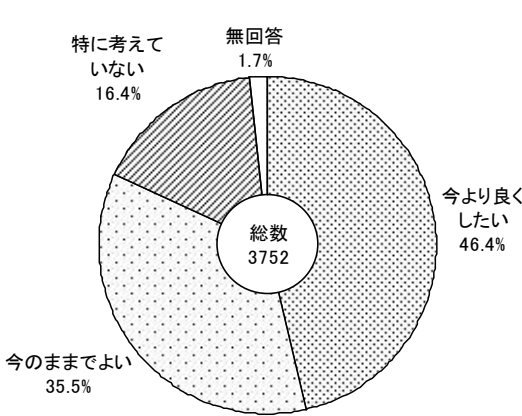
問9. 現在の食生活

単位:%(5%未満非表示)

	よい	ふつう	少し問題がある	問題が多い	無回答
全体(4740)	17.3	54.0	20.5	4.7	3.5
男性計(2002)	20.8	51.2	20.8	5.0	3.2
男性/15～19歳(157)	15.9	54.8	23.6	5.1	3.6
20～29歳(212)	10.8	41.5	35.4	11.8	3.5
30～39歳(186)	12.4	42.5	34.9	10.2	3.0
40～49歳(175)	16.0	37.7	37.1	8.0	3.2
50～59歳(280)	20.0	49.3	24.3	6.1	3.3
60～69歳(461)	24.9	56.4	13.4	3.4	3.9
70歳以上(531)	27.7	58.2	8.3	3.8	3.0
女性計(2575)	14.8	55.9	20.5	5.3	3.5
女性/15～19歳(210)	12.9	51.4	28.6	5.7	3.4
20～29歳(352)	9.9	40.3	36.4	12.8	3.6
30～39歳(307)	10.1	55.7	29.3	4.9	3.0
40～49歳(235)	10.2	53.6	27.7	6.0	3.5
50～59歳(379)	15.6	57.3	20.8	4.3	3.0
60～69歳(499)	18.4	64.5	12.0	3.1	3.0
70歳以上(593)	18.9	59.7	7.6	12.6	3.2

⑦食生活の改善意欲

問9-1 (問9で2~4をお答えの方に) 自分の食生活について、今後どのようにしたいと思っていますか。(〇は1つだけ)



○食生活が普通、問題があると思う人のうち、ほぼ半数は「今よりよくしたい」と考えていますが、「今のままでよい」とする割合も36%と大きな割合を占めています。

■問9-1:属性別

○前問で「少し問題がある」「問題が多い」の割合の高かった男性20~40歳代、女性20歳代で「今より良くしたい」とする割合が高くなっています。

○女性では30~50歳代でも「今より良くしたい」とする割合が全体よりも高く、食生活に対する意識の高さが表れています。

問9-1. 食生活について今後どのようにしたいか

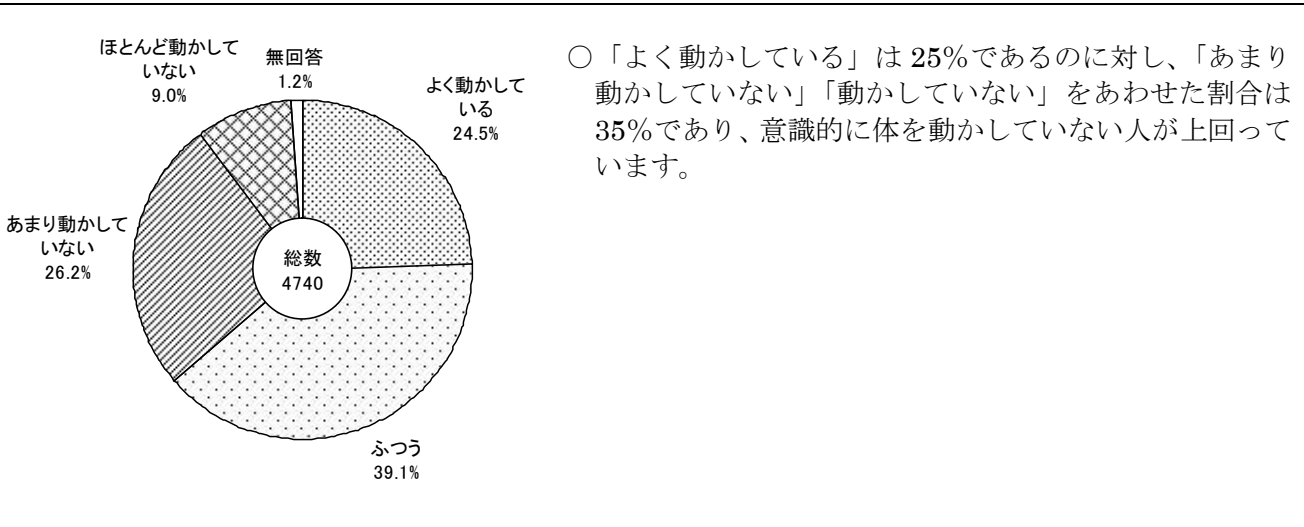
単位:%(5%未満非表示)

	今より良くしたい	今のままでよい	特に考えていない	無回答
全体(3752)	46.4	35.5	16.4	1.7
男性計(1542)	41.0	38.7	18.4	1.7
男性/15~19歳(131)	43.5	28.2	28.2	1.7
20~29歳(188)	61.7	20.7	17.0	1.7
30~39歳(163)	62.6	23.3	13.5	1.7
40~49歳(145)	56.6	24.8	16.6	1.7
50~59歳(223)	49.8	27.4	21.1	1.7
60~69歳(331)	25.4	54.1	17.8	1.7
70歳以上(361)	22.2	57.3	17.2	1.7
女性計(2085)	50.7	32.9	14.8	1.7
女性/15~19歳(180)	48.3	27.2	24.4	1.7
20~29歳(315)	69.8	16.2	13.7	1.7
30~39歳(275)	71.3	18.5	9.1	1.7
40~49歳(205)	65.9	20.5	12.7	1.7
50~59歳(313)	51.4	30.0	15.7	1.7
60~69歳(391)	39.1	42.7	16.6	1.7
70歳以上(406)	26.1	57.4	14.0	1.7

(3) 身体活動・運動

①意識的に体を動かすこと

問10 あなたは日頃から、意識的に体を動かしていますか。(○は1つだけ)



■問10:属性別

○男性では20～50歳代まで、女性では20～40歳代までの層で、「よく動かしている」とする割合が低く、50歳代、60歳代から意識的に動かす割合が高まっています。

○男性30歳代、40歳代では「よく動かしている」が20%を下回る一方、「あまり動かしていない」「ほとんど動かさない」をあわせた割合は50%を超えています。

○女性では20歳代が、「よく動かしている」割合が最も低い年代となっており、「あまり動かしていない」「ほとんど動かさない」をあわせた割合は60%にのぼっています。

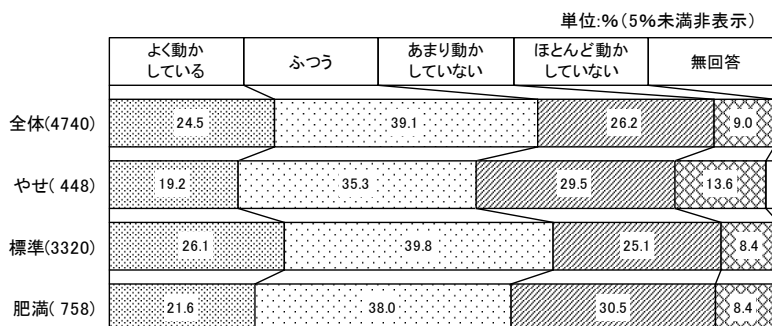
問10. 意識的に体を動かしていますか

単位:%(5%未満非表示)

	よく動かしている	ふつう	あまり動かしていない	ほとんど動かしていない	無回答
全体(4740)	24.5	39.1	26.2	9.0	
男性計(2002)	27.3	38.8	24.9	8.3	
男性/15~19歳(157)	40.1	30.6	19.7	9.6	
20~29歳(212)	25.5	32.5	27.8	14.2	
30~39歳(186)	16.1	32.8	32.3	18.8	
40~49歳(175)	17.7	29.7	34.9	17.1	
50~59歳(280)	21.8	37.5	31.1	9.3	
60~69歳(461)	33.4	44.7	18.0		
70歳以上(531)	28.8	44.4	22.0		
女性計(2575)	22.3	39.3	27.5	9.6	
女性/15~19歳(210)	21.0	34.3	31.9	12.4	
20~29歳(352)	10.2	28.4	40.1	20.7	
30~39歳(307)	12.1	30.9	38.4	18.6	
40~49歳(235)	12.3	36.2	37.4	12.3	
50~59歳(379)	26.1	40.1	27.2	6.3	
60~69歳(499)	30.5	48.7	18.0		
70歳以上(593)	29.8	44.5	17.0	5.1	

○BMI別では、「やせ」の範囲の人と「肥満」の範囲の人で「よく動かしていない」とする割合が低く、「あまり動かしていない」「ほとんど動かさない」をあわせた割合が高くなっていますが、顕著な違いは見られません。

問10. 意識的に体を動かしていますか



■問10:前回との比較

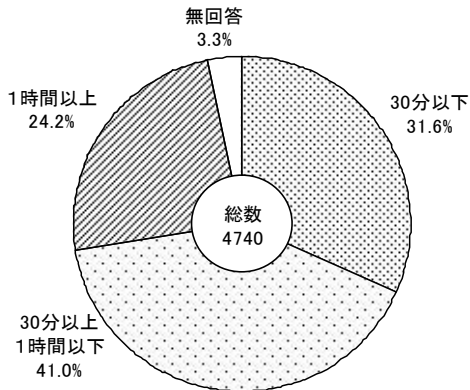
○男性 40 歳代で「よく動かしている」とする割合が 6 ポイント上昇しています。他の年代では大きな違いはなく、全体でも前回とほぼ同様となっています。

(問10:前回との比較-「よく動かしている」の割合)

	全 体	男性計		女性計				
		30~39 歳	40~49 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳		
今回	24.5	27.3	16.1	17.7	22.3	10.2	12.1	12.3
前回	25.0	29.0	17.6	11.8	21.8	8.3	12.5	14.2
今回-前回	-0.5	-1.7	-1.5	5.9	0.5	1.9	-0.4	-1.9

②日常生活での歩く時間

問11 あなたは、ふだん通勤・買い物・散歩等の日常生活で歩く時間を合計すると、1日に何分くらい歩きますか。(○は1つだけ)



○1日で歩く時間は、「30分から1時間以下」が41%、「30分以下」が32%となっており、あわせて1時間以下が7割を占めています。

■問11:属性別

- 男性 10 歳代、20 歳代、女性 10 歳代で、「1 時間以上」とする割合が 30%程度と高くなっています。
- 男女とも 30 歳代、40 歳代では「1 時間以上」が減少し、「30 分以下」の割合が増加しています。とくに、女性 30 歳代で 42%と高くなっています。
- 男性では 60 歳代、女性では 50 歳代で「1 時間以上」とする割合が再び全体よりも高くなっています。

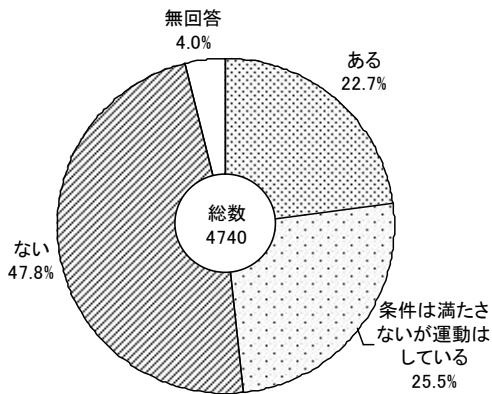
問11. 日常生活で1日あたり歩く時間

単位:%(5%未満非表示)

	30分以下	30分以上1時間以下	1時間以上	無回答
全体(4740)	31.6	41.0	24.2	3.3
男性計(2002)	30.3	40.6	26.9	3.3
男性/15~19歳(157)	24.8	44.6	29.9	3.3
20~29歳(212)	30.2	33.0	36.3	3.3
30~39歳(186)	31.2	48.9	19.4	3.3
40~49歳(175)	36.0	40.0	22.9	3.3
50~59歳(280)	26.8	45.4	26.8	3.3
60~69歳(461)	28.0	38.2	31.9	3.3
70歳以上(531)	33.5	39.2	21.8	5.5
女性計(2575)	32.9	41.6	21.7	3.3
女性/15~19歳(210)	29.5	39.5	30.0	3.3
20~29歳(352)	32.4	42.3	25.0	3.3
30~39歳(307)	41.7	40.7	16.9	3.3
40~49歳(235)	36.2	43.4	18.3	3.3
50~59歳(379)	29.8	40.9	29.0	3.3
60~69歳(499)	26.7	47.7	23.6	3.3
70歳以上(593)	35.8	36.9	14.5	12.8

③運動習慣の有無

問12 あなたは運動習慣がありますか。(○は1つだけ) (「運動習慣」とは、1回30分以上の運動をおおよそ週2回以上実施し、1年以上継続している場合をいいます。)



○運動習慣が「ある」のは23%、「条件は満たさないが運動はしている」が26%でほぼ半数にあたる48%が運動をしています。

○一方、運動習慣が「ない」のも48%で、運動をしている人と同程度となっています。

■問12:属性別

○男性では20～50歳代まで、女性では20～40歳代までの層で、「ある」とする割合が全体よりも低く、先の問10と同様、50歳代、60歳代から意識的に動かさず割合が高まっています。

○男性30歳代、40歳代では「ある」が20%を下回る一方、「ない」が60%を超えて高くなっています。

○女性では20歳代で、「ある」が10%にも満たない割合になっている一方、「ない」が男女を通じて最も高い71%に達しています。30歳代においても、20歳代と大きな違いはなく、女性20歳代、30歳代が最も運動から遠ざかっている層となっています。

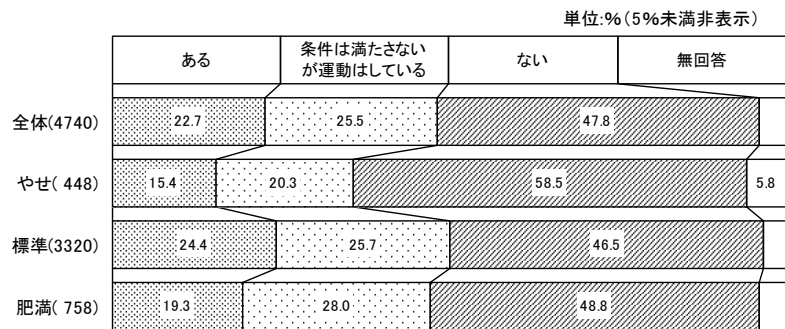
問12. 運動習慣の有無

単位:%(5%未満非表示)

	ある	条件は満たさないが運動はしている	ない	無回答
全体(4740)	22.7	25.5	47.8	
男性計(2002)	26.6	26.8	43.3	
男性/15～19歳(157)	44.6	25.5	29.9	
20～29歳(212)	21.7	27.8	50.5	
30～39歳(186)	14.5	23.1	62.4	
40～49歳(175)	16.0	18.9	64.6	
50～59歳(280)	21.4	28.9	48.6	
60～69歳(461)	33.2	29.1	33.4	
70歳以上(531)	28.1	27.5	36.3	8.1
女性計(2575)	19.2	24.9	51.7	
女性/15～19歳(210)	26.7	24.3	48.1	
20～29歳(352)	9.4	19.3	71.3	
30～39歳(307)	11.4	20.2	68.1	
40～49歳(235)	13.2	24.7	60.9	
50～59歳(379)	23.7	25.1	49.6	
60～69歳(499)	27.9	31.1	37.7	
70歳以上(593)	18.7	25.5	42.3	13.5

○BMI別にみると、「やせ」の範囲の人で運動習慣の「ない」割合が高くなっています。「肥満」の範囲の人については、全体傾向と大きな違いはありません。

問12. 運動習慣の有無



■問 12: 前回との比較

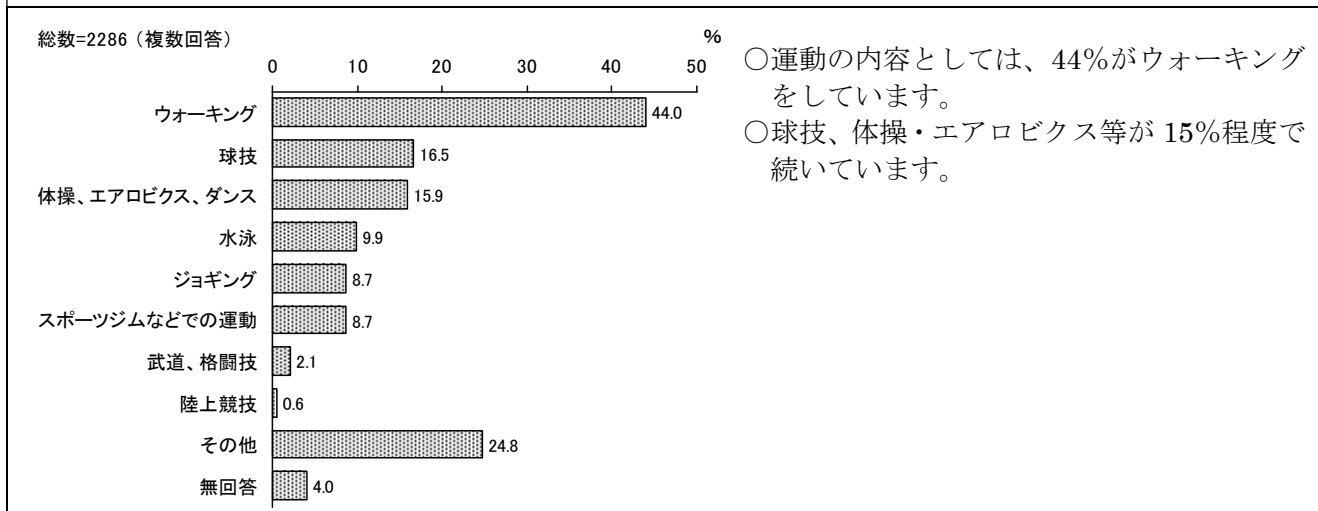
○運動習慣が「ある」割合について見ると、男性 30 歳代では 4.ポイント、女性 20～30 歳代では 2～3 ポイント上昇していますが、おおむね前回と同程度の水準を維持しています。

(問 12 : 前回との比較—運動習慣が「ある」割合)

	全 体	男性計		女性計				
		30～39 歳	40～49 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳		
今回	22.7	26.6	14.5	16.0	19.2	9.4	11.4	13.2
前回	22.4	26.5	10.1	15.5	18.8	7.0	8.9	14.2
今回－前回	0.3	0.1	4.4	0.5	0.4	2.4	2.5	-1.0

④行っている運動

問12-1（問12で「1. ある」「2. 条件は満たさないがしている」とお答えの方に）では、具体的に何をしていますか。（○はあてはまるものすべて）



■問12-1：属性別

- 全体で最も割合の高かったウォーキングは、50歳代以上の比較的高齢の男女で高い割合となっています。
- 全体で2位だった球技は、男性10～40歳代、女性20～30歳代で高くなっており、比較的若い年代層の男女で高い割合となっています。また、男性30～40歳代、女性20～30歳代ではスポーツジムなどでの運動も高くなっています。
- 体操・エアロビクス等は30歳代以上の女性が中心ですが、ジョギングは男性、とくに20歳代、40～50歳代が中心となっています。

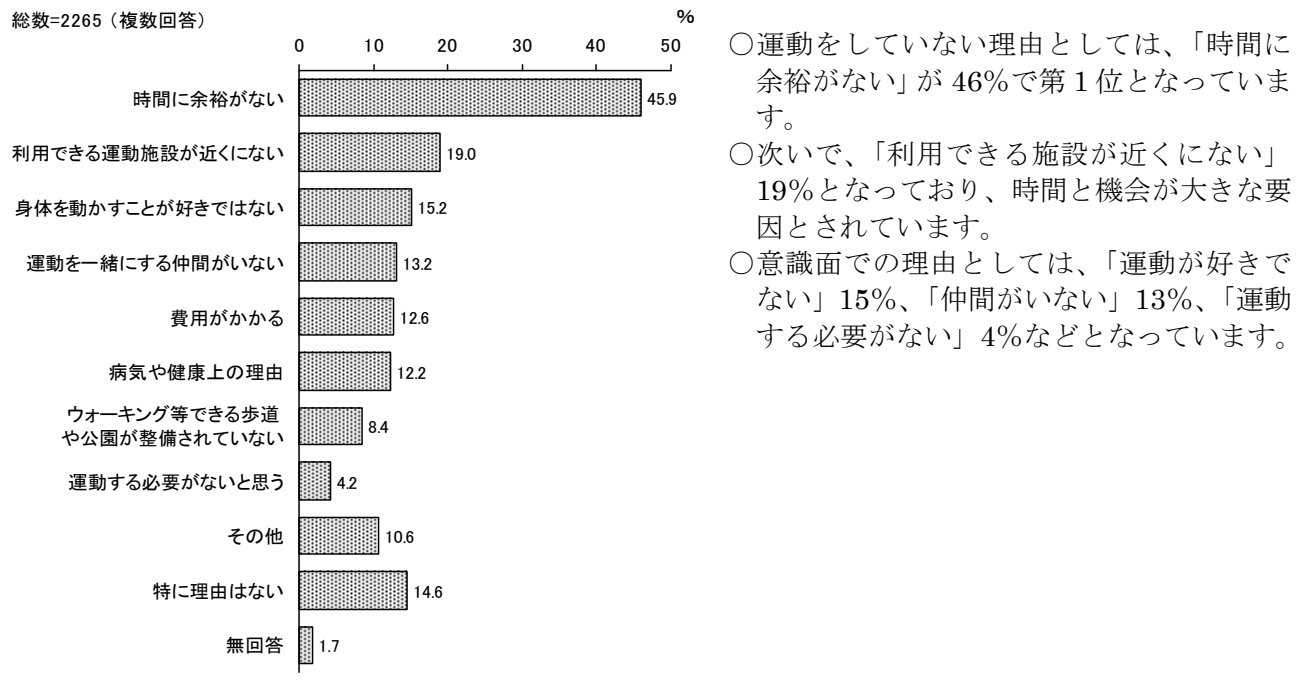
（問12-1：就労形態、BMI別）

	N=(実数)	ウォーキング	球技	体操、エアロビクス、ダンス	水泳	ジョギング	スポーツジムなどでの運動	武道、格闘技	陸上競技	その他
全体	2286	44.0	16.5	15.9	9.9	8.7	8.7	2.1	0.6	24.8
男性計	1069	45.2	20.1	9.2	9.1	13.3	9.3	2.8	0.7	23.8
男性/15～19歳	110	9.1	60.0	5.5	11.8	12.7	8.2	8.2	4.5	17.3
20～29歳	105	16.2	46.7	4.8	3.8	16.2	12.4	5.7	1.9	26.7
30～39歳	70	28.6	28.6	7.1	11.4	12.9	17.1	7.1	-	18.6
40～49歳	61	41.0	31.1	6.6	14.8	21.3	18.0	3.3	-	21.3
50～59歳	141	54.6	17.0	4.3	15.6	14.9	12.8	2.1	-	17.7
60～69歳	287	58.9	8.4	9.4	6.6	12.2	7.7	0.7	-	27.2
70歳以上	295	55.9	4.4	15.3	7.5	11.2	4.7	1.0	-	26.4
女性計	1135	43.1	13.6	22.0	10.8	4.5	8.3	1.3	0.6	25.5
女性/15～19歳	107	24.3	44.9	23.4	4.7	7.5	0.9	5.6	4.7	16.8
20～29歳	101	33.7	30.7	12.9	17.8	6.9	13.9	2.0	1.0	21.8
30～39歳	97	26.8	23.7	21.6	13.4	4.1	20.6	2.1	-	22.7
40～49歳	89	32.6	14.6	29.2	5.6	3.4	10.1	2.2	-	29.2
50～59歳	185	50.8	11.4	20.5	10.3	4.3	9.7	-	-	25.9
60～69歳	294	54.8	4.1	22.4	13.3	5.1	8.2	0.3	-	26.5
70歳以上	262	45.4	2.3	23.3	9.2	2.3	3.1	0.8	0.4	28.6

注) 無回答は略

⑤運動していない理由

問12-2 (問12で「3. ない」とお答えの方に) 運動していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



■問 12-2: 属性別

〇運動している割合の少なかった男性 30～40 歳代、女性 20～40 歳代では、その理由として「時間に余裕がない」を挙げる割合が目立って高くなっています。また、70 歳以上では男女とも健康上の理由が第1位になっています。

〇「体を動かすことが好きでない」「仲間がいない」など意識面の理由は女性 10 歳代、20 歳代で高く、また、「費用がかかる」は、男女とも 20～40 歳代で他世代よりも高くなっています。

(問 12-2：性別年代別)

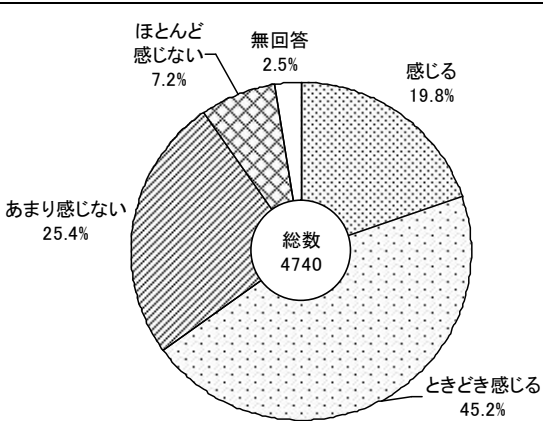
	N=(実数)	時間に余裕がない	利用できる運動施設が近くにない	身体を動かすことが好きではない	運動を一緒にする仲間がいない	費用がかかる	病気や健康上の理由	ウォーキング等できる歩道や公園が整備されていない	運動する必要がないと思う	その他	特に理由はない
全体	2265	45.9	19.0	15.2	13.2	12.6	12.2	8.4	4.2	10.6	14.6
男性計	956	44.7	17.6	13.4	13.4	10.2	11.1	7.3	6.4	9.7	16.4
男性/15～19 歳	47	55.3	14.9	23.4	17.0	6.4	4.3	8.5	8.5	8.5	12.8
20～29 歳	197	59.8	24.3	14.0	15.9	21.5	2.8	7.5	10.3	4.7	11.2
30～39 歳	116	74.1	21.6	11.2	12.1	14.7	3.4	4.3	2.6	5.2	10.3
40～49 歳	113	63.7	19.5	13.3	17.7	17.7	6.2	8.8	2.7	6.2	13.3
50～59 歳	136	49.3	21.3	11.8	11.0	9.6	5.9	12.5	8.1	7.4	19.9
60～69 歳	154	31.8	13.6	12.3	13.0	2.6	10.4	7.8	8.4	16.2	20.8
70 歳以上	193	11.9	11.4	14.0	11.4	4.1	29.0	3.6	5.2	14.0	19.7
女性計	1331	46.7	20.1	16.7	13.4	14.0	12.9	9.4	2.7	11.2	13.2
女性/15～19 歳	101	61.4	14.9	24.8	21.8	10.9	1.0	5.9	7.9	9.9	11.9
20～29 歳	251	69.3	26.7	20.3	18.7	23.9	3.6	12.4	1.2	11.2	5.6
30～39 歳	209	63.2	24.9	15.8	11.0	21.1	3.3	9.6	0.5	18.2	6.7
40～49 歳	143	64.3	23.8	18.9	12.6	23.8	6.3	11.9	1.4	5.6	9.8
50～59 歳	188	43.1	21.8	15.4	15.4	9.6	11.2	9.6	2.1	6.9	17.0
60～69 歳	188	27.1	18.1	17.0	13.3	6.4	17.0	12.2	3.2	8.0	20.7
70 歳以上	251	11.6	9.6	10.0	6.0	3.2	37.1	4.0	4.8	14.7	20.3

注) 無回答は略

(4) 休養・こころの健康

① ストレスの有無

問13 あなたは、毎日の生活の中でイライラやストレスを感じることはありますか。(○は1つだけ)



○イライラやストレスを「感じる」は20%、「ときどき感じる」は45%で、あわせて65%がストレスのある状態となっています。

■ 問13: 属性別

○男女とも50歳代までは、ストレスを「感じる」割合が全体よりも高く、「ときどき感じる」をあわせたストレスのある人の割合は、とくに男性30歳代(81%)、女性20~40歳代(約85%)で高くなっています。
○退職期を迎える60歳代以降からはストレスのある人の割合は急激に減少しています。

問13. 生活の中でのストレス

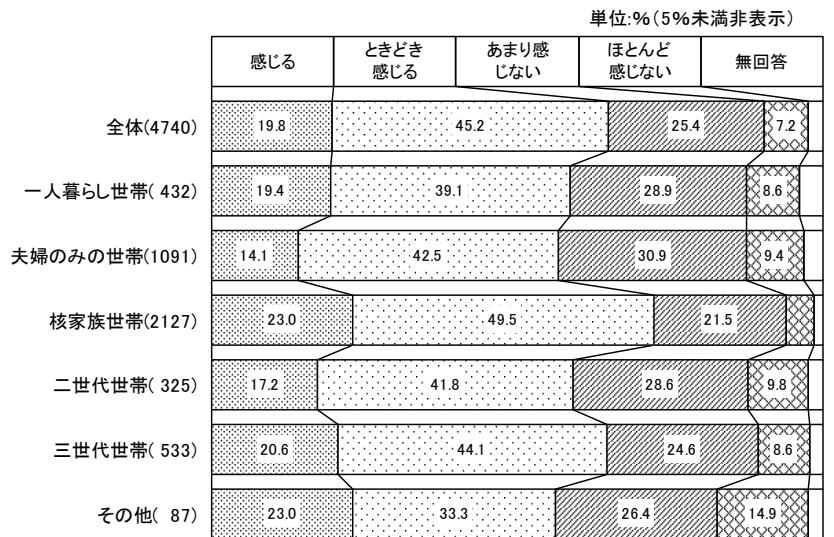
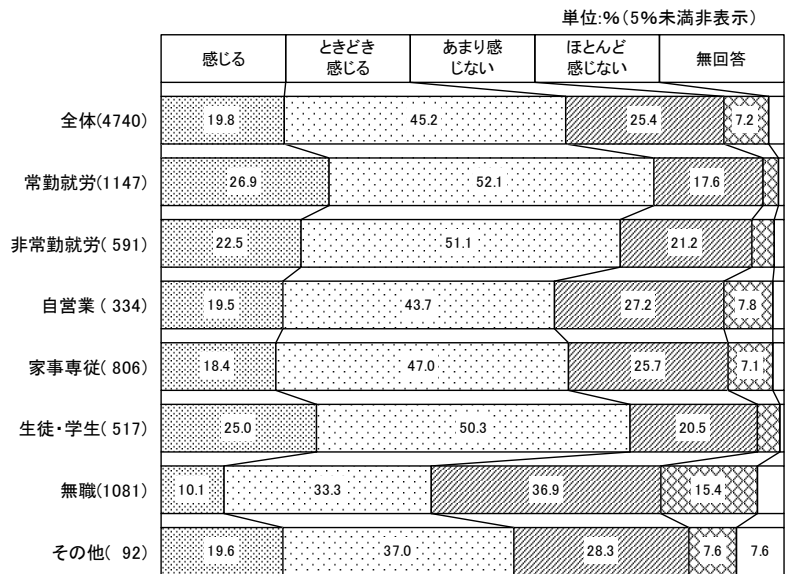
単位:%(5%未満非表示)

	感じる	ときどき感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	無回答
全体(4740)	19.8	45.2	25.4	7.2	2.5
男性計(2002)	16.9	42.7	29.7	8.5	2.5
男性/15~19歳(157)	25.5	42.7	28.7	7.2	2.5
20~29歳(212)	28.3	44.3	23.6	7.2	2.5
30~39歳(186)	28.0	53.2	16.1	7.2	2.5
40~49歳(175)	25.1	52.0	18.9	7.2	2.5
50~59歳(280)	19.6	55.7	19.3	7.2	2.5
60~69歳(461)	10.6	40.3	37.5	9.3	2.5
70歳以上(531)	7.3	30.3	39.5	17.9	2.5
女性計(2575)	22.0	47.2	22.1	6.2	2.5
女性/15~19歳(210)	30.0	51.4	12.4	5.2	2.5
20~29歳(352)	35.2	50.9	12.8	5.2	2.5
30~39歳(307)	30.9	55.0	11.7	5.2	2.5
40~49歳(235)	28.1	57.4	12.8	5.2	2.5
50~59歳(379)	20.8	52.0	23.0	5.2	2.5
60~69歳(499)	13.2	45.9	30.5	8.0	2.5
70歳以上(593)	12.5	33.6	32.4	14.3	7.3

○就労形態別にみると、ストレスがあるとする割合は、常勤就労で79%にのぼっています。また、生徒・学生でも75%になっています。

○世帯類型別に見ると、核家族世帯で73%と高く、一人暮らし世帯や夫婦のみの世帯で低くなっています。

問13. 生活の中でのストレス



■問13: 前回との比較

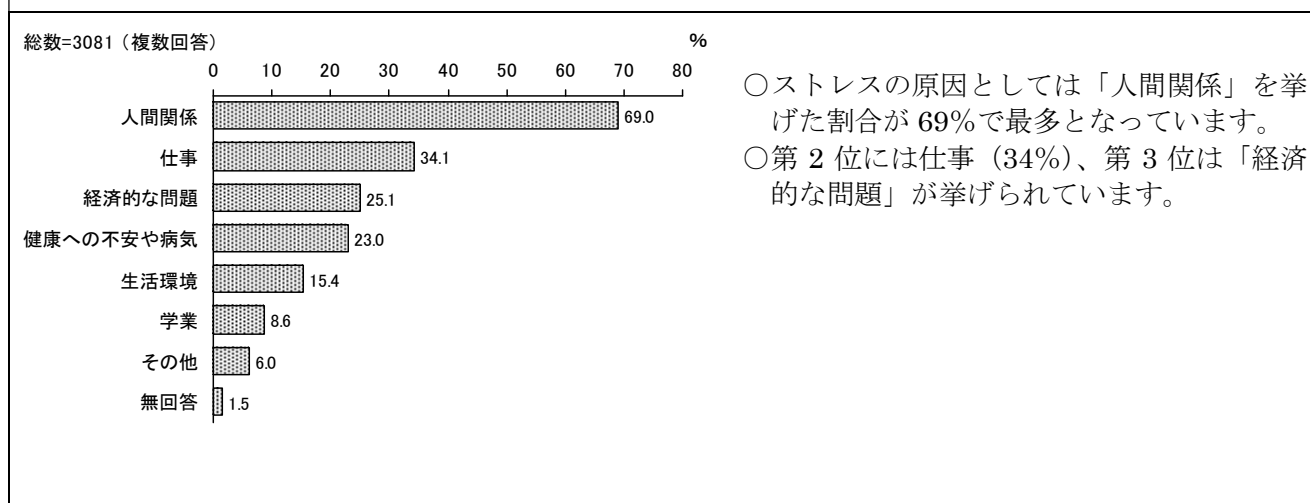
○前回と比較して、ストレスを「感じる」「ときどき感じる」割合が上昇し、「あまり感じない、ほとんど感じない」割合が減少していますが、いずれもわずかな差であり、前回から大きな変化はありません。

(問13: 前回との比較—全体)

	感じる	ときどき感じる	あまり感じない	ほとんど感じない
今回	19.8	45.2	25.4	7.2
前回	19.4	44.5	27.0	8.4
今回-前回	0.4	0.7	-1.6	-1.2

②ストレスの原因

問13-1 (問13で「1. 感じる」、または「2. ときどき感じる」とお答えの方に) どのようにイライラやストレスを感じていますか。(〇はあてはまるものすべて)



■問13-1属性別

- 〇ストレスの原因として全体で第1位であった「人間関係」については、女性で割合が高く、全ての年代で男性を上回り、50歳代までは80%程度にまでのぼっています。
- 〇仕事については男性で割合が高く、とくに30歳代で80%、40～50歳代で70%以上となっています。
- 〇経済的な問題は、男性では20歳代、女性では40～50歳代で高くなっています。
- 〇健康への不安や病気は、高齢期のストレスの要因となっており、男性では60歳代以上、女性では50歳代以上で割合が高くなっています。

(問13-1：性別年代別)

	N=(実数)	人間関係	仕事	経済的な問題	健康への不安や病気	生活環境	学業	その他
全体	3081	69.0	34.1	25.1	23.0	15.4	8.6	6.0
男性計	1193	60.8	47.4	26.8	21.9	13.9	9.0	3.9
男性/15～19歳	107	70.1	9.3	15.9	9.3	23.4	60.7	5.6
20～29歳	154	64.9	49.4	35.1	13.0	17.5	24.7	6.5
30～39歳	151	69.5	80.1	26.5	12.6	12.6	0.7	3.3
40～49歳	135	61.5	74.1	28.9	6.7	8.1	1.5	1.5
50～59歳	211	64.0	70.1	26.5	20.4	11.8	-	0.9
60～69歳	235	60.0	34.5	28.9	30.6	14.0	-	2.6
70歳以上	200	43.0	15.0	23.0	44.0	13.0	0.5	7.5
女性計	1783	74.6	25.1	24.0	23.8	16.6	8.5	7.5
女性/15～19歳	171	80.1	8.2	10.5	6.4	22.2	60.8	5.8
20～29歳	303	79.5	53.1	23.8	7.6	22.8	15.2	8.6
30～39歳	264	79.9	28.4	26.9	12.5	18.6	0.4	12.5
40～49歳	201	82.1	36.8	33.8	17.4	15.9	-	6.5
50～59歳	276	80.4	27.5	30.8	30.4	17.0	0.4	5.1
60～69歳	286	69.5	11.5	23.1	34.9	11.5	-	6.8
70歳以上	273	54.6	4.8	16.8	49.8	9.9	-	6.2

注) 無回答は略

○就労状況別に見ると、「人間関係」は女性の占める割合の高い非常勤就労や家事専従、生徒・学生で高くなっています。「経済的な問題」は、非常勤就労や自営業で高く、「健康への不安や病気」は家事専従や無職で高くなっています。

○世帯別に見ると、一人暮らしや夫婦のみの世帯で「健康への不安や病気」を上げる割合が高くなっています。

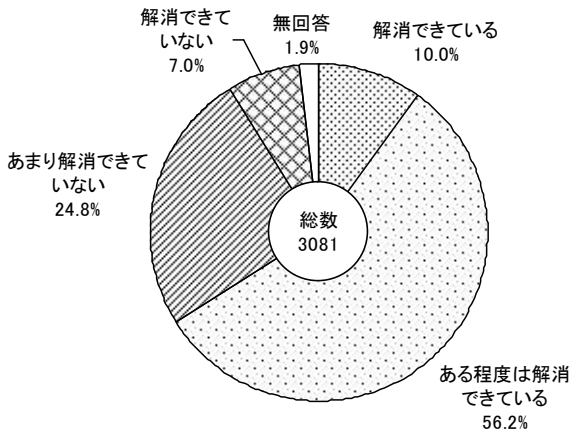
(問 13-1：就労形態、世帯類型別)

	N=(実数)	人間関係	仕事	経済的な 問題	健康への 不安や病 気	生活環境	学業	その他
全体	3081	69.0	34.1	25.1	23.0	15.4	8.6	6.0
常勤就労	907	70.3	72.2	23.8	13.9	12.2	0.8	2.4
非常勤就労	435	77.0	40.0	38.4	19.3	17.0	1.4	5.5
自営業	211	59.7	49.3	32.2	27.5	12.3	1.4	5.7
家事専従	527	74.8	1.9	21.3	30.6	14.8	-	11.4
生徒・学生	389	75.8	11.3	16.2	8.2	19.8	61.7	5.1
無職	496	53.7	5.5	24.9	45.0	17.9	-	7.5
一人暮らし世帯	253	61.3	46.6	27.7	30.0	19.0	3.6	5.5
夫婦のみの世帯	618	61.0	33.3	23.1	33.2	12.1	0.3	5.2
核家族世帯	1541	72.7	35.6	25.1	18.4	15.2	11.6	6.5
二世帯世帯	192	69.3	29.7	24.5	21.4	14.6	8.9	5.2
三世帯世帯	345	73.0	24.9	28.4	21.7	18.3	13.6	4.9

注) 無回答は略

③ストレス解消の程度

問13-2 (問13で「1. 感じる」、または「2. ときどき感じる」とお答えの方に) あなたはそのイライラやストレスを解消できていますか。(○は1つだけ)



○ストレスのある人の半数以上はストレスを解消できていますが(「解消できている」「ある程度は解消できている」の計)、32%は解消できていない(「あまり解消できていない」「解消できていない」の計)としています。

■問 13-2: 属性別

○性別年代別では、多少、数値の差異はあるものの、大きな傾向の違いは見られません。

問13-2. ストレスを解消できていますか

単位:%(5%未満非表示)

	解消できている	ある程度は解消できている	あまり解消できていない	解消できていない	無回答
全体(3081)	10.0	56.2	24.8	7.0	
男性計(1193)	10.7	53.9	25.4	8.2	
男性/15~19歳(107)	12.1	55.1	25.2	6.5	
20~29歳(154)	12.3	50.6	27.9	8.4	
30~39歳(151)	7.9	51.7	27.8	11.3	
40~49歳(135)	6.7	55.6	28.9	8.1	
50~59歳(211)	11.4	55.5	27.5	5.7	
60~69歳(235)	13.2	51.1	23.0	10.2	
70歳以上(200)	10.0	58.0	20.0	7.0	5.0
女性計(1783)	9.4	58.2	24.1	6.2	
女性/15~19歳(171)	11.7	60.8	23.4		
20~29歳(303)	11.2	53.5	27.4	6.6	
30~39歳(264)	7.2	61.0	26.1		
40~49歳(201)	5.0	64.2	24.4	6.5	
50~59歳(276)	6.5	56.2	26.4	8.3	
60~69歳(295)	11.5	61.7	20.0		
70歳以上(273)	12.1	52.7	20.9	8.4	5.9

○就労形態、世帯類型別でも、傾向に大きな違いは見られません。

(問 13-2：就労形態、世帯類型別)

	N= (実数)	解消でき ている	ある程度 は解消で きている	あまり解 消できて いない	解消でき ていない
全体	3081	10.0	56.2	24.8	7.0
常勤就労	907	8.8	58.1	25.2	7.3
非常勤就労	435	8.3	54.9	28.0	7.4
自営業	211	10.4	57.3	19.9	7.6
家事専従	527	9.7	58.1	26.4	4.9
生徒・学生	389	13.1	58.1	22.6	5.4
無職	496	11.1	51.6	23.5	9.4
一人暮らし世帯	253	9.9	53.8	26.1	8.7
夫婦のみの世帯	618	10.4	58.3	21.5	6.8
核家族世帯	1541	9.5	56.1	26.7	6.6
二世帯世帯	192	12.0	55.7	22.9	5.7
三世帯世帯	345	11.0	59.1	21.7	6.4

注) 無回答は略

■問 13-2: 前回との比較

○解消できていない(「あまり解消できていない」と「解消できていない」の計)は、今回 32%、前回 31%となっており、大きな変化はありません。

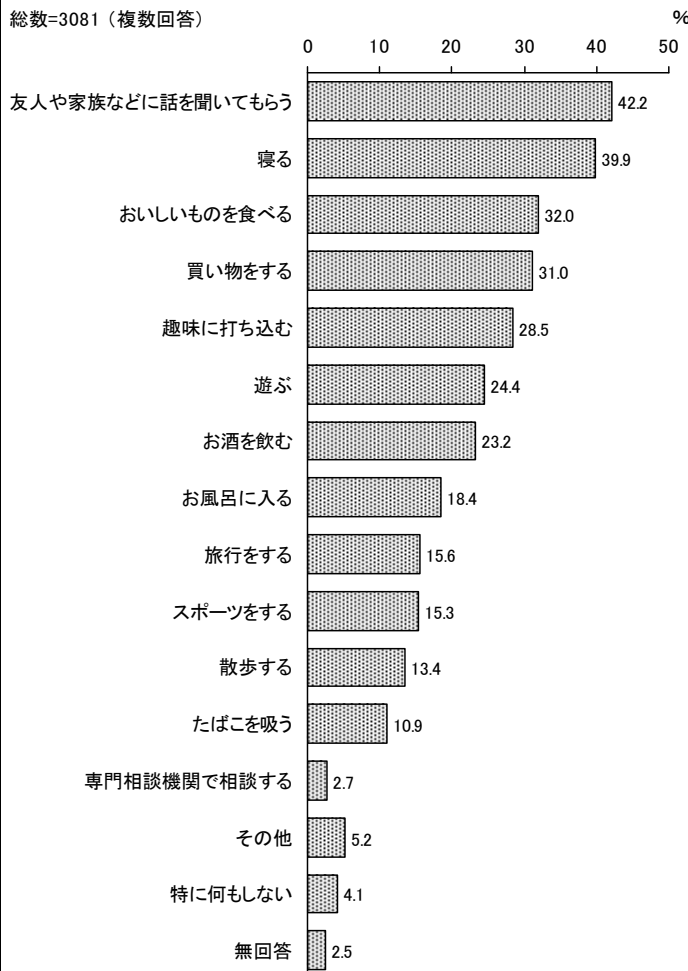
(問 13-2：前回との比較－全体)

	解消でき ている	ある程度 は解消で きている	あまり解 消できて いない	解消でき ていない
今回	10.0	56.2	24.8	7.0
前回	10.1	57.6	25.0	5.7
今回-前回	-0.1	-0.6	-0.2	1.3

④ストレス解消の方法

問13-3 (問13で「1. 感じる」、または「2. ときどき感じる」とお答えの方に) イライラやストレスを解消するために、どのようなことをしますか。(〇はあてはまるものすべて)

総数=3081 (複数回答)



- ストレス解消法として、42%が「友人や家族などに話を聞いてもらう」を挙げています。次いで、「寝る」が40%が続いています。
- 「おいしいものを食べる」「買い物をする」「趣味に打ち込む」が30%前後で、中位グループとなっています。
- 「遊ぶ」「お酒を飲む」「お風呂に入る」は20%前後、「旅行をする」「スポーツをする」「散歩する」「たばこを吸う」は10%台で比較的少なく、「専門相談機関で相談する」は少数です。

■問13-3:属性別

- 全体で第1位であった「友人や家族などに話を聞いてもらう」は女性10~50歳代が目立って多くなっています。また、全体第3位の「おいしいものを食べる」、全体第4位の「買い物をする」も女性で際立って高くなっています。
- 一方、男性では「お酒を飲む」「スポーツをする」「趣味に打ち込む」などの割合が、女性よりも多くなっています。とくに、「お酒を飲む」については、男性40~50歳代の50%以上が挙げており、この世代でのストレス解消法第1位となっています。
- 「寝る」「遊ぶ」は男女10~20歳代の若い層と、男性30歳代で高い割合となっており、「寝る」は男性30歳代のストレス解消法第1位、「遊ぶ」は男性10~20歳代、女性10歳代のストレス解消法第1位となっています。

(問 13-3 : 性別年代別)

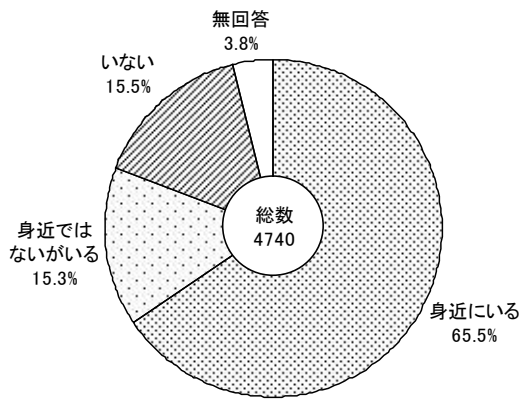
	N=(実数)	友人や家族などに話を聞いてもらう	寝る	おいしいものを食べる	買い物をする	趣味に打ち込む	遊ぶ	お酒を飲む	お風呂に入る
全 体	3081	42.2	39.9	32.0	31.0	28.5	24.4	23.2	18.4
男性計	1193	22.6	39.4	19.1	15.0	33.4	24.5	35.7	18.4
男性/15～19 歳	107	25.2	44.9	24.3	16.8	46.7	67.3	8.4	10.3
20～29 歳	154	36.4	47.4	29.2	28.6	39.6	51.9	26.6	16.2
30～39 歳	151	37.1	52.3	34.4	22.5	33.8	23.8	39.1	14.6
40～49 歳	135	14.8	40.7	23.7	14.1	26.7	19.3	50.4	14.8
50～59 歳	211	21.8	37.4	15.6	10.0	31.8	17.5	53.6	26.1
60～69 歳	235	11.5	30.6	8.1	7.2	28.9	12.3	37.4	20.4
70 歳以上	200	19.0	32.0	10.5	13.0	32.5	6.0	24.0	19.5
女性計	1783	55.5	40.2	41.0	42.3	25.2	25.0	14.7	18.5
女性/15～19 歳	171	60.8	62.0	41.5	42.1	38.0	64.9	5.8	18.1
20～29 歳	303	66.7	62.7	56.8	54.8	26.4	53.8	25.7	21.1
30～39 歳	264	65.9	43.2	58.3	50.8	19.3	27.7	20.8	17.0
40～49 歳	201	63.7	48.3	42.3	44.3	21.9	16.4	20.4	20.4
50～59 歳	276	52.9	30.1	33.0	38.0	19.2	10.1	16.3	14.5
60～69 歳	286	46.8	21.0	30.8	36.9	28.1	9.2	8.5	16.9
70 歳以上	273	35.5	23.4	24.5	28.9	26.7	4.0	2.9	21.2

	旅行をする	スポーツをする	散歩する	たばこを吸う	専門相談機関で相談する	その他	特に何もしない
全 体	15.6	15.3	13.4	10.9	2.7	5.2	4.1
男性計	13.3	21.9	14.8	17.0	2.6	4.3	4.9
男性/15～19 歳	2.8	39.3	7.5	4.7	0.9	4.7	2.8
20～29 歳	13.6	30.5	9.1	18.2	2.6	6.5	5.2
30～39 歳	11.3	20.5	4.0	28.5	1.3	4.0	3.3
40～49 歳	11.9	21.5	8.1	22.2	2.2	3.7	3.7
50～59 歳	14.7	24.2	13.7	19.9	1.4	2.4	4.3
60～69 歳	16.6	14.9	24.7	14.9	1.3	3.8	6.8
70 歳以上	16.0	13.0	25.0	10.0	7.5	5.5	6.0
女性計	17.2	10.8	12.2	7.2	2.6	5.7	3.6
女性/15～19 歳	4.1	19.9	6.4	2.9	2.3	9.4	1.8
20～29 歳	14.5	12.5	6.9	12.5	3.0	5.3	1.0
30～39 歳	17.0	12.9	10.6	8.7	1.5	5.7	1.1
40～49 歳	11.9	10.4	7.5	9.5	2.0	6.0	2.0
50～59 歳	20.7	9.8	10.9	6.5	2.5	5.1	6.9
60～69 歳	27.5	8.8	18.3	5.4	2.7	4.1	3.7
70 歳以上	17.6	4.8	21.2	3.3	4.0	6.2	7.7

注) 無回答は略

⑤相談相手の有無

問14 日頃、自分の気持ちや悩みを打ち明けたり、相談にのってくれる人がいますか。(○は1つだけ)



○66%の人が相談相手が「身近にいる」、15%が「身近ではないがいる」としており、大半は相談にのってくれる人がいますが、16%の人は「いない」としています。

問14. 相談にのってくれる人

■問 14: 属性別

- 「身近にいる」とする割合は、男性計で 57%に対し、女性計で 73%と 16 ポイントの差があります。
- 各年代とも男性よりも女性で「身近にいる」とする割合が高く、なかでも 40 歳代ではその差が 25 ポイント以上になっています。
- 相談相手が「いない」とする割合は男性 40～60 歳代でとくに高く、全体では 16%が「いない」としているのに対し、この層では 30%前後と 2 倍近くにのぼっています。

■問 14: 前回との比較

- 前回よりも「身近にいる」とする割合が低くなっていますが、傾向に大きな違いは見られません。

単位: % (5%未満非表示)

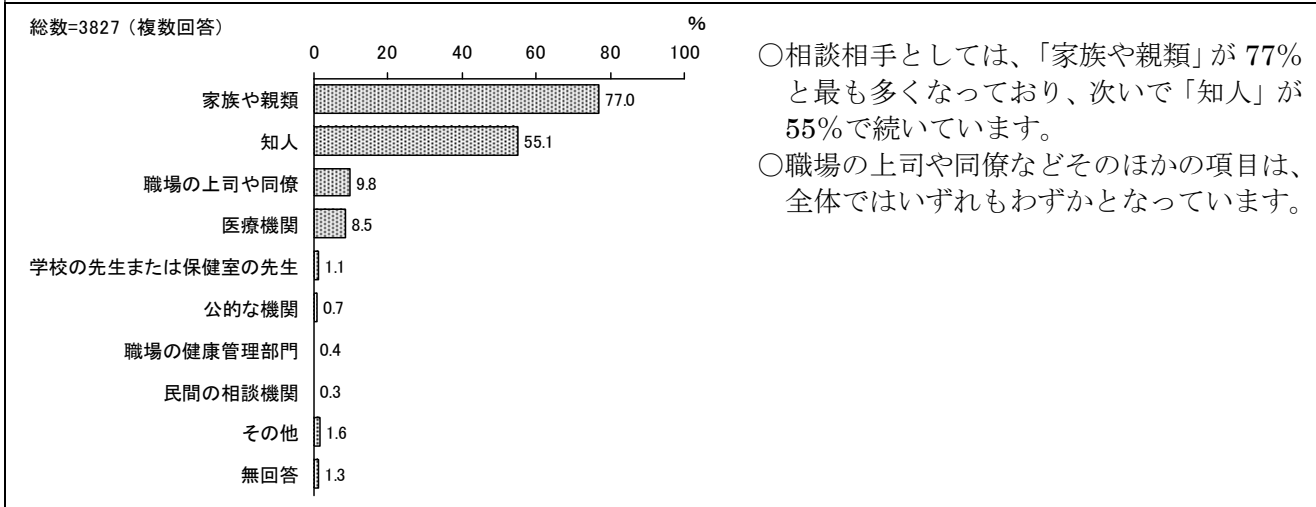
	身近にいる	身近ではないがいる	いない	無回答
全体(4740)	65.5	15.3	15.5	
男性計(2002)	57.0	15.1	24.0	
男性/15～19歳(157)	65.0	12.1	22.9	
20～29歳(212)	67.0	17.5	15.1	
30～39歳(186)	64.0	15.6	19.9	
40～49歳(175)	51.4	14.9	32.0	
50～59歳(280)	55.0	15.7	27.9	
60～69歳(461)	52.5	16.1	28.6	
70歳以上(531)	55.0	13.9	20.5	10.5
女性計(2575)	72.5	15.3	8.8	
女性/15～19歳(210)	82.9	10.5	6.2	
20～29歳(352)	85.5	10.2		
30～39歳(307)	81.4	12.4		
40～49歳(235)	77.9	11.1	11.1	
50～59歳(379)	69.7	17.4	11.6	
60～69歳(499)	65.9	20.0	10.2	
70歳以上(593)	61.6	18.0	10.8	9.6

(問 14 : 前回との比較—全体)

	身近にいる	身近ではないがいる	いない
今回	65.5	15.3	15.5
前回	69.9	13.6	14.1
今回-前回	-4.4	1.7	1.4

⑥相談相手

問14-1（問14で「1. 身近にいる」、または「2. 身近ではないがいる」とお答えの方に）相談にのってくれるのは誰ですか。（○はあてはまるものすべて）



■問14-1:属性別

○全体で第1位であった「家族や親類」は、男性10～20歳代、女性10歳代など若い層で低く、女性30～40歳代で高くなっています。

○全体で第2位であった「知人」は、男性10～20歳代で高く、この年代層の第1位となっています。また、知人を挙げた割合は、女性で高くなっています。

○全体では10%であった「職場の上司や同僚」については、男性20～50歳代、女性20～40歳代で高く、また、これらの層を多く含む常勤就労、非常勤就労でも高くなっています。

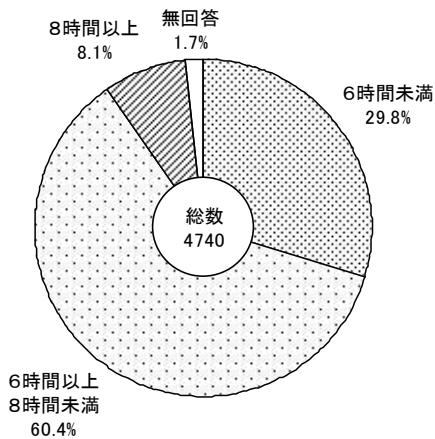
（問14-1：性別年代、就労形態別）

	N=(実数)	家族や親類	知人	職場の上司や同僚	医療機関	学校の先生または保健室の先生	公的な機関	職場の健康管理部門	民間の相談機関	その他
全体	3827	77.0	55.1	9.8	8.5	1.1	0.7	0.4	0.3	1.6
男性計	1444	75.3	43.3	11.3	11.8	1.1	0.8	1.0	0.2	1.0
男性/15～19歳	121	53.7	78.5	3.3	0.8	8.3	-	-	-	3.3
20～29歳	179	58.1	77.1	20.1	1.1	2.8	-	-	-	0.6
30～39歳	148	81.1	42.6	25.0	2.0	-	-	2.7	0.7	0.7
40～49歳	116	78.4	37.1	22.4	6.9	-	-	1.7	-	0.9
50～59歳	198	74.7	38.9	20.2	8.6	-	-	2.0	1.0	-
60～69歳	316	79.7	33.9	4.7	17.4	-	1.3	1.3	-	0.6
70歳以上	366	84.2	27.9	1.4	23.2	0.3	1.9	-	-	1.6
女性計	2261	78.3	63.1	8.8	5.9	1.1	0.8	0.0	0.4	1.9
女性/15～19歳	196	65.8	83.2	2.6	2.0	6.6	-	-	0.5	2.6
20～29歳	337	77.7	78.6	19.9	3.0	3.0	0.6	0.3	0.3	3.6
30～39歳	288	84.7	65.6	12.8	3.5	-	-	-	0.3	1.4
40～49歳	209	82.8	64.6	19.6	2.4	1.0	0.5	-	1.0	0.5
50～59歳	330	78.5	68.8	12.4	3.9	-	0.3	-	0.3	1.2
60～69歳	429	76.2	61.1	1.9	7.7	-	0.9	-	0.2	2.3
70歳以上	472	79.9	39.2	0.2	12.5	-	1.9	-	0.4	1.5
常勤就労	905	78.5	52.5	27.6	4.9	0.1	0.6	1.8	0.2	0.9
非常勤就労	492	77.0	66.1	17.1	5.9	-	0.6	-	0.6	2.2
自営業	254	78.3	50.0	2.0	10.2	0.8	0.4	-	-	0.8
家事専従	715	81.5	58.0	0.1	8.0	0.1	0.4	-	0.4	1.5
生徒・学生	454	62.6	82.8	3.3	1.5	7.5	-	-	0.2	2.6
無職	814	79.6	36.5	0.7	16.2	0.1	1.8	-	0.4	1.6

注) 無回答は略

⑦平均睡眠時間

問15 あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)



○平均睡眠時間は「6時間以上8時間未満」が60%で最も多く、次いで6時間未満(30%)、8時間以上(8%)となっています。

■問15:属性別

- 「6時間未満」の割合が高いのは、男性20～40歳代、女性40～50歳代となっています。また、この層を多く含む常勤/非常勤就労でも「6時間未満」の割合が35%を超えて高くなっています。
- 男性70歳以上では「8時間以上」が22%と高くなっています。また、高齢者を多く含む無職でも、「8時間以上」が多くなっています。

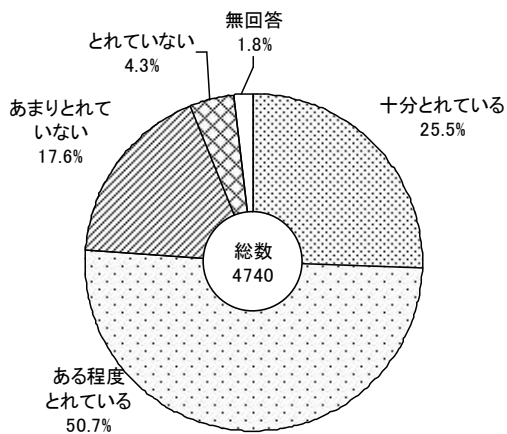
(問15:性別年代、就労形態別)

	N=(実数)	6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上
全体	4740	29.8	60.4	8.1
男性計	2002	26.6	60.9	11.1
男性/15～19歳	157	17.8	73.9	7.6
20～29歳	212	37.3	54.7	7.5
30～39歳	186	48.4	49.5	2.2
40～49歳	175	38.9	60.0	0.6
50～59歳	280	29.3	66.1	4.3
60～69歳	461	22.3	63.1	13.7
70歳以上	531	15.6	59.3	21.7
女性計	2575	32.0	60.3	5.9
女性/15～19歳	210	30.5	66.7	2.4
20～29歳	352	28.1	65.9	5.7
30～39歳	307	29.3	64.8	5.2
40～49歳	235	41.7	56.2	2.1
50～59歳	379	42.5	54.9	2.1
60～69歳	499	31.3	63.1	4.8
70歳以上	593	26.1	55.1	12.5
常勤就労	1147	40.7	56.4	2.4
非常勤就労	591	35.4	59.9	3.9
自営業	334	23.7	59.6	14.7
家事専従	806	27.9	65.6	5.1
生徒・学生	517	23.6	70.2	5.8
無職	1081	21.3	58.8	16.8

注) 無回答は略

⑧睡眠による休養の充足状況

問16 睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(○は1つだけ)



○睡眠で休養が「十分とれている」(26%)、「ある程度とれている」(51%)をあわせて、76%は休養がとれているとしています。

○「あまりとれていない」(18%)、「とれていない」(4%)をあわせて、22%は休養がとれていないとしています。

■問16:属性別

○男女とも60歳代以上では「十分とれている」の割合が高くなっています。男性60歳代以上は睡眠時間8時間以上の割合が高い層でもあり、十分な睡眠により休養がとれている様子が見えます。

○一方、睡眠時間6時間未満の割合が高かった男性20～40歳代、女性40歳代では「あまりとれていない」「とれていない」とする割合が高く、その合計は、男性30歳代で40%、40歳代で38%、女性40歳代で33%にのぼっています。男性30～40歳代は、先の間1で「疲労気味」とした割合の高い層であり、睡眠不足により疲れがたまっている様子が見えます。

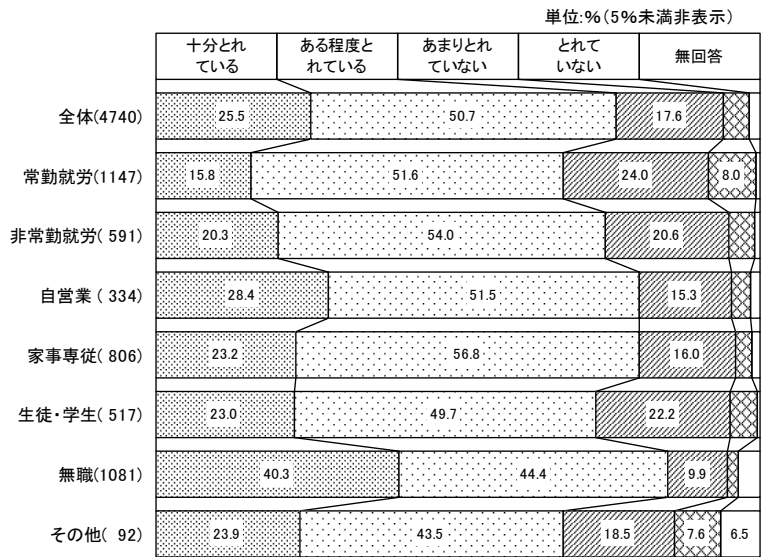
問16. 睡眠で休養がとれているか

単位:%(5%未満非表示)

	十分とれている	ある程度とれている	あまりとれていない	とれていない	無回答
全体(4740)	25.5	50.7	17.6	4.3	1.8
男性計(2002)	29.0	48.5	15.9	4.3	1.8
男性/15～19歳(157)	24.2	49.0	19.1	7.0	0.8
20～29歳(212)	16.5	48.6	24.1	10.4	0.4
30～39歳(186)	15.6	44.1	26.9	13.4	0.0
40～49歳(175)	16.0	45.7	29.1	8.6	0.6
50～59歳(280)	18.2	57.9	19.3	3.6	0.1
60～69歳(461)	35.8	51.2	10.0	1.0	0.0
70歳以上(531)	44.1	43.5	7.0	0.4	0.0
女性計(2575)	22.9	52.3	19.1	4.3	1.4
女性/15～19歳(210)	15.7	53.3	26.7	3.3	0.0
20～29歳(352)	21.9	48.0	24.7	5.4	0.0
30～39歳(307)	17.3	53.7	22.5	5.5	0.0
40～49歳(235)	14.5	51.9	27.7	5.5	0.4
50～59歳(379)	16.4	54.9	22.7	5.3	0.3
60～69歳(499)	26.5	56.5	13.6	3.4	0.0
70歳以上(593)	33.4	48.9	10.3	5.2	0.2

○就労形態別に見ると、常勤就労でとれていないとする割合（「あまりとれていない」「とれていない」の計）が32%と高くなっています。また、非常勤就労、生徒・学生でもとれていない割合が全体よりも高くなっています。

問16. 睡眠で休養がとれているか(就労形態別)



■問16: 前回との比較

○睡眠による休養が「あまりとれていない」「とれていない」の合計の変化を見ると、10歳代男女で10ポイント、30歳代女性で9ポイント減少しています。男性30歳代、40歳代ではわずかに上昇していますが、大きな変化とはいえず、前回とほぼ同程度となっています。

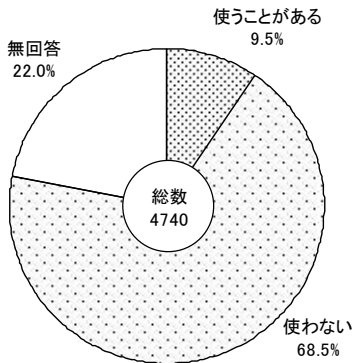
(問16: 前回との比較—睡眠による休養が「あまりとれていない」「とれていない」の計、10～40歳代)

	今回			前回			今回-前回 A-B
	あまりとれていない (1)	とれていない (2)	睡眠を十分とれない人の割合 A=(1)+(2)	あまりとれていない (3)	とれていない (4)	睡眠を十分とれない人の割合 B=(3)+(4)	
全体	17.6	4.3	22.0	17.4	4.0	21.4	0.6
男性/15～19歳	19.1	7.0	26.1	25.4	10.8	36.2	-10.1
20～29歳	24.1	10.4	34.4	25.3	9.3	34.6	-0.2
30～39歳	26.9	13.4	40.3	28.7	8.5	37.2	3.1
40～49歳	29.1	8.6	37.7	27.3	7.5	34.8	2.9
女性/15～29歳	26.7	3.8	30.5	33.1	8.3	41.4	-10.9
20～29歳	24.7	5.4	30.1	24.3	6.3	30.6	-0.5
30～39歳	22.5	5.5	28.0	30.6	6.6	37.2	-9.2
40～49歳	27.7	5.5	33.2	27.8	6.4	34.2	-1.0

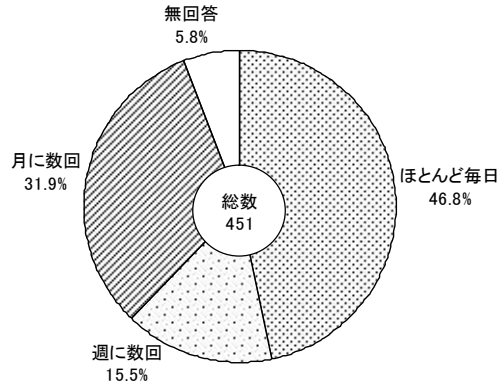
⑨眠りを助けるための睡眠剤やアルコールの使用状況

問17 眠りを助けるために睡眠剤を使用したり、アルコールを飲んだりすることがあります。使う場合は、どの程度ですか。(○は1つだけ)

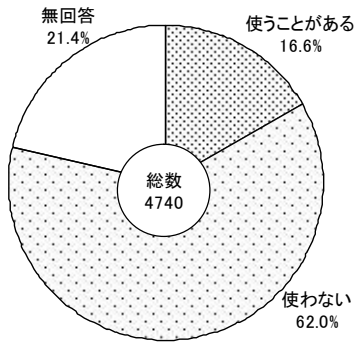
「ア. 睡眠剤」



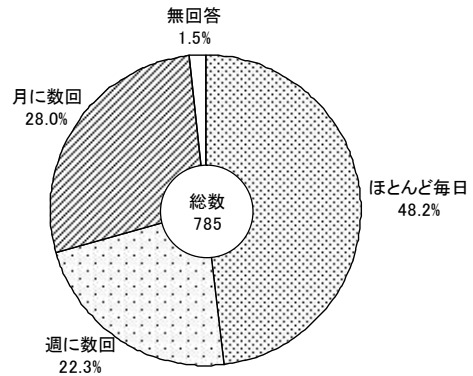
「ア. 睡眠剤」を使う場合の頻度



「イ. アルコール」



「イ. アルコール」を使う場合の頻度



○睡眠剤を「使うことがある」は10%で、69%は「使わない」としています。また、アルコールを「使うことがある」は睡眠剤よりも多い17%で、62%は「使わない」としています。
 ○使う場合の頻度は、両者とも類似の傾向を見せており、「ほとんど毎日」が半数近く、次いで、「月に数回」が30%程度、「週に数回」が程度となっており、睡眠剤あるいはアルコールを睡眠のために使用する人の半数は、ほぼ常用している様子が見られます。

■問17:属性別

○睡眠剤は男女とも50歳代以上で「使うことがある」とする割合が高まり、70歳以上では男性16%、女性21%となっています。睡眠剤を使う頻度については母数が少ないため、一定の傾向を指摘するのは難しくなっていますが、使用者の多い70歳以上を見ると、「ほとんど毎日」が男女とも50%を上回っています。
 ○アルコールは女性よりも男性で使用する割合が高く、男性の30歳代以降の層ではいずれも20%を越えています。とくに、男性50歳代では3人に1人の割合にのぼっています。アルコールを使う頻度についても母数が少ないため、一定の傾向を指摘するのは難しくなっていますが、使用者の多い男性50歳代では「ほとんど毎日」が60%、男性60歳代では70%と高くなっています。

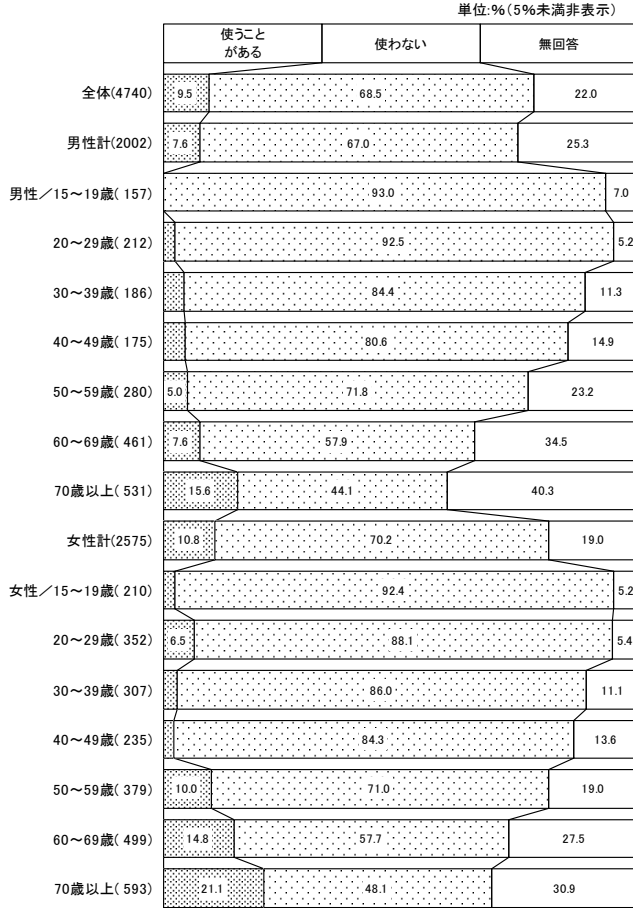
■問17:前回との比較

○前回とは質問の形式が異なるため単純な比較はできませんが、前回よりも顕著に増加しているとはいえないと考えられます。

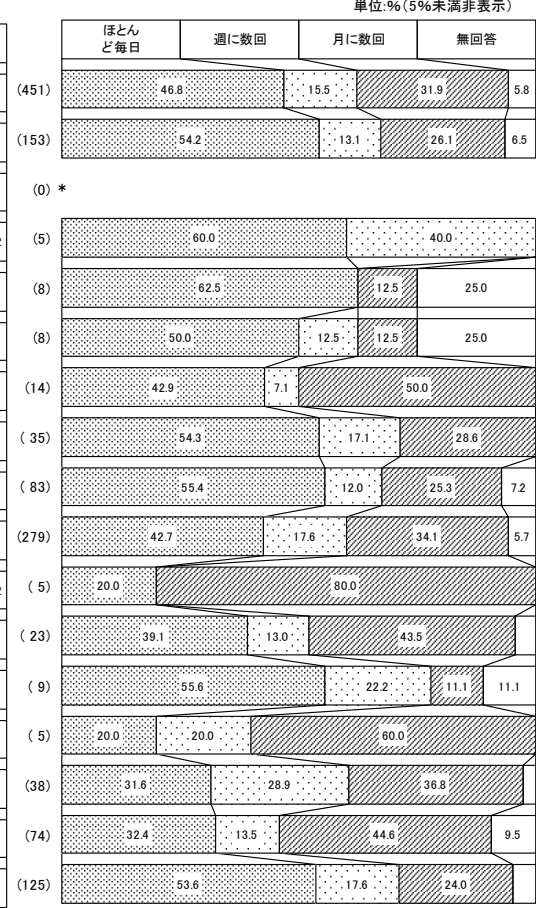
(問17:前回との比較-「使うことがある」割合-全体)

	ア. 睡眠剤	イ. アルコール
今回	9.5	16.6
前回	睡眠剤やアルコール 16.9	

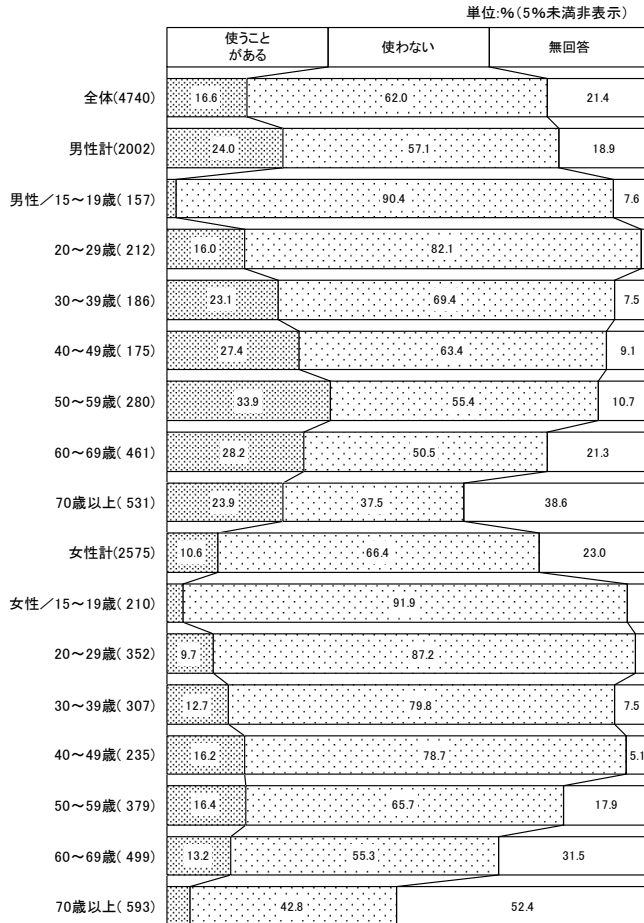
問17. 眠りを助ける方法「ア. 睡眠剤」



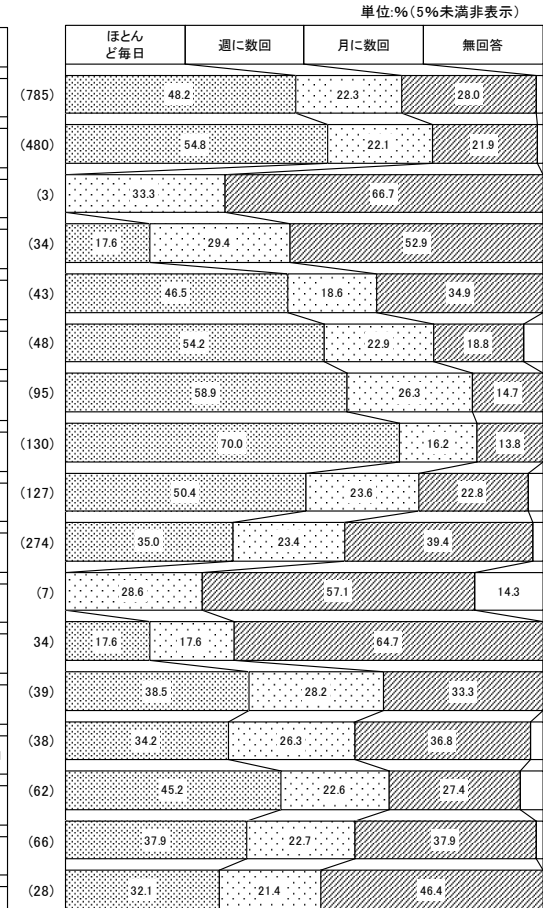
問17. 「ア. 睡眠剤」を使う場合の頻度



問17. 眠りを助ける方法「イ. アルコール」

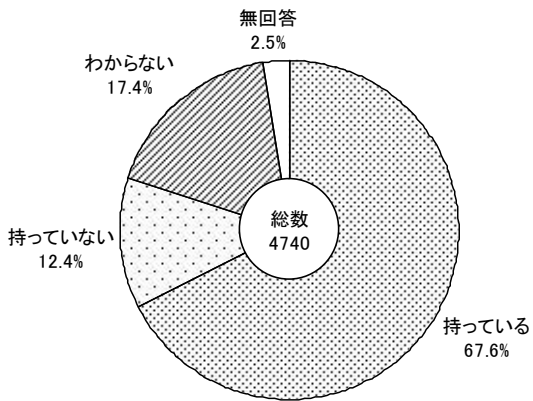


問17. 「イ. アルコール」を使う場合の頻度



⑩生きがいの有無

問18 あなたは、生きがい・やりがいを持っていますか。(○は1つだけ)



○生きがい・やりがいを「持っている」は68%と大多数を占めています。
 ○一方、「持っていない」(12%)とともに、「わからない」も17%と少なくない割合になっています。

■問18:属性別

○生きがい・やりがいを「持っている」とする割合は、男性では20歳代から60歳代に向けて、女性では10歳代から60歳代に向けて、年齢層があがるほど高くなる傾向があり、男性60歳代で73%、女性60歳代で78%が「持っている」としています。
 ○一方、「わからない」とする割合は、年齢層が低いほど多い傾向が見られます。

問18. 生きがい・やりがいについて

単位: % (5%未満非表示)

	持っている	持っていない	わからない	無回答
全体(4740)	67.6	12.4	17.4	2.5
男性計(2002)	68.1	12.4	17.0	2.5
男性/15~19歳(157)	63.7	8.9	26.8	2.5
20~29歳(212)	60.8	15.6	22.2	2.5
30~39歳(186)	63.4	16.7	19.4	2.5
40~49歳(175)	65.7	13.1	20.0	2.5
50~59歳(280)	70.0	13.6	15.7	2.5
60~69歳(461)	73.3	13.2	12.1	2.5
70歳以上(531)	69.1	9.2	15.3	6.4
女性計(2575)	67.4	12.5	17.7	2.5
女性/15~19歳(210)	59.5	9.5	30.5	2.5
20~29歳(352)	61.9	14.2	23.9	2.5
30~39歳(307)	64.2	12.7	22.5	2.5
40~49歳(235)	67.2	11.9	20.4	2.5
50~59歳(379)	69.1	15.3	14.5	2.5
60~69歳(499)	78.0	9.0	10.4	2.5
70歳以上(593)	65.3	13.7	14.3	6.7

- 就労形態別に見ると、「持っている」とする割合は、自営業で最も高く 80%となっています。また、家事専従も 73%で全体よりも 5ポイント高くなっています。
- 若い層の多い生徒・学生では、「わからない」が 25%を占め、多くなっています。
- そのほかの属性については、全体と多少数値の違いはありますが、大きな傾向の差は見られません。

問18. 生きがい・やりがいについて

単位:%(5%未満非表示)

	持っている	持っていない	わからない	無回答	
全体(4740)	67.6		12.4	17.4	
常勤就労(1147)	67.4		13.3	18.2	
非常勤就労(591)	68.5		12.4	18.1	
自営業(334)	79.6		9.9	7.8	
家事専従(806)	72.5		11.0	14.4	
生徒・学生(517)	64.2		10.3	25.1	
無職(1081)	62.7		14.6	17.9	
その他(92)	62.0		15.2	17.4	5.4

■問 18: 前回との比較

- 「持っている」とする割合は前回よりもわずかに低下しましたが、傾向に大きな違いはなく、前回と同様の結果となっています。

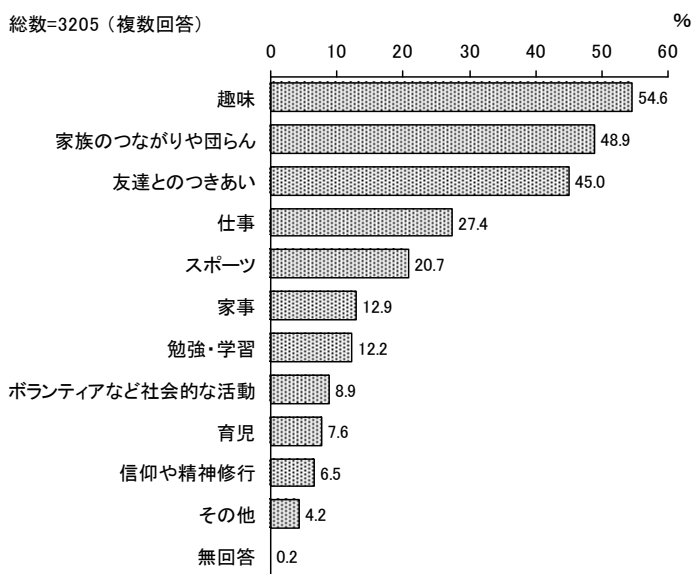
(問 18 : 前回との比較－生きがい・やりがいを「持っている」割合－全体)

	持っている
今回	67.6
前回	71.2
今回－前回	-3.6

⑪生きがいの内容

問18-1 (問18で「1. 持っている」とお答えの方に) それは具体的にどのようなことですか。(〇はあてはまるものすべて)

総数=3205 (複数回答)



〇生きがい・やりがいの具体的内容として、「趣味」が55%で第1位に挙げられています。

〇「家族のつながりや団らん」「友達とのつきあい」が40%台後半で続いています。

〇「仕事」、「スポーツ」は20%台で中位グループとなっています。

■問18-1: 属性別

- 〇全体で第1位であった「趣味」は、男女とも20歳代までの若い層や50歳代以上の年齢の高い層で割合が高くなっています。
- 〇男女30～50歳代は「家族とのつながりや団らん」の割合が高くなっており、また、「育児」についても、男性30歳代15%、男性40歳代11%、女性30歳代56%、女性40歳代27%と、同性の他世代と比較して高い割合となっています。子育て期にある世代では家族が大きな生きがいになっていることがわかります。
- 〇「友達との付き合い」は、男性よりも女性で重視されており、女性全体では第1位の生きがいとなっています。とくに、女性20歳代までと50～60歳代では目立って高い割合となっています。また、男性でも20歳代までの若い層で50%以上の高い割合となっています。
- 〇「仕事」は女性よりも男性で重視されており、男性30～40歳代で目立って高い割合となっています。
- 〇「スポーツ」は男性で、「家事」は女性で、「勉強・学習」は20歳代までの若い世代で多くなっているほか、男性60～70歳代では「ボランティアなど社会的活動」も15%前後となっており、退職後の生きがいとして重視されつつある様子がうかがえます。
- 〇これらから、20歳代までは「趣味」と「友達」が、30～50歳代は「家族」と「仕事」が、多くの人々で共通する重要な生きがいとなっており、60歳代以降は再び「趣味」を楽しみながら、「家族」や「友達」との交流、「家事」や「ボランティア」などにいそしむ人が多いとまとめられます。
- 〇就労形態別に見ると、常勤／非常勤就労や自営業では「仕事」が、家事専従では「家族」「家事」「育児」など家庭に関わる事柄が高くなっています。
- 〇生徒・学生では、「趣味」「友達」に加えて「スポーツ」「勉強」が高い一方、「家族」は他の属性と比較して最も低く、学校生活中心となっている様子がわかります。

(問 18-1：性別年代、就労形態別)

	N= (実数)	趣味	家族のつながりや 団らん	友達とのつきあい	仕事	スポーツ	家事	勉強・学習	ボランティアなど 社会的な活動	育児	信仰や精神修行	その他
全 体	3205	54.6	48.9	45.0	27.4	20.7	12.9	12.2	8.9	7.6	6.5	4.2
男性計	1363	56.0	45.2	34.8	35.3	29.2	4.3	13.5	10.7	3.3	4.6	4.0
男性／15～19 歳	100	63.0	17.0	58.0	10.0	60.0	1.0	28.0	1.0	1.0	3.0	4.0
20～29 歳	129	60.5	38.0	55.8	40.3	38.8	1.6	24.8	3.1	3.9	2.3	1.6
30～39 歳	118	38.1	66.1	24.6	57.6	20.3	5.1	8.5	2.5	15.3	2.5	2.5
40～49 歳	115	40.9	67.8	17.4	57.4	22.6	2.6	7.0	5.2	11.3	1.7	1.7
50～59 歳	196	55.6	51.5	23.0	46.9	25.5	2.6	8.2	11.7	2.6	5.1	1.5
60～69 歳	338	60.9	40.2	36.4	35.8	31.1	5.3	11.2	14.8	0.3	5.6	4.7
70 歳以上	367	58.6	42.8	34.9	19.6	22.6	6.5	14.2	16.1	0.5	6.3	6.8
女性計	1736	53.1	51.7	53.5	21.5	13.8	19.8	11.3	7.6	11.3	7.9	4.4
女性／15～19 歳	125	67.2	34.4	69.6	4.8	28.0	-	31.2	4.0	1.6	0.8	5.6
20～29 歳	218	51.4	52.3	68.3	23.4	14.2	11.9	22.0	4.6	11.9	4.6	6.4
30～39 歳	197	33.0	65.0	47.2	22.8	12.2	18.8	9.1	3.0	55.8	6.6	2.0
40～49 歳	158	33.5	54.4	35.4	38.6	10.1	15.8	7.0	7.0	27.2	5.7	3.8
50～59 歳	262	48.5	60.7	54.6	35.5	15.6	21.0	8.0	7.3	1.1	12.6	3.4
60～69 歳	389	64.0	49.6	58.9	18.8	16.2	26.5	8.7	11.3	1.8	9.0	3.9
70 歳以上	387	59.9	45.2	44.2	11.6	7.8	25.3	6.7	9.6	1.3	9.3	5.4
常勤就労	773	46.2	56.5	34.7	54.9	21.6	6.1	8.2	4.7	8.7	3.8	3.2
非常勤就労	405	45.9	52.8	48.4	38.5	17.5	12.3	8.6	11.9	8.4	8.1	4.0
自営業	266	45.5	41.7	38.3	60.2	15.8	6.4	4.1	10.5	3.4	7.5	4.1
家事専従	584	57.0	55.3	50.7	4.5	14.0	31.8	8.4	9.6	19.0	8.4	3.3
生徒・学生	332	64.2	28.9	64.8	10.5	40.1	0.6	38.6	4.2	-	1.8	4.5
無職	678	65.8	44.7	42.2	3.8	20.5	12.8	12.7	12.4	2.1	7.8	5.8

注) 無回答は略

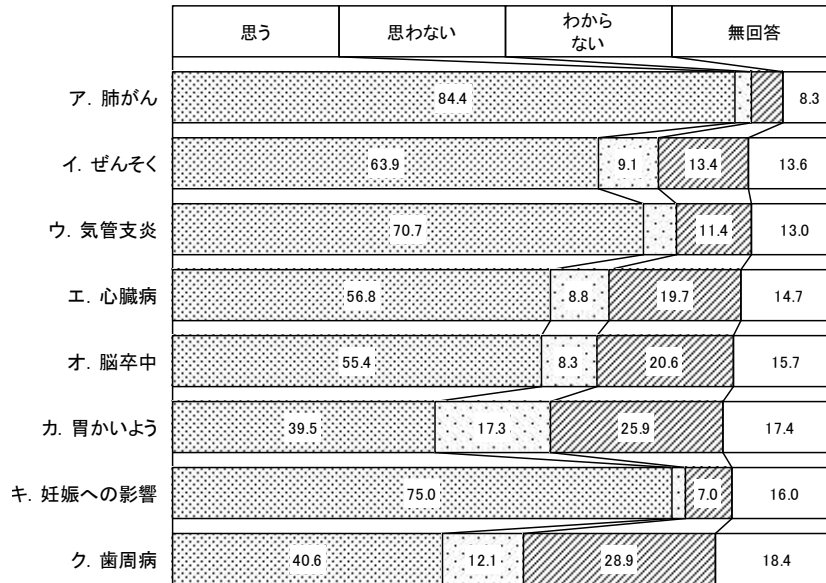
(5) たばこ

①喫煙が及ぼす健康影響についての知識

問19 たばこを吸うと、ア～クの病気についてかかりやすくなると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

総数=4740

単位:%(5%未満非表示)



○「肺がん」や「妊娠への影響」「気管支炎」については、たばこを吸うとかかりやすくなる「思う」の割合が70%を超えており、喫煙の影響が広く認識されています。

○胃かいようや歯周病、脳卒中や心臓病については、「わからない」や「そう思わない」の割合が高く、認識がまだ十分ではない状況となっています。

■問19:属性別

○男性では10歳代、40歳代で「思う」の割合が全体結果よりも5ポイント以上高い項目(表中の網掛けの項目)が多くなっており、他世代と比較して正しい認識を持つ割合が高くなっています。反対に、20歳代はその前後の世代よりも「思う」の割合が少ない項目が多く、認識の格差が見られます。

○女性では40歳代で正しい認識が最も広がっており、30歳代、50歳代も「思う」の割合の高い項目が多く、正しい認識が広がりつつあるといえます。反対に、10歳代、20歳代の若い世代は、これら中高年層よりも「思う」の割合が低い傾向が見られます。

○男女とも60歳代、70歳代では「思う」の割合が低く、他世代とのあいだに認識の差が見られます。

(問 19：性別年代別－喫煙するとかかりやすくなると「思う」割合)

	N=(実数)	ア. 肺がん	イ. ぜんそく	ウ. 気管支炎	エ. 心臓病	オ. 脳卒中	カ. 胃かいよう	キ. 妊娠への 影響	ク. 歯周病
全 体	4740	84.4	63.9	70.7	56.8	55.4	39.5	75.0	40.6
男性計	2002	82.5	62.3	68.9	55.9	54.2	39.7	67.8	37.3
男性／15～19 歳	157	91.7	77.1	81.5	61.1	65.6	45.2	89.8	65.6
20～29 歳	212	93.9	60.8	74.1	53.3	60.8	40.1	89.6	59.9
30～39 歳	186	92.5	62.4	77.4	58.6	66.1	45.2	86.0	52.2
40～49 歳	175	90.9	73.1	82.9	70.9	67.4	45.7	93.1	45.1
50～59 歳	280	86.1	70.7	75.0	67.1	62.9	46.8	80.0	38.9
60～69 歳	461	78.7	61.2	65.9	53.4	47.3	37.3	61.2	27.3
70 歳以上	531	70.2	51.6	55.0	46.0	41.1	32.4	37.3	20.0
女性計	2575	86.3	65.1	72.3	57.4	56.3	39.0	81.0	43.2
女性／15～19 歳	210	94.3	56.7	76.2	57.6	56.2	40.0	91.0	70.0
20～29 歳	352	98.6	68.2	83.0	59.9	69.0	40.1	98.3	64.8
30～39 歳	307	96.7	71.7	83.1	60.6	65.5	46.3	92.8	56.7
40～49 歳	235	95.3	74.9	80.4	70.2	70.6	50.6	92.8	53.6
50～59 歳	379	92.6	74.9	79.7	69.7	65.4	43.8	92.6	42.0
60～69 歳	499	83.4	66.3	69.7	55.3	48.7	36.1	77.8	28.3
70 歳以上	593	65.4	51.8	53.3	43.0	38.8	29.0	51.6	23.3

注) 無回答は略

■問 19: 前回との比較

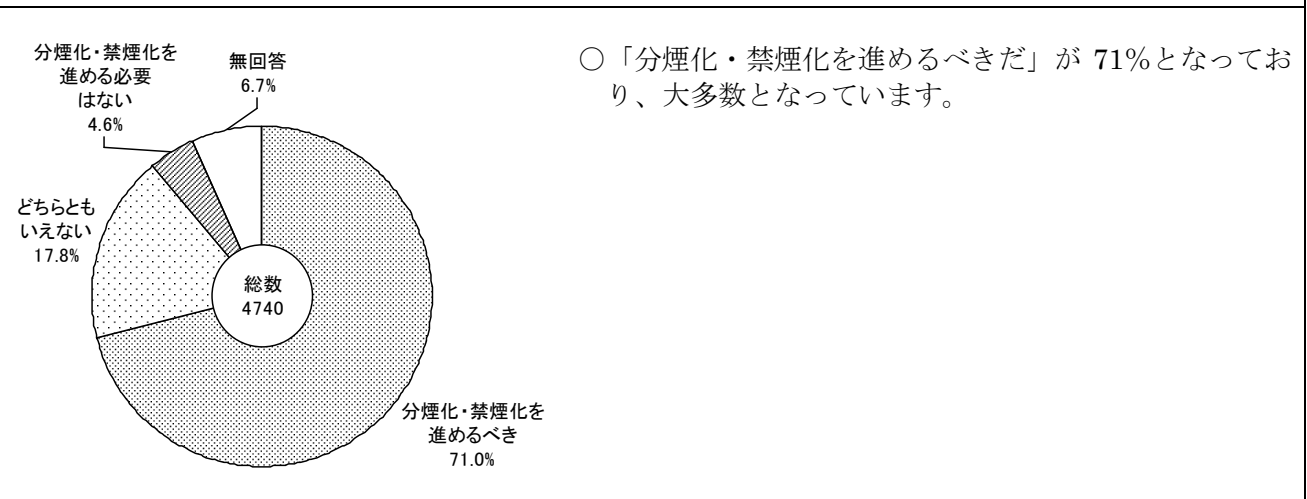
○前回と比較して、肺がんのみ「思う」の割合がわずかに減少していますが、その他の疾病等については「思う」の割合が高まっています。とくに、心臓病、脳卒中、歯周病については5ポイント以上の上昇となっており、正しい認識が広まっているといえます。

(問 19：前回との比較－喫煙するとかかりやすくなると「思う」割合－全体)

	ア. 肺がん	イ. ぜんそく	ウ. 気管支炎	エ. 心臓病	オ. 脳卒中	カ. 胃かいよう	キ. 妊娠への 影響	ク. 歯周病
今回	84.4	63.9	70.7	56.8	55.4	39.5	75.0	40.6
前回	85.0	62.7	68.9	51.5	45.1	37.3	74.8	34.1
今回－前回	-0.6	1.2	1.8	5.3	10.3	2.2	0.2	6.5

②分煙化・禁煙化の意向

問20 あなたは、分煙化・禁煙化を進めるべきだと思いますか。(○は1つだけ)



■問20: 属性別

- 各年代とも「分煙化・禁煙化を進めるべきだ」とする割合が最も高くなっていますが、とくに、女性20～50歳代では75%を上回り、4人に3人の割合となっています。
- 男性20歳代、男性60～70歳以上、女性60歳代以上では「進めるべきだ」とする割合が、全体よりもやや低くなっています。

問20. 分煙化・禁煙化について

単位: % (5%未満非表示)

	分煙化・禁煙化を進めるべき	どちらともいえない	分煙化・禁煙化を進める必要はない	無回答
全体(4740)	71.0	17.8	6.7	
男性計(2002)	68.9	20.3	5.9	
男性/15～19歳(157)	77.7	16.6	5.1	
20～29歳(212)	61.8	25.9	11.3	
30～39歳(186)	76.3	18.8		
40～49歳(175)	73.7	18.9	6.9	
50～59歳(280)	71.4	19.3	8.6	
60～69歳(461)	68.5	22.3	5.6	
70歳以上(531)	64.0	18.8	13.6	
女性計(2575)	72.6	16.3	7.7	
女性/15～19歳(210)	77.1	15.2		
20～29歳(352)	76.4	17.0	5.4	
30～39歳(307)	86.0	11.1		
40～49歳(235)	82.1	13.6		
50～59歳(379)	76.0	19.0		
60～69歳(499)	68.3	19.6	8.6	
70歳以上(593)	59.5	15.3	21.4	

■問20: 前回との比較

- 前回とは質問が異なるので単純な比較はできませんが、「進めるべきだ」とする割合はやや低下しています。

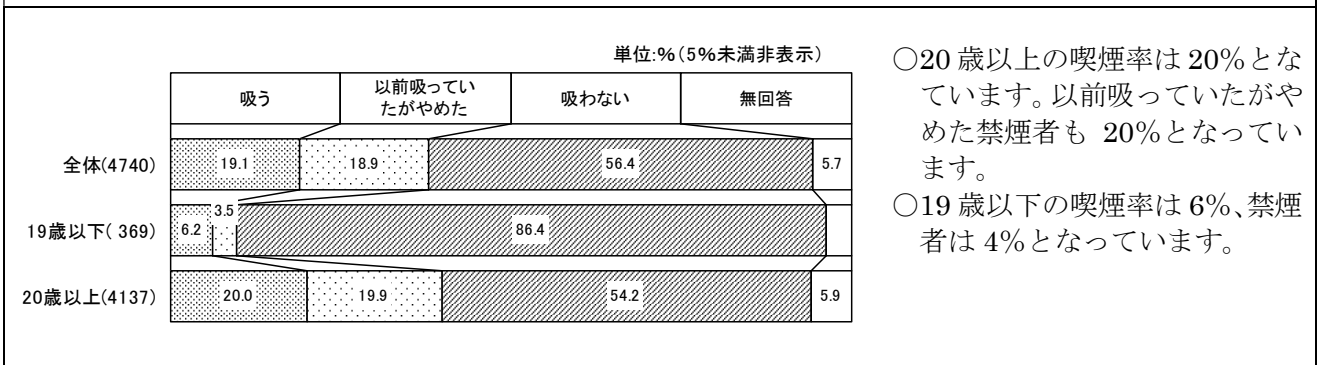
(問20: 前回との比較

— 「進めるべきだ」の割合— 全体)

今回	分煙化・禁煙化を進めるべきだ	71.0
前回	分煙化を進めるべきだ	77.3

③喫煙率

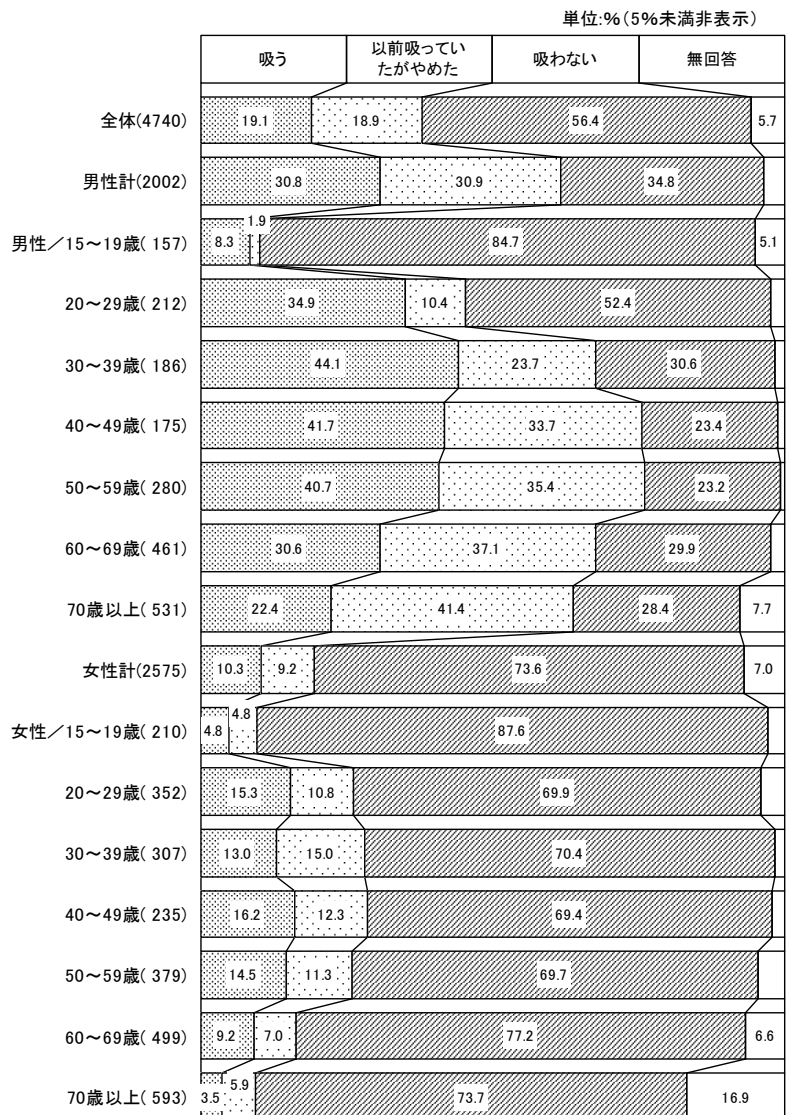
問21 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)



■問21:属性別

- 男性では30歳代で最も喫煙率が高く(44%)、以降、世代があがるにつれて喫煙率は減少し、70歳以上では22%となっています。
- 男性の禁煙率(以前吸っていたがやめた割合)は年代があがるにつれて上昇しています。
- 女性では20~50歳代の喫煙率が女性全体を上回っており、高くなっています。
- 女性の禁煙率は30歳代で高くなっています。

問21. 喫煙状況



■問 21: 前回との比較

- 20 歳以上の喫煙率は前回よりも 4.2 ポイント減少しています。
- 20 歳以上で喫煙率の減少が著しいのは男性 20 歳代で、17 ポイントの減少となっています。次いで、女性 20 歳代で 6%の減少が見られ、男性 30 歳代、40 歳代でも 5 ポイントの減少となっています。しかし、女性 50 歳代、60 歳代では大きな変化が見られません。
- 19 歳以下の喫煙率については、前回と質問のニュアンスが異なるため単純な比較ができなくなっていますが、「吸ったことがある」割合（前回）に対し、習慣的に吸っている割合（今回）はおよそ 1 / 3 程度となっており、未成年時代での喫煙経験を減らすことが、その後の喫煙率の低下にも貢献することを示唆しています。

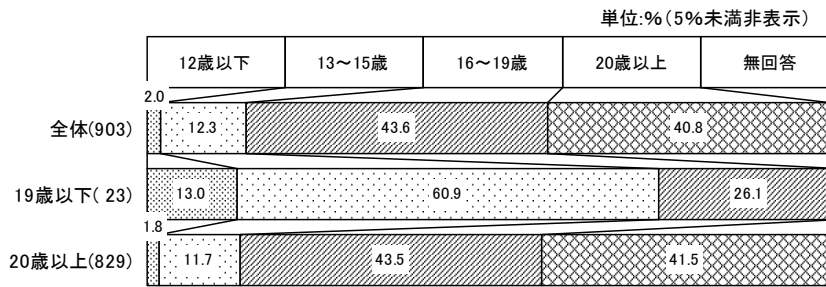
(問 21 : 前回との比較—たばこを「吸う」割合—性別年代別)

	今回	前回	今回-前回
20 歳以上全体	20.0	24.2	-4.2
男性 / 20~29 歳	34.9	52.2	-17.3
30~39 歳	44.1	48.9	-4.8
40~49 歳	41.7	46.6	-4.9
50~59 歳	40.7	42.6	-1.9
60~69 歳	30.6	34.5	-3.9
70 歳以上	22.4	(70~79 歳)29.9 (80 歳以上)23.5	—
女性 / 20~29 歳	15.3	21.3	-6.0
30~39 歳	13.0	14.8	-1.8
40~49 歳	16.2	18.5	-2.3
50~59 歳	14.5	14.2	0.3
60~69 歳	9.2	8.3	0.9
70 歳以上	3.5	(70~79 歳)6.6 (80 歳以上)2.2	—
19 歳以下全体	6.2	18.1※	—
男性 / 15~19 歳	8.3	25.4※	—
女性 / 15~19 歳	4.8	12.4※	—

注) 前回は「吸ったことがありますか」に対する回答である。

④喫煙開始年齢

問21-1 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) はじめて、たばこを吸ったのは何歳ですか。(○は1つだけ)



○全体では 16~19 歳（高校生相当）にはじめて吸ったとする割合が 44%、13~15 歳（中学生相当）が 12%、12 歳以下は少数ですが 2%、合計で 58%となっており、喫煙者の半数以上は未成年のときにはじめてたばこを吸っています。

○19 歳以下の喫煙者は母数が少ないため、一定の傾向を指摘するのは難しくなっていますが、6 割が 16~19 歳にはじめてたばこを吸っています。

■問 21-1 属性別

○母数が少ないため一定の傾向を指摘するのは難しくなっていますが、男女とも年齢層が若いほど、喫煙開始年齢が低い傾向が見られます。

○男性の 60 歳代まで、女性の 40 歳代までの世代では、未成年ではじめて吸ったとする割合（「16~19 歳」「13~15 歳」「12 歳以下」の合計）のほうが、「20 歳以上」ではじめて吸ったとする割合よりも大きくなっています。

(問 21-1：性別年代別)

	N=(実数)	12 歳以下	13~15 歳	16~19 歳	20 歳以上
全 体	903	2.0	12.3	43.6	40.8
男性計	616	2.1	13.5	47.9	35.4
男性/15~19 歳	13	7.7	76.9	15.4	-
20~29 歳	74	5.4	23.0	45.9	25.7
30~39 歳	82	7.3	17.1	56.1	18.3
40~49 歳	73	-	21.9	60.3	16.4
50~59 歳	114	-	8.8	54.4	35.1
60~69 歳	141	0.7	8.5	40.4	49.6
70 歳以上	119	0.8	3.4	42.0	52.1
女性計	264	1.9	10.2	34.5	51.5
女性/15~19 歳	10	20.0	40.0	40.0	-
20~29 歳	54	3.7	13.0	61.1	20.4
30~39 歳	40	2.5	20.0	40.0	37.5
40~49 歳	38	-	13.2	42.1	42.1
50~59 歳	55	-	1.8	16.4	81.8
60~69 歳	46	-	-	19.6	78.3
70 歳以上	21	-	9.5	19.0	61.9

注) 無回答は略

■問 21-1: 前回との比較(19 歳以下)

○未成年の喫煙開始年齢については、前回と質問が異なるため単純な比較はできませんが、「13~15 歳」にはじめて吸ったとする割合が高い傾向が前回から続いています。

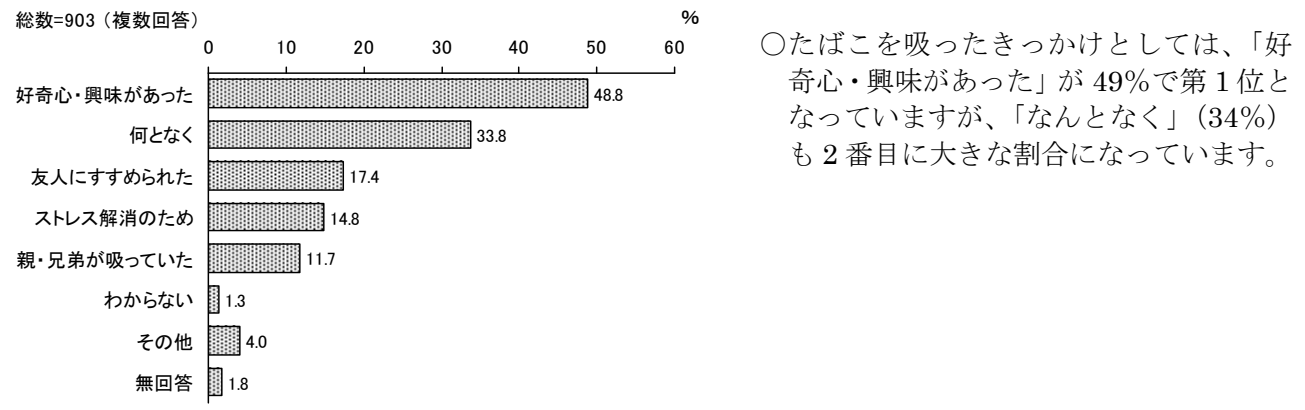
(問 21-1：前回との比較-はじめてたばこを吸った年齢-19 歳以下)

	12 歳以下	13~15 歳	16~19 歳
今回	13.0	60.9	26.1
前回	24.1	48.1	27.8

※前回は「たばこを吸ったことがある」人を、今回はたばこを「吸う」人を対象とした質問の回答である。

⑤喫煙のきっかけ

問21-2 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) たばこを吸ったきっかけは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



■問 21-2 属性別

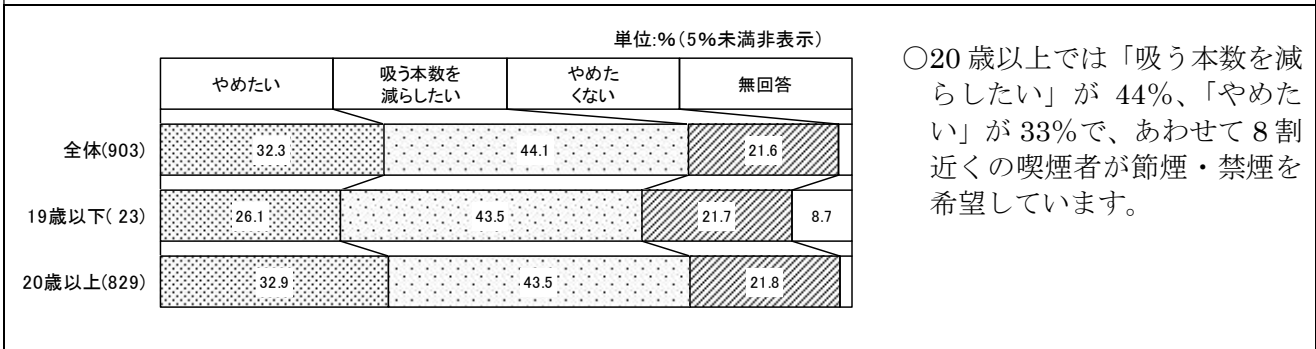
〇19歳以下は母数が少ないため一定の傾向を指摘するのは困難ですが、「好奇心」や「友人にすすめられた」が20歳以上よりも高くなっています。また、「親・兄弟が吸っていた」も20歳以上よりやや高い傾向が見受けられ、周囲の喫煙者からの影響を受けやすいとも考えられます。

(問 21-2 : 19歳以下、20歳以上別)

	N=(実数)	好奇心・興味があった	友人にすすめられた	親・兄弟が吸っていた	ストレス解消のため	何となく	わからない	その他
全体	903	48.8	17.4	11.7	14.8	33.8	1.3	4.0
19歳以下	23	65.2	26.1	17.4	26.1	34.8	-	4.3
20歳以上	829	48.0	17.2	11.9	14.7	34.0	1.3	4.2

⑥禁煙・節煙の意向

問21-3 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(〇は1つだけ)



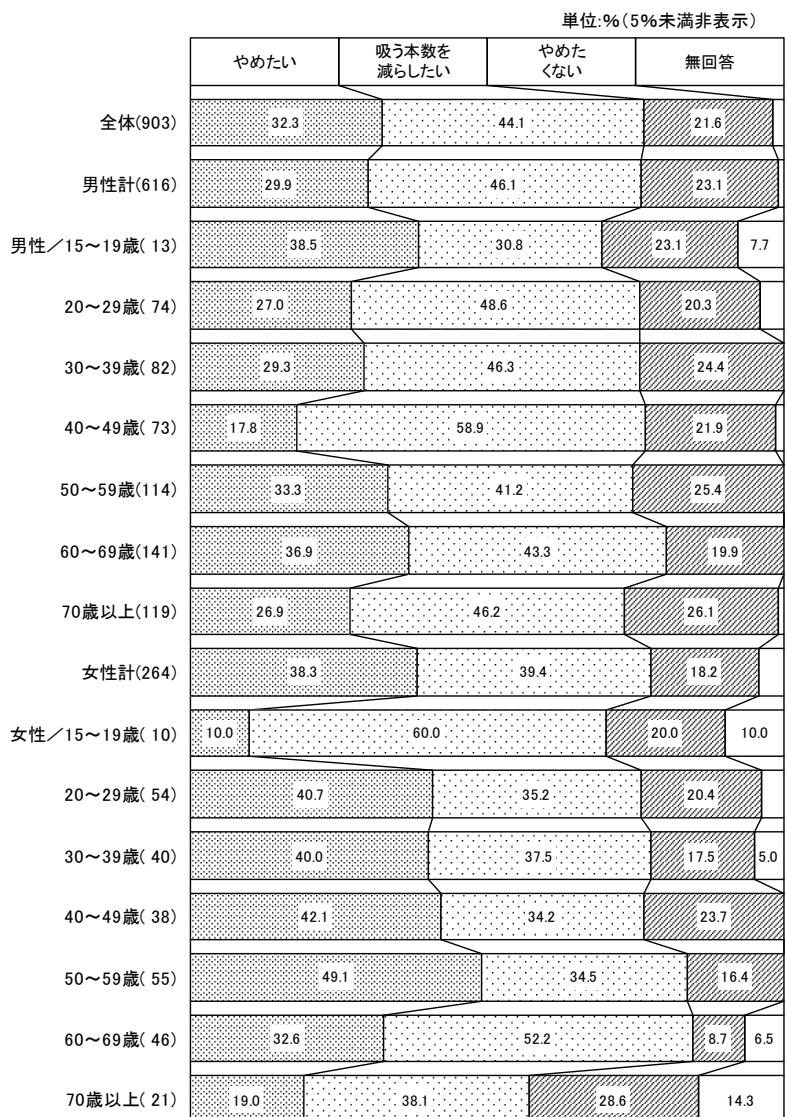
問21-3. たばこをやめたいか

■問 21-3 属性別

- 「やめたい」とする割合は、女性20～50歳代で40%を超えて高くなっています。
- 男性では20～40歳代までは、「吸う本数を減らしたい」の割合が高く、やめるよりも「減らす」ことが志向されています。

■問 21-3: 前回との比較

- 20歳以上の禁煙希望者は6.6ポイント増加、節煙希望者は6.9ポイントの減少となっています。

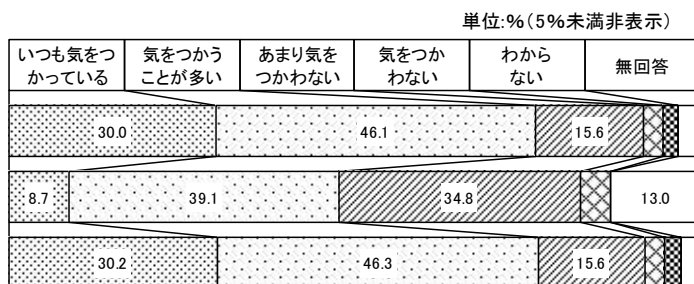


(問 21-3 : 前回との比較 - 「やめたい」「減らしたい」割合 - 20歳以上)

	やめたい	減らしたい
今回	32.9	43.5
前回	26.3	50.4
今回-前回	6.6	-6.9

⑦喫煙の際の周囲への配慮

問21-4 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) たばこを吸うときに周囲に気がつかっていますか。(○は1つだけ)



○全体では「いつも気がつかっている」「気がつかうことが多い」をあわせて、76%が喫煙の際には周囲に気がつかっているとしています。

■問 21-4 属性別

- 母数が少ないため、一定の傾向を指摘するのは困難ですが、喫煙のときに「いつも気がつかっている」のは女性 30～60 歳代、男性 70 歳以上で多くなっています。
- 男性 20～30 歳代では「気がつかうことが多い」とする割合が高くなっています。
- 「あまり気をつかわない」とする割合は、男性 10 歳代、女性 10～20 歳代で高い傾向が見られますが、男性 50 歳代や女性 70 歳以上でもやや高くなっています。

(問 21-4 : 性別年代別)

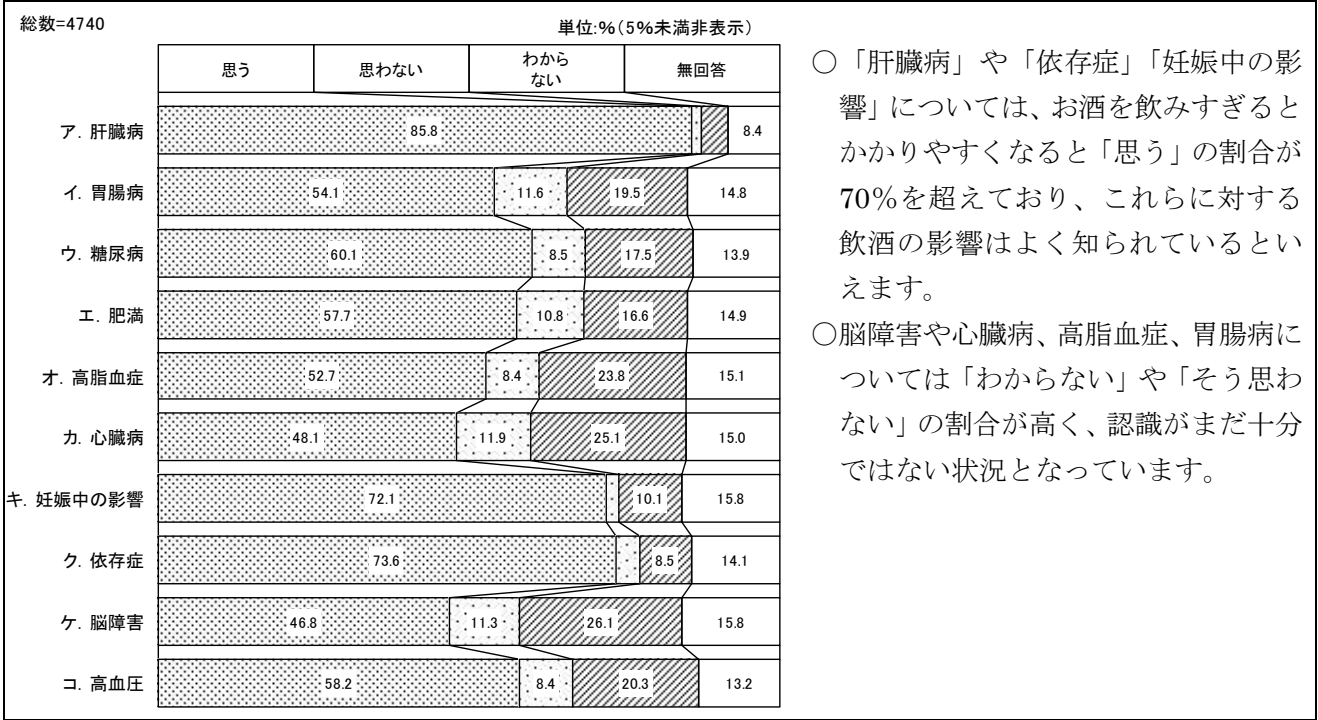
	N=(実数)	いつも気がつかっている	気がつかうことが多い	あまり気をつかわない	気がつかわない	わからない
全 体	903	30.0	46.1	15.6	2.9	2.2
男性計	616	26.5	48.7	17.0	3.7	1.5
男性/15～19 歳	13	7.7	30.8	38.5	7.7	-
20～29 歳	74	18.9	54.1	17.6	2.7	5.4
30～39 歳	82	17.1	61.0	15.9	1.2	2.4
40～49 歳	73	31.5	45.2	16.4	4.1	1.4
50～59 歳	114	26.3	49.1	20.2	2.6	-
60～69 歳	141	27.7	50.4	13.5	4.3	0.7
70 歳以上	119	35.3	38.7	16.8	5.9	0.8
女性計	264	37.5	40.2	12.9	1.1	3.8
女性/15～19 歳	10	10.0	50.0	30.0	-	-
20～29 歳	54	24.1	40.7	22.2	-	7.4
30～39 歳	40	37.5	42.5	10.0	-	7.5
40～49 歳	38	42.1	47.4	2.6	-	7.9
50～59 歳	55	49.1	38.2	9.1	-	-
60～69 歳	46	50.0	37.0	6.5	-	-
70 歳以上	21	19.0	28.6	28.6	14.3	-

注) 無回答は略

(6) アルコール

①アルコールが及ぼす健康影響についての知識

問22 お酒を飲みすぎると、ア～コの病気についてかかりやすくなると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)



○「肝臓病」や「依存症」「妊娠中の影響」については、お酒を飲みすぎるとかかりやすくなる「思う」の割合が70%を超えており、これらに対する飲酒の影響はよく知られているといえます。

○脳障害や心臓病、高脂血症、胃腸病については「わからない」や「そう思わない」の割合が高く、認識がまだ十分ではない状況となっています。

■問22 属性別

○男性では10歳代、30歳代、40歳代で「思う」の割合が全体結果よりも5ポイント以上高い項目(表中の網掛けの項目)が多くなっています。また、20歳代、50歳代でも多くの疾病等で「思う」の割合が全体よりも高くなっており、これらの層では正しい認識が広がりつつあります。

○女性では20歳代で、すべての疾病等について「思う」の割合が全体結果よりも5ポイント以上高く、正しい認識が最も広がっています。また、30～50歳代も「思う」の割合の高い項目が多く、正しい認識が広がりつつあるといえます

○男女とも60歳代以上では「思う」の割合が低い項目が多く、他世代とのあいだに認識の差が見られ、たばこの影響と同様の傾向となっています。

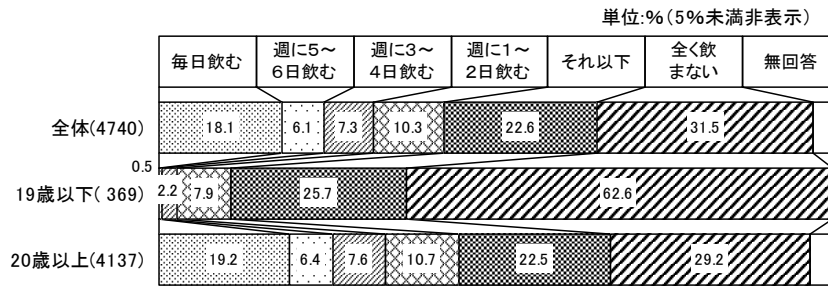
(問22：性別年代別一病気にかかりやすくなる「思う」割合)

	N=(実数)	ア. 肝臓病	イ. 胃腸病	ウ. 糖尿病	エ. 肥満	オ. 高脂血症	カ. 心臓病	キ. 妊娠への影響	ク. 依存症	ケ. 脳障害	コ. 高血圧
全体	4740	85.8	54.1	60.1	57.7	52.7	48.1	72.1	73.6	46.8	58.2
男性/15～19歳	157	89.8	68.2	63.7	72.6	68.8	62.4	80.9	87.3	59.9	71.3
20～29歳	212	91.0	55.2	61.3	72.6	58.5	51.4	77.8	85.4	49.1	60.8
30～39歳	186	93.0	60.2	68.8	69.9	60.2	49.5	82.3	84.4	46.2	58.6
40～49歳	175	93.7	59.4	67.4	69.1	59.4	52.6	81.7	78.9	49.7	57.7
50～59歳	280	92.5	55.4	68.9	59.6	60.7	50.0	78.6	81.4	51.8	58.6
60～69歳	461	84.8	47.7	56.4	45.6	44.9	41.4	58.6	63.8	42.7	56.6
70歳以上	531	71.9	45.6	43.5	35.6	39.7	38.4	39.9	45.0	33.1	51.2
女性/15～19歳	210	88.1	57.1	63.3	71.9	67.1	56.7	87.6	89.0	59.5	69.0
20～29歳	352	98.3	63.1	70.5	76.7	66.5	55.7	94.9	94.0	54.0	71.3
30～39歳	307	97.4	64.8	71.3	73.0	59.6	50.2	91.5	91.5	48.9	56.0
40～49歳	235	97.9	62.1	71.9	70.6	62.6	54.5	87.7	90.2	54.5	58.7
50～59歳	379	93.1	57.0	67.3	63.6	54.4	54.9	86.3	86.5	52.8	59.4
60～69歳	499	85.0	52.9	60.3	53.5	48.9	46.1	76.0	72.5	48.5	59.3
70歳以上	593	67.1	41.3	44.7	39.5	37.9	39.8	52.3	51.4	36.6	48.9

注)無回答は略

②飲酒の頻度

問23 あなたは、お酒（洋酒、日本酒、ビールなど）をどの程度飲みますか。（○は1つだけ）



○20歳以上では「毎日飲む」が19%、「週に5~6日飲む」が6%、あわせて26%はほとんど毎日お酒を飲んでいます。反対に、「まったく飲まない」は29%となっています。

○19歳以下では「毎日飲む」から「それ以下（週に1~2日以下）」の計は36%となっています。未成年の3人に1人以上が、ある程度の頻度でお酒を飲んでいます。

■問23 属性別

○「毎日」は男性60歳代で最も高くなっています。また、男性40歳代、50歳代も「週に5~6日」の割合が高く、これらの層では、「毎日」と「週に5~6日」をあわせた割合が半数を超えています。

○男性20歳代では、30歳代以降の世代と比較して「週に1~2日」「それ以下」の割合が高く、お酒の飲む頻度が最も低い世代となっています。

○女性では「毎日」や「週に5~6日」「週に3~4日」の割合が同世代の男性よりも低く、「全く飲まない」や「それ以下（週に1~2日以下）」が多くなっており、全般に女性の飲酒率、飲酒の頻度は低くなっています。

(問23：性別年代別)

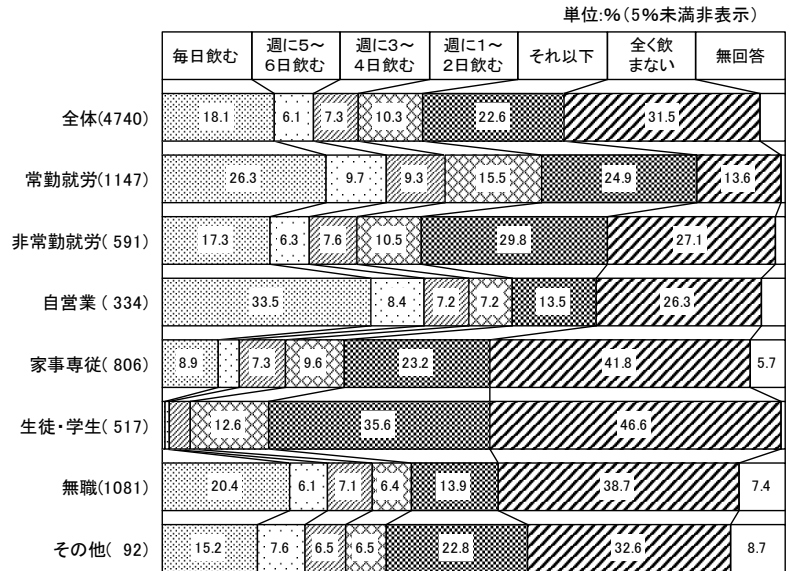
	N=(実数)	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	それ以下	全く飲まない
全体	4740	18.1	6.1	7.3	10.3	22.6	31.5
未成年計	367	-	0.5	2.2	7.9	25.9	62.4
男性/15~19歳	157	-	0.6	3.2	9.6	22.3	63.1
女性/15~19歳	210	-	0.5	1.4	6.7	28.6	61.9
成人男性計(1845)	1845	32.6	10.5	8.7	10.5	16.3	18.9
男性/20~29歳	212	3.3	5.2	9.0	20.8	44.3	17.5
30~39歳	186	32.3	9.1	5.4	17.2	23.7	12.4
40~49歳	175	37.7	17.7	9.1	9.7	15.4	9.7
50~59歳	280	39.3	16.1	11.4	10.7	11.1	11.1
60~69歳	461	43.0	8.2	10.2	6.9	10.8	19.1
70歳以上	531	30.1	9.6	6.8	7.3	10.4	28.8
成人女性計	2365	9.1	3.6	7.0	11.0	27.2	36.7
女性/20~29歳	352	3.1	1.1	6.8	21.6	51.1	16.2
30~39歳	307	10.4	4.2	7.8	14.3	36.8	26.1
40~49歳	235	13.2	8.1	8.5	14.0	30.6	25.5
50~59歳	379	16.4	4.2	9.2	10.3	26.4	31.4
60~69歳	499	10.6	4.0	7.6	8.0	21.2	43.5
70歳以上	593	4.6	2.0	4.0	4.7	12.3	56.3

注) 無回答は略

○就労形態別に見ると、「毎日飲む」の割合は自営業（34%）、常勤就労で高く、「週に5～6日」をあわせると、常勤就労者で36%、自営業で42%がほとんど毎日飲んでいます。

○無職でも「毎日飲む」の割合が高くなっています。

問23. 飲酒の程度



■問 23: 前回との比較

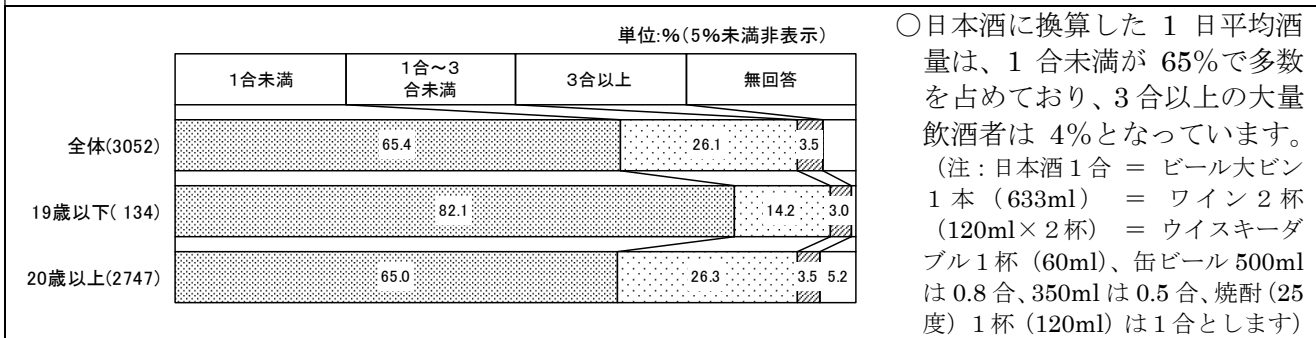
○「毎日飲む」割合を前回と比較すると、男性 50 歳代、60 歳代でその割合が低下しており、その結果、40～60 歳代の中高年層の毎日飲む割合も 4 ポイント低下しています。

(問 23 : 前回との比較－「毎日飲む」割合)

	全体 (20 歳以上)	男性計 (20 歳以上)	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	40～60 歳代
今回	19.2	32.6	37.7	39.3	43.0	30.0
前回	19.5	34.3	36.0	43.9	45.1	34.0
今回-前回	-0.3	-1.7	1.7	-4.6	-2.1	-4.0

③1日の酒量

問 23-1 (問 23 で 1～5 をお答えの方に) 日本酒に換算して、1日に平均してどれくらい飲んでいますか。(〇は1つだけ)



■問 23-1: 属性別

- 「3合以上」とする割合は、男性40歳代(7%)、50歳代(10%)、60歳代(5%)で高く、「1合～3合未満」とする割合も、この世代は全体よりも約20ポイント高くなっています。男性40～60歳代は飲む頻度も高く(問23)、際立って飲酒量の多い世代であるといえます。
- 女性では「3合以上」とする割合はわずかですが、40歳代(3%)、50歳代(2%)、20歳代(2%)で同性他世代よりもやや高くなっています。
- 就労状況別に見ると、常勤就労や自営業で「1～3合未満」「3合以上」とする割合が高くなっています。

■問 23-1: 前回との比較(「3合以上」の割合)

- 3合以上の大量飲酒者の割合は、母数が少ないため一定の傾向を指摘するのは困難ですが、前回と比較して全体(注: 未成年を含む全体)はほぼ同程度であるものの、成人男性ではわずかに値が上昇しています。

(問 23-1: 性別年代、就労形態別)

	N=(実数)	1合未満	1合～3合未満	3合以上
全体	3052	65.4	26.1	3.5
未成年計	134	82.1	14.2	3.0
男性/15～19歳	56	78.6	19.6	-
女性/15～19歳	78	84.6	10.3	5.1
成人男性計	1449	52.2	39.3	5.3
男性/20～29歳	175	65.1	29.7	3.4
30～39歳	163	64.4	30.1	5.5
40～49歳	157	46.5	45.9	7.0
50～59歳	248	40.7	48.8	9.7
60～69歳	365	46.6	45.5	4.9
70歳以上	341	56.6	32.3	2.6
成人女性計	1369	78.2	13.1	1.8
女性/20～29歳	295	80.7	16.3	2.4
30～39歳	226	82.7	15.5	0.4
40～49歳	175	80.6	12.0	3.4
50～59歳	252	78.6	11.9	2.4
60～69歳	257	74.7	11.3	1.2
70歳以上	164	69.5	10.4	0.6
常勤就労	984	59.0	34.2	5.1
非常勤就労	422	70.1	22.3	2.1
自営業	233	51.9	33.5	6.0
家事専従	423	82.3	9.5	0.9
生徒・学生	272	80.1	16.5	2.2
無職	583	59.3	28.6	3.6

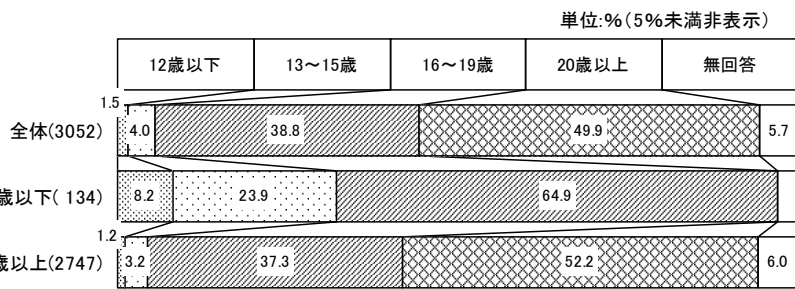
(問 23-1: 前回との比較-「3合以上」の割合)

	今回	前回	今回-前回
全体	3.5	3.6	-0.1
成人男性計	5.3	3.6	1.7
40～49歳	7.0	5.8	1.2
50～59歳	9.7	7.2	2.5
成人女性計	1.8	1.7	0.1
20～29歳	2.4	3.1	-0.7
30～39歳	0.4	3.2	-2.8

注) 無回答は略

④ 飲酒開始年齢

問23-2 (問23で1~5をお答えの方に) お酒を飲み始めたのは、いつからですか。(〇は1つだけ)



○お酒を飲み始めた年齢は、未成年を含む飲酒者全体で「20歳以上」が50%で最も多いものの、「16~19歳」も39%に達し、それ以下の年齢からの飲酒も合計すると、飲酒者の半数は未成年の頃にお酒を飲み始めたとしています。

■問23-2 属性別

○20歳以上の成人では、50歳代までの層で「16~19歳」が最も高い割合を占めており、また、成人女性でも20歳代では62%が、30歳代では48%が「16~19歳」としています。現在の青少年の親世代においても、高校時代からの飲酒が広がっていたことが示されています。

○19歳以下の未成年においても、「16~19歳」が男女とも最も多くなっていますが、「13~15歳」も24%と少なくなく、12歳以下についても1割に近い値となっています。

(問23-2: 性別年代別)

	N=(実数)	12歳以下	13~15歳	16~19歳	20歳以上
全体	3052	1.5	4.0	38.8	49.9
未成年計	134	8.2	23.9	64.9	-
男性/15~19歳	56	8.9	21.4	64.3	-
女性/15~19歳	78	7.7	25.6	65.4	-
成人男性計(1845)	1449	1.5	3.8	44.0	43.1
男性/20~29歳	175	2.9	5.1	65.1	25.7
30~39歳	163	3.7	9.8	57.7	27.6
40~49歳	157	1.3	1.9	59.9	36.9
50~59歳	248	1.6	2.8	52.4	40.3
60~69歳	365	0.5	2.5	35.6	56.4
70歳以上	341	0.9	3.2	22.3	63.0
成人女性計	1369	0.9	2.5	30.8	58.6
女性/20~29歳	295	1.7	8.1	62.0	26.1
30~39歳	226	1.3	2.7	47.8	47.3
40~49歳	175	0.6	1.7	35.4	61.7
50~59歳	252	1.2	0.4	19.4	73.4
60~69歳	257	0.4	-	5.8	79.4
70歳以上	164	-	-	3.0	73.8

注) 無回答は略

■問23-2 前回との比較(19歳以下)

○19歳以下の未成年の飲酒開始年齢については、前回と質問が異なるため単純な比較はできません。これらの結果を合わせると、未成年のはじめての飲酒経験は13~15歳にピークがあり(前回結果)、習慣的な飲酒の開始は16~19歳が多い(今回結果)という傾向がうかがえます。

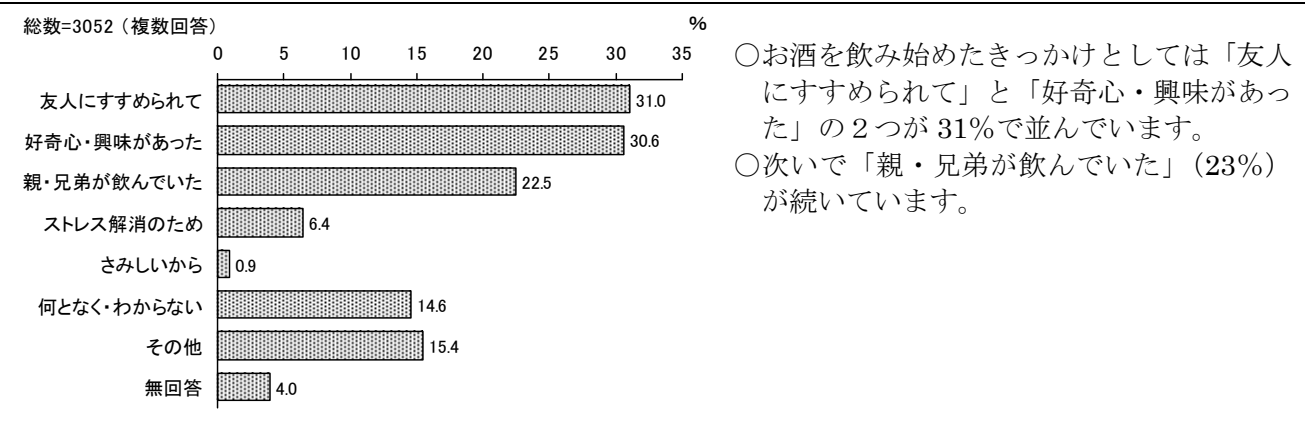
(問23-2: 前回との比較-19歳以下)

	12歳以下	13~15歳	16~19歳
今回	8.2	23.9	64.9
前回	23.1	40.9	33.9

※前回は「お酒を飲んだことのある」人(未成年の62%)に対して「それはいつですか」と尋ねた結果である。

⑤飲酒のきっかけ

問23-3 (問23で1~5をお答えの方に) お酒を飲み始めたきっかけは何ですか。(○はあてはまるものすべて)



■問23-3 属性別

○19歳以下では「好奇心・興味があった」が全体より約20ポイント高く、最大の要因となっています。また、「友人にすすめられて」「親・兄弟が飲んでいた」も全体より高くなっています。

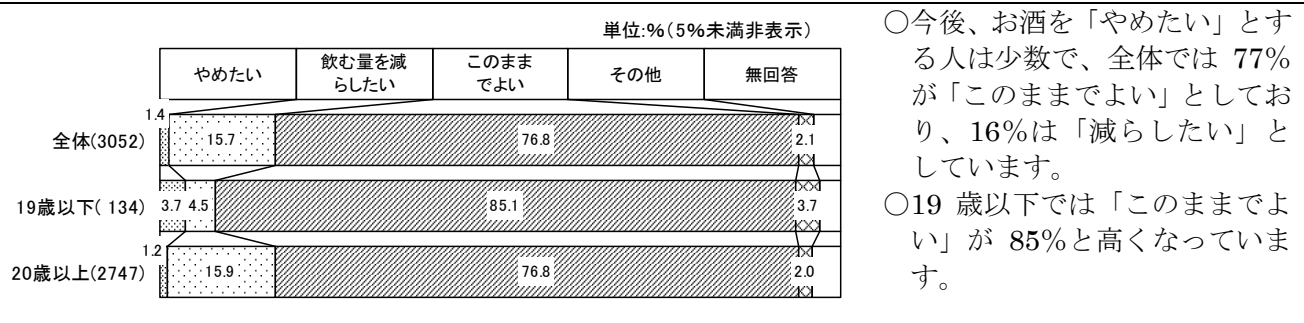
(問23-3: 19歳以下、20歳以上別)

	N=(実数)	好奇心・興味があった	友人にすすめられて	親・兄弟が飲んでいた	ストレス解消のため	さみしいから	何となく・わからない	その他
全体	3052	30.6	31.0	22.5	6.4	0.9	14.6	15.4
19歳以下	134	53.0	38.1	27.6	8.2	1.5	12.7	10.4
20歳以上	2747	29.5	30.8	22.5	6.4	0.8	14.5	15.7

注) 無回答は略

⑥今後の飲酒の意向

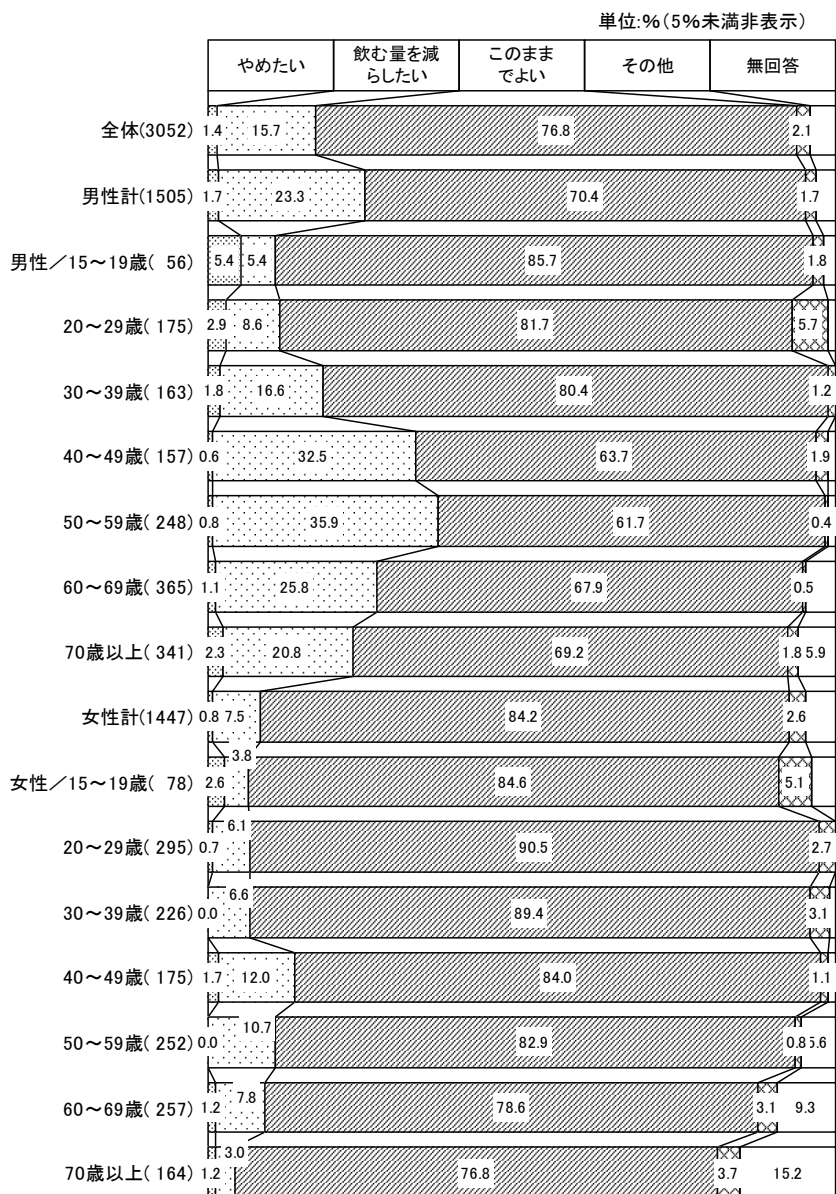
問23-4 (問23で1~5をお答えの方に) あなたは、今後、飲酒について、どのようにしたいと思えますか。(〇は1つだけ)



■問23-4 属性別

- 「やめたい」とする割合はどの年代も少数となっています。
- 「飲む量を減らしたい」は、飲む頻度が高く、一日平均で飲む量の多かった男性40~60歳代でとくに高くなっています。
- 女性では、40歳代、50歳代で同性他世代よりも「飲む量を減らしたい」がやや高くなっています。

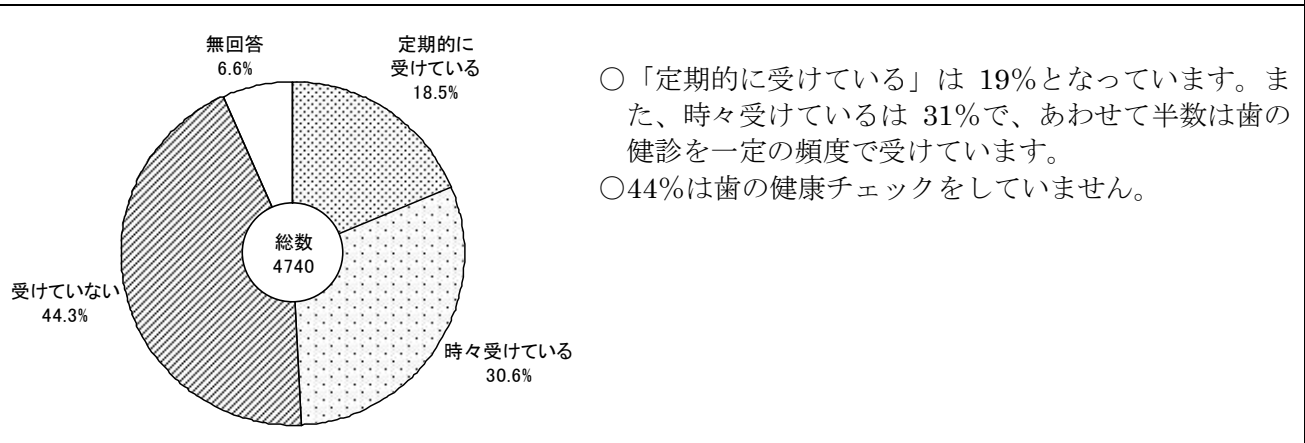
問23-4. 今後、飲酒についてどのようにしたいか



(7) 歯の健康

① 歯科健診の受診状況

問24 歯科健診を受けていますか。(○は1つだけ)



■ 問24: 属性別

- 「定期的を受けている」が多いのは、男性10歳代(40%)、女性10歳代(37%)で、生徒・学生を多く含む層で高くなっています。
- 「定期的を受けている」割合を20歳代以上の層で見ると、男女とも50~60歳代で高くなっており、男性50~60歳代は18%、女性50~60歳代は20%となっています。
- 「定期的を受けている」に「時々受けている」をあわせた割合は、男性では50歳代以上で高く、女性では40歳代、60歳代で高くなっています。

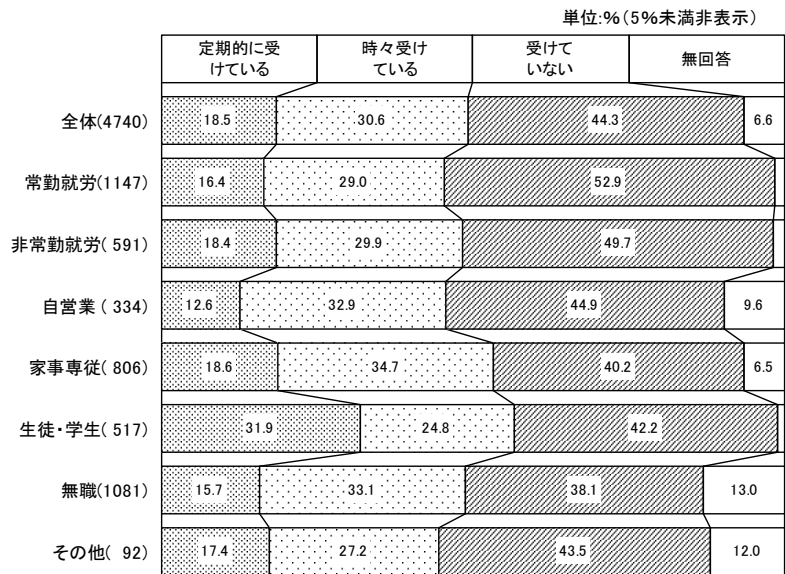
問24. 歯科健診の受診状況

単位:%(5%未満非表示)

	定期的を受けている	時々受けている	受けていない	無回答
全体(4740)	18.5	30.6	44.3	6.6
男性計(2002)	17.5	29.5	47.7	5.2
男性/15~19歳(157)	40.1	19.7	38.2	
20~29歳(212)	12.3	14.6	73.1	
30~39歳(186)	11.3	24.2	64.5	
40~49歳(175)	14.9	29.7	54.3	
50~59歳(280)	18.2	32.5	46.4	
60~69歳(461)	18.4	33.4	43.0	5.2
70歳以上(531)	14.9	35.2	37.1	12.8
女性計(2575)	19.3	31.8	41.8	7.1
女性/15~19歳(210)	36.7	29.0	32.9	
20~29歳(352)	15.1	23.9	60.2	
30~39歳(307)	17.9	33.2	48.5	
40~49歳(235)	16.6	38.7	44.3	
50~59歳(379)	20.3	28.0	47.8	
60~69歳(499)	20.4	37.5	33.5	8.6
70歳以上(593)	15.7	31.7	32.9	19.7

○就労形態別に見ると、学校での歯科健診を受ける機会のある生徒・学生で「定期的に受けている」割合が高く、30%を超えています。
 ○他の属性では「自営業」で「定期的に受けている」の割合がやや低くなっているものの、職業による顕著な傾向の違いは見られません。

問24. 歯科健診を受診



■問 24: 前回との比較

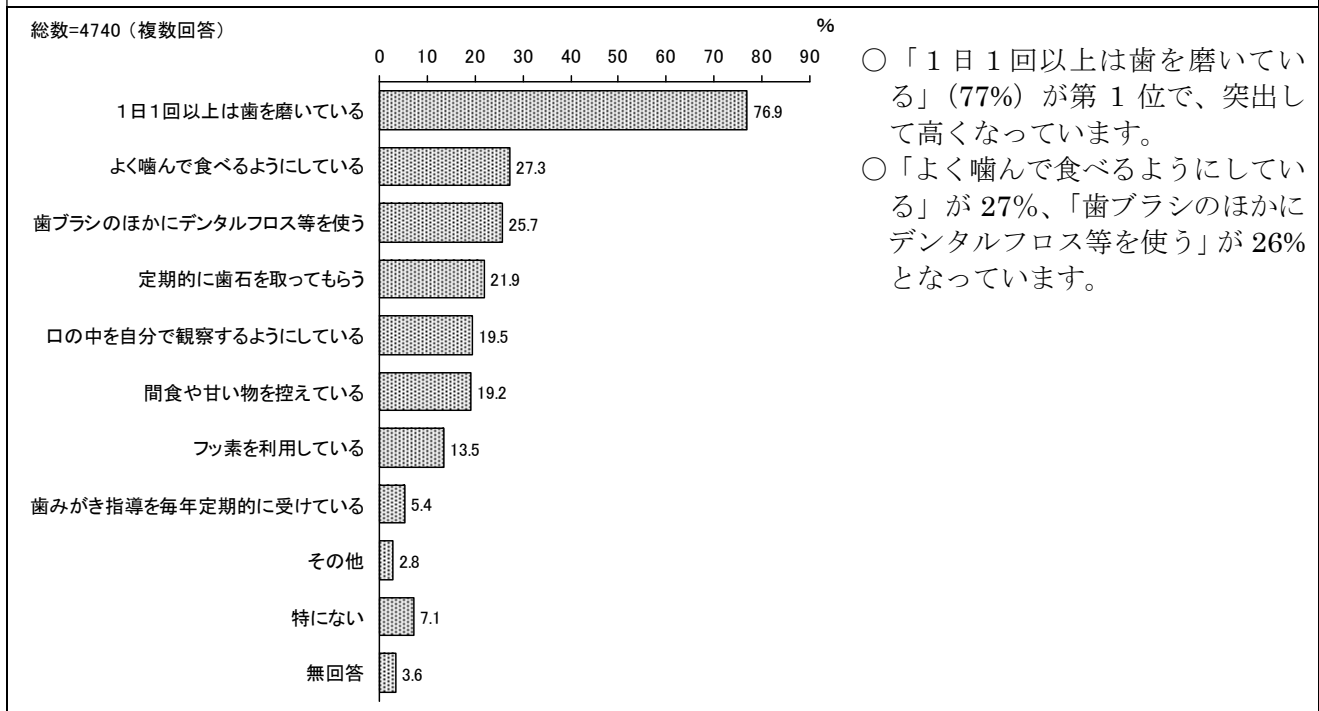
○前回と比較して、歯科健診の受診率が向上しており、男性 50～60 歳代では前回から 5 ポイント以上上昇しています。女性では 20 歳代、60 歳代、30 歳代が同性他世代よりも上昇幅が大きくなっています。

(問 24: 前回との比較—歯科健診を「定期的に受けている」割合)

	今回	前回	今回－前回
全体	18.5	14.5	4.0
男性計	17.5	13.7	3.8
男性／15～19 歳	40.1	36.9	3.2
20～29 歳	12.3	6.6	5.7
30～39 歳	11.3	14.4	-3.1
40～49 歳	14.9	13.7	1.2
50～59 歳	18.2	9.8	8.4
60～69 歳	18.4	11.6	6.8
70 歳以上	14.9	70～79 歳 14.7 80 歳以上 12.1	—
女性計	19.3	15.0	4.3
女性／15～19 歳	36.7	42.6	-5.9
20～29 歳	15.1	8.6	6.5
30～39 歳	17.9	13.7	4.2
40～49 歳	16.6	14.2	2.4
50～59 歳	20.3	16.3	4.0
60～69 歳	20.4	15.6	4.8
70 歳以上	15.7	70～79 歳 10.0 80 歳以上 7.3	—

②歯や口の健康のために気を付けていること

問25 歯や口の健康のために気を付けていることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)



問25: 属性別

- 全般的に、男性よりも女性で各項目の実行率が高く、とくに、「歯ブラシのほかにデンタルフロス等を使う」では男性計18%に対し女性計32%、「口の中を自分で観察するようにしている」は男性計14%に対して女性計24%となっており、差が大きくなっています。
- 「歯ブラシのほかにデンタルフロス等を使う」「定期的に歯石を取ってもらう」は、女性のなかでも30～60歳代で実行率が高く、中高年女性の歯の健康に対する意識の高さが表れています。
- 一方、「特にない」は男性10～40歳代で全体よりも高くなっています。

(問 25 : 性別年代別)

	N= (実数)	1日1回以上は 歯を磨いている	よく噛んで食べ るようにしている	歯ブラシのほかに デンタルフロス等 を使う	定期的 に歯石を 取ってもら う	定期的 に歯石を 取ってもら う	口の中を自分 で観察する ようにして いる	間食や甘い物 を控えてい る	フッ素を利用 している	歯みがき指 導を毎年定 期的に受 けている	その他	特 に な い
全体	4740	76.9	27.3	25.7	21.9	19.5	19.2	13.5	5.4	2.8	7.1	
男性計	2002	75.7	24.0	18.1	18.7	14.0	20.5	10.3	4.3	2.5	9.6	
男性/15~19歳	157	68.8	18.5	5.1	6.4	14.0	8.9	18.5	4.5	1.9	14.6	
20~29歳	212	71.7	22.2	11.8	5.2	16.5	15.1	11.3	1.4	1.9	17.9	
30~39歳	186	77.4	12.9	17.7	14.0	13.4	15.1	11.3	3.8	2.2	12.9	
40~49歳	175	76.0	5.7	25.1	16.6	12.6	15.4	10.9	5.1	1.1	13.7	
50~59歳	280	76.8	18.2	24.3	25.0	14.3	23.9	11.8	5.0	1.4	8.2	
60~69歳	461	80.7	27.1	21.5	25.8	14.8	24.9	9.5	5.2	3.5	6.1	
70歳以上	531	73.8	36.7	16.0	20.5	12.8	24.1	7.0	4.3	3.2	6.0	
女性計	2575	78.1	29.9	31.5	24.2	24.2	18.2	16.0	6.2	3.0	5.4	
女性/15~19歳	210	80.0	23.8	14.3	5.7	22.4	10.0	22.4	1.4	1.9	9.5	
20~29歳	352	81.5	26.7	20.5	17.9	31.5	6.8	22.4	5.4	3.1	9.9	
30~39歳	307	79.5	16.6	40.1	27.7	24.1	11.1	19.5	5.5	3.6	4.2	
40~49歳	235	78.7	18.7	43.4	29.4	31.1	13.6	17.4	4.7	3.0	6.0	
50~59歳	379	78.6	24.5	38.0	27.7	25.1	21.9	14.0	6.6	4.5	5.0	
60~69歳	499	80.2	37.7	40.7	33.3	24.6	25.1	15.0	9.2	2.6	2.0	
70歳以上	593	72.3	42.3	23.3	20.9	16.9	25.3	9.6	6.4	2.5	4.6	

■問 25: 前回との比較

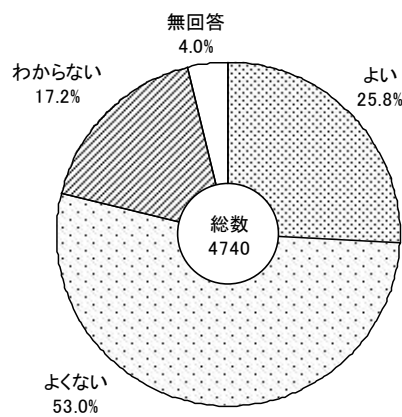
- 今回の調査で上位 5 位となった項目について前回と比較すると、「よく噛んで食べるようにする」を除いて、どの項目も割合が高まっています。
- 前回と今回の差を見ると、全体では「定期的
に歯石を取ってもらう」(4ポイント増)、「歯
ブラシのほかにデンタルフロス等を使う」(3
ポイント増)で高くなっています。
- 「よく噛んで食べるようにしている」を除き、男女とも前回より割合が高まっていますが、なかでも「口の中を自分で観察するようにしている」、「定期的
に歯石をとってもらう」、「歯
ブラシのほかにデンタルフロス等を使う」については、女性 40 歳代で目立って上昇しています。

(問 25 : 前回との比較－上位 5 項目)

		全体	男性計		女性計			
			40~49歳	50~59歳	40~49歳	50~59歳		
1日1回以上は歯を磨いている	今回	76.9	75.7	76.0	76.8	78.1	78.7	78.6
	前回	75.9	75.5	74.5	73.8	76.5	74.7	82.8
	今回－前回	1.0	0.2	1.5	3.0	1.6	4.0	-4.2
よく噛んで食べるようにしている	今回	27.3	24.0	5.7	18.2	29.9	18.7	24.5
	前回	29.4	27.3	18.6	20.5	31.2	17.8	32.6
	今回－前回	-2.1	-3.3	-12.9	-2.3	-1.3	0.9	-8.1
歯ブラシのほかにデンタルフロス等を使う	今回	25.7	18.1	25.1	24.3	31.5	43.4	38.0
	前回	23.1	17.2	24.8	19.7	28.0	37.4	33.5
	今回－前回	2.6	0.9	0.3	4.6	3.5	6.0	4.5
定期的 に歯石を取 ってもら う	今回	21.9	18.7	16.6	25.0	24.2	29.4	27.7
	前回	17.7	16.1	14.3	18.4	19.0	21.4	25.8
	今回－前回	4.2	2.6	2.3	6.6	5.2	8.0	1.9
口の中を自分 で観察す るように している	今回	19.2	19.5	12.6	14.3	24.2	31.1	25.1
	前回	18.9	13.6	11.8	13.5	23.5	21.0	28.0
	今回－前回	0.3	5.9	0.8	0.8	0.7	10.1	-2.9

③歯や口の状態

問26 自分の歯や口の状態について、どのように思っていますか。(○は1つだけ)



○「よい」が26%に対して、「よくない」は53%にのぼっており、よくないと感じている人は半数に達します。

■問26:属性別

○「よい」とする割合は男女とも10歳代で30%近くに達していますが、その後、年齢とともに割合が下がり、男性30歳代で14%、女性30歳代22%で最も低くなっています。

○男女とも40歳代以降で再び「よい」の割合が上昇し、男性は60歳代(31%)、女性70歳以上(28%)で最も高くなっています。

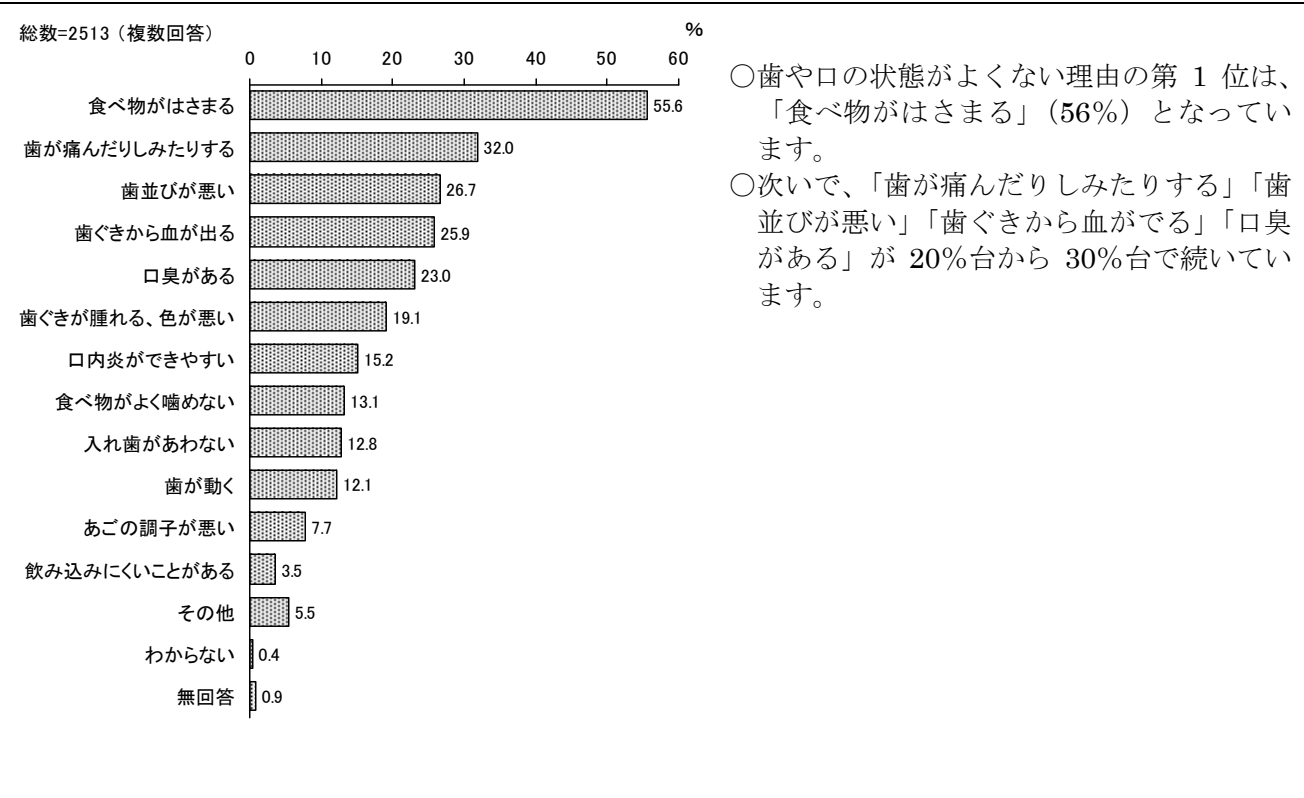
問26. 歯や口の状態について

単位:%(5%未満非表示)

	よい	よくない	わからない	無回答
全体(4740)	25.8	53.0	17.2	4.0
男性計(2002)	26.4	52.5	18.0	4.0
男性/15~19歳(157)	28.0	38.2	32.5	4.0
20~29歳(212)	18.9	47.6	33.5	4.0
30~39歳(186)	14.0	59.1	26.9	4.0
40~49歳(175)	25.1	52.0	21.7	4.0
50~59歳(280)	30.0	58.6	10.4	4.0
60~69歳(461)	31.2	56.6	10.6	4.0
70歳以上(531)	27.7	49.7	13.6	9.0
女性計(2575)	25.5	53.7	16.5	4.0
女性/15~19歳(210)	29.5	45.7	24.3	4.0
20~29歳(352)	27.3	53.7	18.8	4.0
30~39歳(307)	21.8	54.4	23.8	4.0
40~49歳(235)	22.6	59.6	17.4	4.0
50~59歳(379)	22.2	64.4	11.3	4.0
60~69歳(499)	25.9	58.5	13.2	4.0
70歳以上(593)	28.0	43.0	14.5	14.5

④歯や口の状態がよくない理由

問26-1 (問26で「2. よくない」とお答えの方に) その理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



■問26-1:属性別

- 〇「食べ物がはさまる」は歯周病が疑われる症状の一つですが、男女ともすでに10歳代で30%台に達し、男性では20歳代から50%を超える高い割合となり、60歳代で7割近くとなっています。また、女性でも30歳代から半数に近い48%となり、40~60歳代では60~70%の高い率となっています。
- 〇「歯が痛んだり、しみたりする」は、男性では20~60歳代までが30~40%台で比較的高い割合となっていますが、女性では10歳代、20歳代のほうが同性他世代よりも高く、40%台となっています。
- 〇「歯並びが悪い」は、女性10~40歳代で40%台にのぼり、とくに高くなっています。
- 〇「歯ぐきから血が出る」「口臭がある」「歯ぐきが腫れる、色が悪い」は、男性でやや高い傾向があります。また、「歯ぐきから血が出る」は男女とも10歳代ですでに30%以上の高い割合となっています。
- 〇「食べ物がよく噛めない」「入れ歯が合わない」は男性では40歳代から、女性では50歳代から急激に割合が高まり、「入れ歯が合わない」については、男女とも70歳以上において、第2位となっています。
- 〇「あごの調子が悪い」は男性では20歳代まで、女性では30歳代までで高くなっています。

(問 26-1 : 性別年代別)

	N=(実数)	食べ物がはさまる	歯が痛んだりしんだりする	歯並びが悪い	歯ぐきから血が出る	口臭がある	歯ぐきが腫れる、色が悪い	口内炎ができてやすい	食べ物がよく噛めない	入れ歯があわない	歯が動く
全体	2513	55.6	32.0	26.7	25.9	23.0	19.1	15.2	13.1	12.8	12.1
男性計	1051	55.1	34.1	23.8	27.0	26.4	19.4	13.4	14.6	15.2	14.3
男性/15～19歳	60	36.7	25.0	38.3	36.7	30.0	11.7	16.7	3.3	1.7	8.3
20～29歳	101	51.5	42.6	30.7	37.6	28.7	15.8	23.8	1.0	-	2.0
30～39歳	110	56.4	35.5	41.8	38.2	27.3	23.6	14.5	2.7	0.9	5.5
40～49歳	91	56.0	37.4	27.5	22.0	28.6	27.5	13.2	11.0	5.5	7.7
50～59歳	164	68.9	32.3	26.8	34.8	29.9	20.7	11.6	14.6	6.7	15.2
60～69歳	261	59.8	43.3	18.0	26.1	29.1	25.3	12.6	20.3	19.9	26.4
70歳以上	264	46.6	23.1	12.9	14.0	18.6	11.4	10.2	22.7	34.1	13.6
女性計	1383	55.5	30.0	29.1	24.9	20.5	18.7	16.4	11.6	11.0	10.3
女性/15～19歳	96	38.5	40.6	47.9	33.3	15.6	14.6	13.5	3.1	1.0	7.3
20～29歳	189	43.9	40.2	43.9	29.6	14.3	15.9	19.0	2.1	-	3.2
30～39歳	167	47.9	34.7	43.7	27.5	18.6	22.2	12.0	1.8	-	2.4
40～49歳	140	61.4	25.0	43.6	27.9	22.1	20.7	17.1	5.7	0.7	6.4
50～59歳	244	70.5	31.6	23.0	27.9	27.9	24.2	14.8	13.1	7.4	15.6
60～69歳	292	64.4	29.5	18.8	24.3	23.6	17.8	17.8	16.1	15.1	16.1
70歳以上	255	47.5	19.2	11.0	12.5	16.9	14.9	18.0	25.1	34.5	12.5

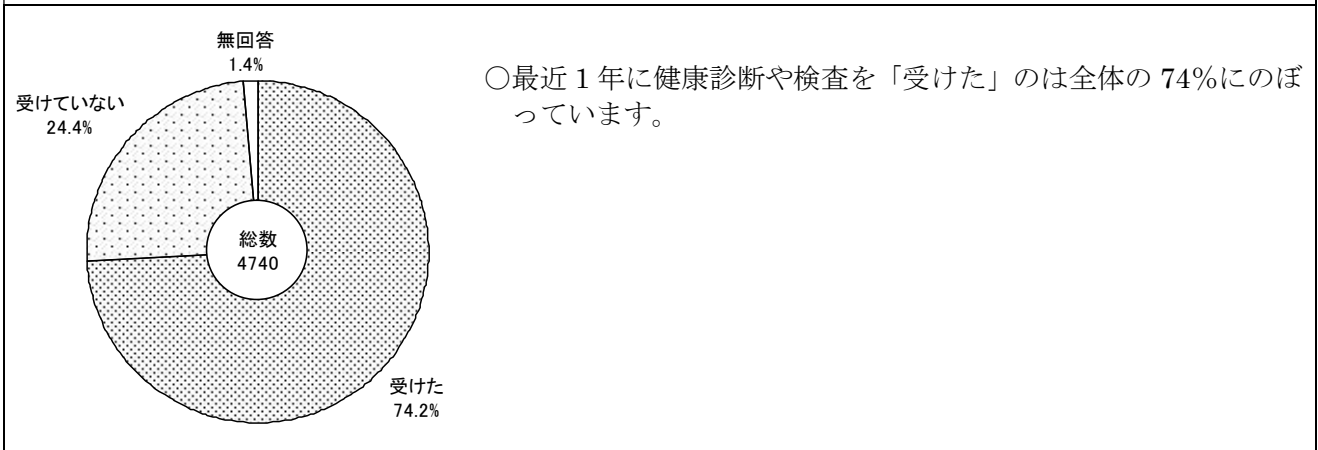
	あごの調子が悪い	飲み込みにくいことがある	その他	わからない
全体	7.7	3.5	5.5	0.4
男性計	6.0	3.2	4.7	0.5
男性/15～19歳	16.7	1.7	6.7	1.7
20～29歳	13.9	3.0	4.0	-
30～39歳	7.3	1.8	4.5	-
40～49歳	11.0	1.1	7.7	2.2
50～59歳	4.9	1.2	3.0	0.6
60～69歳	1.9	3.1	3.8	0.4
70歳以上	3.0	6.4	5.3	-
女性計	9.3	3.7	6.2	0.2
女性/15～19歳	16.7	3.1	6.3	-
20～29歳	16.4	2.1	9.5	-
30～39歳	15.0	1.2	7.8	1.2
40～49歳	10.0	1.4	7.1	-
50～59歳	10.7	4.5	3.3	-
60～69歳	3.4	4.1	6.5	-
70歳以上	2.4	6.7	4.7	0.4

注) 無回答は略

(8) 疾病予防・健康診断

①最近1年以内の健康診断や検査の受診状況

問27 あなたは、最近1年以内に、健康診断や検査を受けましたか。(○は1つだけ)



■問27:属性別

- 健診等を「受けた」割合は、10歳代においては、男性で68%、女性で77%となっています。
- 成人男性についてみると、40歳代、50歳代が85%で最も高く、20歳代が67%で最も低くなっています。
- 成人女性では30歳代が59%で最も低く、他世代は70~75%となっています。

問27. 健康診断や検査の受診について

単位:%(5%未満非表示)

	受けた	受けていない	無回答
全体(4740)	74.2		24.4
男性計(2002)	77.3		21.6
男性/15~19歳(157)	68.2		31.8
20~29歳(212)	66.5		33.5
30~39歳(186)	78.5		21.5
40~49歳(175)	85.1		14.9
50~59歳(280)	84.6		14.6
60~69歳(461)	79.0		20.6
70歳以上(531)	75.9		20.7
女性計(2575)	71.6		27.0
女性/15~19歳(210)	76.7		22.4
20~29歳(352)	71.0		29.0
30~39歳(307)	59.0		41.0
40~49歳(235)	71.9		28.1
50~59歳(379)	71.8		28.2
60~69歳(499)	73.1		25.7
70歳以上(593)	75.2		20.2

- 就労形態別に健診等を「受けた」割合を見ると、常勤就労で9割近い88%に達する一方、非常勤や自営業では65%前後にとどまっており、家事専従（64%）と同程度となっています。
- 生徒・学生では76%と比較的高くなっています。
- BMI別では、「やせ」の範囲の人で「受けた」割合が低くなっています。
- 居住区別では、健診等を「受けた」割合の高い区（桜区、浦和区、緑区で77%）とやや低い区（北区で71%）が見られますが、おおむね全体の傾向と同様となっています。

■問 27: 前回との比較(「受けた」の割合)

- 「受けた」の割合を前回と比較すると、全体では4ポイントの上昇となっています。
- 男性では10歳代、20歳代で低下する一方、50歳代で6ポイント、60歳代で5ポイントの上昇となっています。
- 女性では20歳代で15ポイント、30歳代と40歳代で10ポイント上昇しており、目立って向上しています。

(問 27：就労形態、BMI、居住区別)

	N=(実数)	受けた	受けていない
全体	4740	74.2	24.4
常勤就労	1147	87.8	12.1
非常勤就労	591	68.5	31.5
自営業	334	65.0	33.2
家事専従	806	64.1	34.7
生徒・学生	517	76.0	23.6
無職	1081	72.5	24.5
やせ	448	66.3	31.5
標準	3320	74.8	24.3
肥満	758	77.0	21.6
西区	335	74.0	24.5
北区	457	70.5	28.7
大宮区	455	73.2	25.3
見沼区	600	72.3	26.7
中央区	342	75.4	23.4
桜区	332	76.8	22.6
浦和区	638	76.8	21.5
南区	618	73.5	25.4
緑区	408	76.7	22.5
岩槻区	434	73.0	24.9

(問 27：前回との比較－「受けた」割合)

	今回	前回	今回－前回
全体	74.2	70.0	4.2
男性計	77.3	74.8	2.5
男性／15～19歳	68.2	70.0	-1.8
20～29歳	66.5	73.6	-7.1
30～39歳	78.5	76.1	2.4
40～49歳	85.1	82.6	2.5
50～59歳	84.6	78.3	6.3
60～69歳	79.0	74.2	4.8
70歳以上	75.9	70～79歳 74.8 80歳以上 65.9	—
女性計	71.6	66.0	5.6
女性／15～19歳	76.7	75.7	1.0
20～29歳	71.0	55.8	15.2
30～39歳	59.0	48.7	10.3
40～49歳	71.9	61.9	10.0
50～59歳	71.8	72.3	-0.5
60～69歳	73.1	69.2	3.9
70歳以上	75.2	70～79歳 75.1 80歳以上 70.1	—

注) 無回答は略

②受診場所

問27-1 (問27で「1. 受けた」とお答えの方に)では、次にあげる健康診断などをどこで受けましたか。ア～ケのそれぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

総数=3519

	学校	職場	健康診断等、 市が実施する	人間ドック等そ の他、個人的に	受けて いない	無回答
ア. 血液検査などの健康診査	9.5	26.7	31.0	22.4	2.2	8.2
イ. 胃がん	8.3	17.9	13.4	33.2		27.2
ウ. 肺がん	15.7	22.8	13.6	24.1		23.8
エ. 大腸がん	8.1	20.3	11.7	32.0		27.9
オ. 乳がん	3.0	13.8	10.3	39.6		33.3
カ. 子宮がん	3.0	12.7	11.5	37.2		35.7
キ. 歯科健診	7.2	5.6	22.3	30.6	2.6	31.7
ク. 結核検診	3.4	7.8	15.8	8.0	35.8	29.2

○最近1年以内になんらかの健診・検診を受けた人(回答者全体の74%)が利用した健診のメニューとしては、基本的な「健康診査」が90%(受診場所「学校」「職場」「市の実施する健診等」「個人的に」の割合の計)で最も多くなっています。

○「健康診査」を受けた場所は、「学校」が10%を占め、そのほかを「市の健診」(31%)、「職場」(27%)、「人間ドック等個人的に」(22%)の3つで分けています。

○がんの検診については、肺がんがもっとも「受けた」割合が高く、最近1年以内になんらかの健診・検診を受診した人の52%が肺がん検診を受けています。次いで、大腸がん、胃がんが40%で続き、女性のがんである乳がん、子宮がんはそれぞれ27%となっています。

○各種のがんの検診場所を見ると、肺がんを除いて、いずれも「市の検診」、「個人的に」、「職場」の順に利用率が高くなっています。

○歯科健診は「個人的に」が最も多く22%、結核検診は市の検診が16%で高くなっています。

■問 27-1: 属性別

ア. 健康診査

○性別年代別に見ると、生徒・学生を多く含む10歳代、20歳代では「学校」が、20～50歳代では「職場」が多くなっています。また、男性では60歳代以上、女性では30歳代以降から「市の実施する」機会を利用する割合が高まっています。

(問 27-1 ア. 健康診査：性別年代別)

※構成比の基数 (N)は、問 27 で最近1年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

ア. 健康診査	N= (実数) ※1	受診場所				受診者の 計	(健康診 査は) 受けて いない	無回答
		学校	職場	(健康診査 等)市が 実施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
全体	3519	9.5	26.7	31.0	22.4	89.6	2.2	8.2
男性計	1547	8.7	34.5	25.5	22.7	91.4	1.6	7.0
男性/15～19歳	107	76.6	2.8	-	2.8	82.2	11.2	6.5
20～29歳	141	35.5	51.8	2.1	6.4	95.8	4.3	-
30～39歳	146	0.7	84.9	4.1	7.5	97.2	-	2.7
40～49歳	149	-	71.1	5.4	21.5	98.0	-	2.0
50～59歳	237	0.4	62.4	9.3	24.5	96.6	-	3.4
60～69歳	364	0.3	18.4	39.0	32.4	90.1	1.4	8.5
70歳以上	403	-	3.0	53.1	29.8	85.9	0.2	13.9
女性計	1844	10.5	20.5	35.1	22.2	88.3	2.9	8.8
女性/15～19歳	161	77.6	2.5	0.6	4.3	85.0	11.2	3.7
20～29歳	250	24.8	50.4	7.6	10.4	93.2	6.0	0.8
30～39歳	181	0.6	38.7	32.6	21.0	92.9	3.9	3.3
40～49歳	169	0.6	37.9	27.2	27.2	92.9	1.8	5.3
50～59歳	272	0.4	31.3	33.8	27.2	92.7	0.7	6.6
60～69歳	365	0.8	6.6	54.5	27.4	89.3	1.1	9.6
70歳以上	446	-	1.1	51.8	26.7	79.6	0.9	19.5

(問 27-1 参考値 ア. 健康診査：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数 (N)は、本調査の回答者全体である。

ア. 健康診査	N= (実数) ※2	受診場所				受診者の 計	受けてい ない	無回答
		学校	職場	(健康診査 等)市が 実施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
全体	4740	7.0	19.8	23.0	16.6	66.5	26.1	7.4
男性計	2002	6.7	26.6	19.7	17.5	70.6	22.8	6.5
男性/15～19歳	157	52.2	1.9	-	1.9	56.1	39.5	4.5
20～29歳	212	23.6	34.4	1.4	4.2	63.7	36.3	-
30～39歳	186	0.5	66.7	3.2	5.9	76.3	21.5	2.2
40～49歳	175	-	60.6	4.6	18.3	83.4	14.9	1.7
50～59歳	280	0.4	52.9	7.9	20.7	81.8	14.6	3.6
60～69歳	461	0.2	14.5	30.8	25.6	71.1	21.7	7.2
70歳以上	531	-	2.3	40.3	22.6	65.2	20.9	13.9
女性計	2575	7.5	14.7	25.1	15.9	63.2	29.1	7.7
女性/15～19歳	210	59.5	1.9	0.5	3.3	65.2	31.0	3.8
20～29歳	352	17.6	35.8	5.4	7.4	66.2	33.2	0.6
30～39歳	307	0.3	22.8	19.2	12.4	54.7	43.3	2.0
40～49歳	235	0.4	27.2	19.6	19.6	66.8	29.4	3.8
50～59歳	379	0.3	22.4	24.3	19.5	66.5	28.8	4.7
60～69歳	499	0.6	4.8	39.9	20.0	65.3	26.5	8.2
70歳以上	593	-	0.8	39.0	20.1	59.9	20.9	19.2

イ. 胃がん

○男女とも 30 歳代までは検診を「受けた」割合が 2 割を下回っていますが、40 歳代から急増し、男性では 50 歳代が最も高く 64%、女性では 50～60 歳代で最も高く 52%となっています。

○男性の 30～40 歳代では「職場」での検診が 30%を超えて最も多く、退職者の多い 60 歳代以降では、職場にかわって「市が実施する」検診の利用が最も多くなっています。女性では 40 歳代で「職場」が多くなっていますが、50 歳代では「個人的に」、60 歳代以降では「市が実施する」検診の割合が高くなっています。

(問 27-1 イ. 胃がん：性別年代別)

※構成比の基数 (N)は、問 27 で最近 1 年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

イ. 胃がん	N= (実数) ※1	受診場所			受診者の 計	(胃がん 検診は) 受けてい ない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が実 施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
全体	3519	8.3	17.9	13.4	39.6	33.2	27.2
男性計	1547	13.3	17.1	15.2	45.6	29.0	25.5
男性/15～19 歳	107	-	-	-	0.0	50.5	49.5
20～29 歳	141	2.1	0.7	-	2.8	76.6	20.6
30～39 歳	146	15.1	0.7	2.1	17.9	71.9	10.3
40～49 歳	149	38.9	4.0	20.1	63.0	28.2	8.7
50～59 歳	237	33.3	6.8	24.1	64.2	20.3	15.6
60～69 歳	364	9.3	28.3	21.7	59.3	14.6	26.1
70 歳以上	403	2.2	34.2	16.4	52.8	9.4	37.7
女性計	1844	4.3	18.0	11.7	34.0	37.5	28.5
女性/15～19 歳	161	-	0.6	-	0.6	67.1	32.3
20～29 歳	250	4.0	0.4	0.4	4.8	80.8	14.4
30～39 歳	181	6.1	2.2	9.9	18.2	64.6	17.1
40～49 歳	169	14.2	14.2	17.8	46.2	36.7	17.2
50～59 歳	272	9.6	19.5	22.4	51.5	28.3	20.2
60～69 歳	365	1.9	31.5	18.1	51.5	17.8	30.7
70 歳以上	446	0.2	29.8	9.0	39.0	13.7	47.3

(問 27-1 参考値 イ. 胃がん：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数 (N)は、本調査の回答者全体である。

イ. 胃がん	N= (実数) ※2	受診場所			受診者の 計	受けてい ない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が実 施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
全体	4740	6.2	13.3	10.0	29.4	49.1	21.5
男性計	2002	10.2	13.2	11.7	35.2	44.0	20.8
男性/15～19 歳	157	-	-	-	0.0	66.2	33.8
20～29 歳	212	1.4	0.5	-	1.9	84.4	13.7
30～39 歳	186	11.8	0.5	1.6	14.0	78.0	8.1
40～49 歳	175	33.1	3.4	17.1	53.7	38.9	7.4
50～59 歳	280	28.2	5.7	20.4	54.3	31.8	13.9
60～69 歳	461	7.4	22.3	17.1	46.9	32.1	21.0
70 歳以上	531	1.7	26.0	12.4	40.1	27.9	32.0
女性計	2575	3.1	12.9	8.4	24.3	53.9	21.8
女性/15～19 歳	210	-	0.5	-	0.5	73.8	25.7
20～29 歳	352	2.8	0.3	0.3	3.4	86.4	10.2
30～39 歳	307	3.6	1.3	5.9	10.7	79.2	10.1
40～49 歳	235	10.2	10.2	12.8	33.2	54.5	12.3
50～59 歳	379	6.9	14.0	16.1	36.9	48.5	14.5
60～69 歳	499	1.4	23.0	13.2	37.7	38.7	23.6
70 歳以上	593	0.2	22.4	6.7	29.3	30.5	40.1

ウ. 肺がん

○肺がん検診を「受けた」割合は全体で52%で、他のがん検診よりも高くなっています。

○とくに、男性の40歳代、50歳代で70%を超えて高くなっています。また、50歳代までは職場が多くなっていますが、60歳代以降は「市が実施する」検診の利用が30%を超え、目立って高くなっています。

○女性の受診率は50歳代で70%、40歳代、60歳代でも60%を超えて高くなっています。40～50歳代は「職場」と「個人的に」がほぼ同程度となっていますが、60歳代以降は「市が実施する」検診の利用が40%前後と顕著に高くなっています。

(問 27-1 ウ. 肺がん：性別年代別)

※構成比の基数(N)は、問 27 で最近1年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

ウ. 肺がん	N=(実数) ※1	受診場所			受診者の計	(肺がん検診は)受けていない	無回答
		職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	3519	15.7	22.8	13.6	52.1	24.1	23.8
男性計	1547	22.0	20.5	14.9	57.4	20.1	22.5
男性/15～19歳	107	0.9	-	-	0.9	49.5	49.5
20～29歳	141	21.3	3.5	0.7	25.5	56.0	18.4
30～39歳	146	40.4	0.7	2.7	43.8	44.5	11.6
40～49歳	149	53.7	4.0	18.8	76.5	16.8	6.7
50～59歳	237	47.7	8.0	21.1	76.8	11.8	11.4
60～69歳	364	13.2	33.5	21.2	67.9	11.0	21.2
70歳以上	403	2.2	40.7	17.6	60.5	5.2	34.2
女性計	1844	10.6	24.6	12.4	47.6	28.0	24.4
女性/15～19歳	161	0.6	1.2	0.6	2.4	65.2	32.3
20～29歳	250	19.2	1.2	3.6	24.0	62.0	14.0
30～39歳	181	15.5	8.3	9.4	33.2	53.6	13.3
40～49歳	169	21.9	21.3	20.1	63.3	23.7	13.0
50～59歳	272	22.8	26.5	20.2	69.5	15.4	15.1
60～69歳	365	4.7	41.6	16.4	62.7	11.8	25.5
70歳以上	446	0.7	39.0	11.7	51.4	7.6	41.0

(問 27-1 参考値 ウ. 肺がん：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数(N)は、本調査の回答者全体である。

ウ. 肺がん	N=(実数) ※2	受診場所			受診者の計	受けていない	無回答
		職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	4740	11.6	16.9	10.1	38.7	42.3	19.1
男性計	2002	17.0	15.8	11.5	44.4	37.2	18.5
男性/15～19歳	157	0.6	-	-	0.6	65.6	33.8
20～29歳	212	14.2	2.4	0.5	17.0	70.8	12.3
30～39歳	186	31.7	0.5	2.2	34.4	56.5	9.1
40～49歳	175	45.7	3.4	16.0	65.1	29.1	5.7
50～59歳	280	40.4	6.8	17.9	65.0	24.6	10.4
60～69歳	461	10.4	26.5	16.7	53.6	29.3	17.1
70歳以上	531	1.7	30.9	13.4	46.0	24.7	29.4
女性計	2575	7.6	17.6	8.9	34.1	47.1	18.8
女性/15～19歳	210	0.5	1.0	0.5	1.9	72.4	25.7
20～29歳	352	13.6	0.9	2.6	17.0	73.0	9.9
30～39歳	307	9.1	4.9	5.5	19.5	72.6	7.8
40～49歳	235	15.7	15.3	14.5	45.5	45.1	9.4
50～59歳	379	16.4	19.0	14.5	49.9	39.3	10.8
60～69歳	499	3.4	30.5	12.0	45.9	34.3	19.8
70歳以上	593	0.5	29.3	8.8	38.6	26.0	35.4

エ. 大腸がん

○大腸がん検診を「受けた」割合は全体で 40%となっています。

○男性で「受けた」割合は、他の検診項目と同様、40 歳代から高まり、50 歳代で 60%を超えて高くなっています。また、50 歳代までは職場が多くなっていますが、60 歳代以降は「市が実施する」検診の利用が 30%前後と高くなっています。

○女性で「受けた」割合は 40 歳代以降、とくに 50～60 歳代で高くなっています。受診場所を見ると「個人的に」の割合が 40～50 歳代で全体よりも高くなっており、60 歳代以上では「市が実施する」検診の利用が 40%前後と高くなっています。

(問 27-1 エ. 大腸がん：性別年代別)

※構成比の基数 (N)は、問 27 で最近 1 年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

エ. 大腸がん	N=(実数) ※1	受診場所			受診者の計	(大腸がん 検診は) 受けて いない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が実 施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
全体	3519	8.1	20.3	11.7	40.1	32.0	27.9
男性計	1547	12.5	17.7	13.2	43.4	27.7	28.9
男性/15～19 歳	107	0.9	-	-	0.9	49.5	49.5
20～29 歳	141	3.5	-	0.7	4.2	73.0	22.7
30～39 歳	146	17.8	0.7	3.4	21.9	65.1	13.0
40～49 歳	149	29.5	4.0	19.5	53.0	33.6	13.4
50～59 歳	237	32.9	6.3	22.4	61.6	20.3	18.1
60～69 歳	364	9.3	29.7	18.1	57.1	14.0	28.8
70 歳以上	403	1.5	35.7	12.4	49.6	6.9	43.4
女性計	1844	4.5	22.3	10.4	37.2	36.2	26.7
女性/15～19 歳	161	-	0.6	-	0.6	65.8	33.5
20～29 歳	250	3.2	0.4	1.6	5.2	79.2	15.6
30～39 歳	181	6.6	3.3	8.8	18.7	66.3	14.9
40～49 歳	169	14.8	17.8	18.9	51.5	34.9	13.6
50～59 歳	272	11.8	25.7	18.4	55.9	25.7	18.4
60～69 歳	365	1.4	40.0	14.2	55.6	15.9	28.5
70 歳以上	446	0.2	35.2	8.3	43.7	12.6	43.7

(問 27-1 参考値 エ. 大腸がん：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数 (N)は、本調査の回答者全体である。

エ. 大腸がん	N=(実数) ※2	受診場所			受診者の計	受けて いない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が実 施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
全体	4740	6.0	15.1	8.7	29.8	48.1	22.1
男性計	2002	9.7	13.7	10.2	33.6	43.0	23.4
男性/15～19 歳	157	0.6	-	-	0.6	65.6	33.8
20～29 歳	212	2.4	-	0.5	2.8	82.1	15.1
30～39 歳	186	14.0	0.5	2.7	17.2	72.6	10.2
40～49 歳	175	25.1	3.4	16.6	45.1	43.4	11.4
50～59 歳	280	27.9	5.4	18.9	52.1	31.8	16.1
60～69 歳	461	7.4	23.4	14.3	45.1	31.7	23.2
70 歳以上	531	1.1	27.1	9.4	37.7	26.0	36.3
女性計	2575	3.2	16.0	7.4	26.6	52.9	20.5
女性/15～19 歳	210	-	0.5	-	0.5	72.9	26.7
20～29 歳	352	2.3	0.3	1.1	3.7	85.2	11.1
30～39 歳	307	3.9	2.0	5.2	11.1	80.1	8.8
40～49 歳	235	10.6	12.8	13.6	37.0	53.2	9.8
50～59 歳	379	8.4	18.5	13.2	40.1	46.7	13.2
60～69 歳	499	1.0	29.3	10.4	40.7	37.3	22.0
70 歳以上	593	0.2	26.5	6.2	32.9	29.7	37.4

オ. 乳がん

○乳がん検診を「受けた」割合は 27%（女性全体）で、胃がんや肺がん、大腸がんよりも低くなっています。

○年代別に見ると、30 歳代から「受けた」割合が急増し、50 歳代で 45%と最も高くなっています。

（問 27-1 オ. 乳がん：性別年代別）

※構成比の基数（N）は、問 27 で最近 1 年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

オ. 乳がん	N= (実数) ※1	受診場所			受診者の 計	(乳がん 検診は) 受けて いない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が実 施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
女性計	1844	3.0	13.8	10.2	27.0	39.6	33.4
女性/15～19 歳	161	-	-	-	-	67.1	32.9
20～29 歳	250	2.4	0.4	2.8	5.6	79.2	15.2
30～39 歳	181	8.3	18.2	12.7	39.2	50.8	9.9
40～49 歳	169	8.9	13.6	21.9	44.4	39.1	16.6
50～59 歳	272	5.9	18.8	20.6	45.3	32.7	22.1
60～69 歳	365	1.1	23.6	12.9	37.6	25.2	37.3
70 歳以上	446	-	13.7	4.0	17.7	19.1	63.2

（問 27-1 参考値 オ. 乳がん：性別年代別—全回答者数に対する割合）

※構成比の基数（N）は、本調査の回答者全体である。

オ. 乳がん	N= (実数) ※2	受診場所			受診者の 計	受けて いない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が実 施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
女性計	2575	2.2	9.9	7.3	19.4	55.4	25.2
女性/15～19 歳	210	-	-	-	0.0	73.8	26.2
20～29 歳	352	1.7	0.3	2.0	4.0	85.2	10.8
30～39 歳	307	4.9	10.7	7.5	23.1	71.0	5.9
40～49 歳	235	6.4	9.8	15.7	31.9	56.2	11.9
50～59 歳	379	4.2	13.5	14.8	32.5	51.7	15.8
60～69 歳	499	0.8	17.2	9.4	27.5	44.1	28.5
70 歳以上	593	-	10.3	3.0	13.3	34.6	52.1

カ. 子宮がん

○子宮がん検診を「受けた」割合は27%（女性全体）で、乳がんと同程度となっています。

○年代別に見ると、30歳代から「受けた」割合が急増し、30～40歳代では半数以上となっています。

（問 27-1 カ. 子宮がん：性別年代別）

※構成比の基数（N）は、問 27 で最近1年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

カ. 子宮がん	N= (実数) ※1	受診場所			受診者の 計	(子宮がん 検診は) 受けて いない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が 実施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
女性計	1844	3.0	12.5	11.4	26.9	37.2	35.8
女性/15～19歳	161	-	-	1.2	1.2	65.2	33.5
20～29歳	250	3.2	4.0	8.4	15.6	70.4	14.0
30～39歳	181	7.7	29.3	18.2	55.2	37.0	7.7
40～49歳	169	7.1	20.1	24.9	52.1	32.5	15.4
50～59歳	272	6.3	17.3	19.9	43.5	32.7	23.9
60～69歳	365	1.4	15.9	11.8	29.1	27.7	43.3
70歳以上	446	-	6.5	3.6	10.1	20.9	69.1

（問 27-1 参考値 カ. 子宮がん：性別年代別—全回答者数に対する割合）

※構成比の基数（N）は、本調査の回答者全体である。

カ. 子宮がん	N= (実数) ※2	受診場所			受診者の 計	受けて いない	無回答
		職場	(健康診査 等)市が 実施する	(人間ドック 等その他) 個人的に			
女性計	2575	2.2	9.0	8.2	19.3	53.7	27.0
女性/15～19歳	210	-	-	1.0	1.0	72.4	26.7
20～29歳	352	2.3	2.8	6.0	11.1	79.0	9.9
30～39歳	307	4.6	17.3	10.7	32.6	62.9	4.6
40～49歳	235	5.1	14.5	17.9	37.4	51.5	11.1
50～59歳	379	4.5	12.4	14.2	31.1	51.7	17.2
60～69歳	499	1.0	11.6	8.6	21.2	45.9	32.9
70歳以上	593	-	4.9	2.7	7.6	35.9	56.5

キ. 歯科健診

○歯科検診については10歳代では学校で「受けた」割合が男女とも7割を超えています。20歳代で「受けていない」が急増し、以降、男女とも50歳代まで「受けていない」とする割合が全体を上回る高い率になっています。

○受けた場所としては、男女とも「個人的に」の占める割合が高くなっていますが、男性30～50歳代では「職場」の割合が全体よりも高くなっています。

(問 27-1 キ. 歯科健診：性別年代別)

※構成比の基数(N)は、問 27 で最近1年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

キ. 歯科健診	N=(実数) ※1	受診場所				受診者の計	(歯科健診は)受けていない	無回答
		学校	職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	3519	7.2	2.6	5.6	22.3	37.7	30.6	31.7
男性計	1547	6.7	4.1	4.3	18.9	34.0	32.3	33.8
男性/15～19歳	107	78.5	0.9	-	1.9	81.3	9.3	9.3
20～29歳	141	13.5	3.5	0.7	9.2	26.9	61.7	11.3
30～39歳	146	-	12.3	0.7	15.1	28.1	57.5	14.4
40～49歳	149	-	8.7	0.7	20.8	30.2	55.0	14.8
50～59歳	237	-	8.0	2.5	22.8	33.3	37.6	29.1
60～69歳	364	-	1.6	6.0	25.5	33.1	27.7	39.0
70歳以上	403	-	0.5	8.7	19.1	28.3	11.4	60.3
女性計	1844	7.8	1.5	6.2	25.2	40.7	29.5	29.8
女性/15～19歳	161	73.9	0.6	-	8.1	82.6	11.2	6.2
20～29歳	250	9.2	4.4	0.4	20.4	34.4	57.6	8.0
30～39歳	181	-	3.9	3.9	31.5	39.3	47.5	13.3
40～49歳	169	-	2.4	7.1	29.6	39.1	43.8	17.2
50～59歳	272	-	0.7	6.3	34.2	41.2	35.3	23.5
60～69歳	365	0.3	0.3	8.8	31.2	40.6	17.8	41.6
70歳以上	446	0.2	0.2	10.3	19.5	30.2	13.7	56.1

(問 27-1 参考値 キ. 歯科健診：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数(N)は、本調査の回答者全体である。

キ. 歯科健診	N=(実数) ※2	受診場所				受診者の計	受けていない	無回答
		学校	職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	4740	5.3	2.0	4.1	16.5	28.0	47.1	24.9
男性計	2002	-	3.2	3.3	14.6	21.1	46.6	27.2
男性/15～19歳	157	53.5	0.6	-	1.3	55.4	38.2	6.4
20～29歳	212	9.0	2.4	0.5	6.1	17.9	74.5	7.5
30～39歳	186	-	9.7	0.5	11.8	22.0	66.7	11.3
40～49歳	175	-	7.4	0.6	17.7	25.7	61.7	12.6
50～59歳	280	-	6.8	2.1	19.3	28.2	46.4	25.4
60～69歳	461	-	1.3	4.8	20.2	26.2	42.5	31.2
70歳以上	531	-	0.4	6.6	14.5	21.5	29.4	49.2
女性計	2575	5.6	1.0	4.5	18.1	29.2	48.2	22.7
女性/15～19歳	210	56.7	0.5	-	6.2	63.3	31.0	5.7
20～29歳	352	6.5	3.1	0.3	14.5	24.4	69.9	5.7
30～39歳	307	-	2.3	2.3	18.6	23.1	69.1	7.8
40～49歳	235	-	1.7	5.1	21.3	28.1	59.6	12.3
50～59歳	379	-	0.5	4.5	24.5	29.6	53.6	16.9
60～69歳	499	0.2	0.2	6.4	22.8	29.7	38.7	31.7
70歳以上	593	0.2	0.2	7.8	14.7	22.8	30.5	46.7

ク. 結核

○結核については、男女とも 40 歳代までは「受けていない」が高くなっています。

○受けている場合、男女とも 10～20 歳代では学校が多く、男性 30～50 歳代は「職場」、女性 30～50 歳代は「職場」および「市の実施する」検診、男女とも 60 歳代以上は「市の実施する」検診を利用した受診が多くなっています。

(問 27-1 ク. 結核：性別年代別)

※構成比の基数 (N)は、問 27 で最近 1 年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

ク. 結核	N=(実数) ※1	受診場所				受診者の計	(結核検診は)受けていない	無回答
		学校	職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	3519	3.4	7.8	15.8	8.0	35.0	35.8	29.2
男性計	1547	3.3	9.0	13.4	8.7	34.4	36.0	29.5
男性/15～19 歳	107	35.5	1.9	-	0.9	38.3	43.0	18.7
20～29 歳	141	9.2	7.1	0.7	0.7	17.7	71.6	10.6
30～39 歳	146	-	10.3	-	1.4	11.7	76.7	11.6
40～49 歳	149	-	18.8	1.3	10.7	30.8	57.0	12.1
50～59 歳	237	-	19.4	4.2	11.0	34.6	39.2	26.2
60～69 歳	364	-	9.3	21.4	14.3	45.0	22.0	33.0
70 歳以上	403	-	1.2	29.0	8.9	39.1	9.9	50.9
女性計	1844	3.6	6.8	17.5	7.6	35.5	36.2	28.3
女性/15～19 歳	161	24.8	0.6	1.2	-	26.6	55.9	17.4
20～29 歳	250	10.4	9.6	1.6	1.2	22.8	68.8	8.4
30～39 歳	181	-	9.9	11.6	4.4	25.9	62.4	11.6
40～49 歳	169	-	13.0	11.8	9.5	34.3	48.5	17.2
50～59 歳	272	-	16.2	18.8	11.0	46.0	32.4	21.7
60～69 歳	365	-	4.4	31.8	12.3	48.5	17.3	34.2
70 歳以上	446	-	-	24.4	8.7	33.1	13.5	53.4

(問 27-1 参考値 ク. 結核：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数 (N)は、本調査の回答者全体である。

ク. 結核	N=(実数) ※2	受診場所				受診者の計	受けていない	無回答
		学校	職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	4740	2.5	5.8	11.7	6.0	26.0	51.0	23.0
男性計	2002	3.1	7.0	10.4	6.7	27.1	49.5	23.9
男性/15～19 歳	157	24.2	1.3	-	0.6	26.1	61.1	12.7
20～29 歳	212	6.1	4.7	0.5	0.5	11.8	81.1	7.1
30～39 歳	186	-	8.1	-	1.1	9.1	81.7	9.1
40～49 歳	175	-	16.0	1.1	9.1	26.3	63.4	10.3
50～59 歳	280	-	16.4	3.6	9.3	29.3	47.9	22.9
60～69 歳	461	-	7.4	16.9	11.3	35.6	38.0	26.5
70 歳以上	531	-	0.9	22.0	6.8	29.8	28.2	42.0
女性計	2575	2.6	4.9	12.5	5.5	25.4	53.0	21.6
女性/15～19 歳	210	19.0	0.5	1.0	-	20.5	65.2	14.3
20～29 歳	352	7.4	6.8	1.1	0.9	16.2	77.8	6.0
30～39 歳	307	-	5.9	6.8	2.6	15.3	77.9	6.8
40～49 歳	235	-	9.4	8.5	6.8	24.7	63.0	12.3
50～59 歳	379	-	11.6	13.5	7.9	33.0	51.5	15.6
60～69 歳	499	-	3.2	23.2	9.0	35.5	38.3	26.3
70 歳以上	593	-	-	18.4	6.6	25.0	30.4	44.7

ケ. 骨粗しょう症

○骨粗しょう症は閉経後の女性でとくに危険の高い疾病であることから、50歳代以上の女性で「受けた」割合が高くなっています。検診場所としては、「市の実施する」検診を利用する割合が最も高くなっていますが、50歳代以上では「個人的に」受けた割合も他世代より高くなっています。男性では「市の実施する」検診が大半を占めています。

(問 27-1 ケ. 骨粗しょう症：性別年代別)

※構成比の基数 (N)は、問 27 で最近 1 年以内になんらかの健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

ケ. 骨粗しょう症	N=(実数) ※1	受診場所			受診者の計	(骨粗しょう症検診は)受けていない	無回答
		職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	3519	1.4	20.5	7.8	29.7	41.1	29.1
男性計	1547	1.4	13.9	4.3	19.6	44.9	35.4
男性/15~19歳	107	-	-	-	0.0	48.6	51.4
20~29歳	141	-	0.7	0.7	1.4	76.6	22.0
30~39歳	146	2.1	-	1.4	3.5	84.2	12.3
40~49歳	149	4.0	1.3	3.4	8.7	70.5	20.8
50~59歳	237	3.0	4.6	4.2	11.8	58.2	30.0
60~69歳	364	0.8	22.5	6.3	29.6	31.6	38.7
70歳以上	403	0.7	29.5	6.5	36.7	13.4	49.9
女性計	1844	1.4	26.1	10.7	38.2	38.4	23.4
女性/15~19歳	161	-	0.6	-	0.6	66.5	32.9
20~29歳	250	2.8	3.6	3.2	9.6	76.4	14.0
30~39歳	181	1.7	23.2	3.3	28.2	62.4	9.4
40~49歳	169	1.2	18.9	7.7	27.8	54.4	17.8
50~59歳	272	3.7	27.6	16.2	47.5	37.1	15.4
60~69歳	365	0.8	43.3	14.5	58.6	15.6	25.8
70歳以上	446	0.2	36.8	16.4	53.4	10.5	36.1

(問 27-1 参考値 ケ. 骨粗しょう症：性別年代別—全回答者数に対する割合)

※構成比の基数 (N)は、本調査の回答者全体である。

ケ. 骨粗しょう症	N=(実数) ※2	受診場所			受診者の計	受けていない	無回答
		職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に			
全体	4740	1.1	15.3	5.8	22.1	54.9	23.0
男性計	2002	1.1	10.7	3.3	15.2	56.3	28.5
男性/15~19歳	157	-	-	-	0.0	65.0	35.0
20~29歳	212	-	0.5	0.5	0.9	84.4	14.6
30~39歳	186	1.6	-	1.1	2.7	87.6	9.7
40~49歳	175	3.4	1.1	2.9	7.4	74.9	17.7
50~59歳	280	2.5	3.9	3.6	10.0	63.9	26.1
60~69歳	461	0.7	17.8	5.0	23.4	45.6	31.0
70歳以上	531	0.6	22.4	4.9	27.9	30.9	41.2
女性計	2575	1.0	18.7	7.7	27.3	54.5	18.1
女性/15~19歳	210	-	0.5	-	0.5	73.3	26.2
20~29歳	352	2.0	2.6	2.3	6.8	83.2	9.9
30~39歳	307	1.0	13.7	2.0	16.6	77.9	5.5
40~49歳	235	0.9	13.6	5.5	20.0	67.2	12.8
50~59歳	379	2.6	19.8	11.6	34.0	54.9	11.1
60~69歳	499	0.6	31.7	10.6	42.9	37.1	20.0
70歳以上	593	0.2	27.7	12.3	40.1	28.2	31.7

■問 27-1: 前回との比較

- 受診場所を前回と比較すると、「市が実施する」健診等はいずれも利用率が高まっており、とくに、骨粗しょう症、乳がんなどで増加幅が大きくなっています。反対に、「個人的に」の割合は歯科健診を除いて減少しており、「職場」については、わずかな数値の異同はありますが、前回と同程度の利用率となっています。
- これらの受診場所の利用を合計した合計は、健康診査、胃がん、肺がんについては減少、他の項目では増加となっています。

(問 27-1 : 前回との比較－受診している場合の受診場所)

		学校	職場	(健康診査等)市が実施する	(人間ドック等その他)個人的に	合計
健康診査	今回	9.5	26.7	31.0	22.4	89.6
	前回	9.2	28.7	26.4	27.5	91.8
	今回－前回	0.3	-2.0	4.6	-5.1	-2.2
胃がん	今回	—	8.3	17.9	13.4	39.6
	前回	—	9.3	16.9	16.1	42.3
	今回－前回	—	-1.0	1.0	-2.7	-2.7
肺がん	今回	—	15.7	22.8	13.6	52.1
	前回	—	16.8	20.4	16.8	54.0
	今回－前回	—	-1.1	2.4	-3.2	-1.9
大腸がん	今回	—	8.1	20.3	11.7	40.1
	前回	—	8.8	18.4	14.2	41.4
	今回－前回	—	-0.7	1.9	-2.5	-1.3
乳がん	今回	—	3.0	13.8	10.2	27.0
	前回	—	2.5	8.7	14.4	25.6
	今回－前回	—	0.5	5.1	-4.1	1.5
子宮がん	今回	—	3.0	12.5	11.4	26.9
	前回	—	2.3	8.7	14.4	25.4
	今回－前回	—	0.7	4.0	-2.9	1.8
歯科健診	今回	7.2	2.6	5.6	22.3	37.7
	前回	5.6	3.0	3.9	20.5	33.0
	今回－前回	1.6	-0.4	1.7	1.8	4.7
結核	今回	3.4	7.8	15.8	8.0	35.0
	前回	2.6	8.1	11.7	9.6	32.0
	今回－前回	0.8	-0.3	4.1	-1.6	3.0
骨粗しょう症	今回	—	1.4	20.5	7.8	29.7
	前回	—	1.1	6.5	9.0	16.6
	今回－前回	—	0.3	14.0	-1.2	13.1

③生活習慣病についての指摘

問27-2 (問27で「1. 受けた」とお答えの方に) 次にあげるア~カのような指摘を受けたことがありますか。また、指摘を受けたことが「ある」方は、その指摘をされた後、どのようにされたかをお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

問27-2. 健康診断での指摘内容

総数=3519

単位:%(5%未満非表示)

	ある	ない	わからない	無回答
ア. 血糖値が高い	14.7	65.4	4.9	15.0
イ. 血圧が高い	27.3	58.2	2.3	12.2
ウ. コレステロールや中性脂肪が高い	32.5	49.9	4.9	12.7
エ. 骨粗しょう症	10.2	55.4	16.1	18.3
オ. ふとりすぎ	19.8	60.2	3.3	16.8
カ. その他	11.6	33.2	2.9	52.3

問27-2. 健康診断での指摘後

単位:%(5%未満非表示)

	精密検査 や再検査	食事や生活 などの指導	治療を した	自分の健康に 気をつける	その他	何もしな かった	無回答
ア. 血糖値が高い(517)	17.4	20.5	16.1	15.7	6.6	21.7	
イ. 血圧が高い(961)	10.9	9.6	38.7	13.3	22.7		
ウ. コレステロールや中性脂肪が高い(1145)	9.9	21.3	16.2	24.0	8.0	18.8	
エ. 骨粗しょう症(359)	17.8	13.1	22.3	17.3	6.1	22.3	
オ. ふとりすぎ(697)	3.3	27.7	1.7	38.5	12.2	15.9	
カ. その他(409)	33.7	6.8	20.8	11.5	5.1	18.3	

- 健診での指摘内容としては、「コレステロールや中性脂肪が高い」(33%)が最も多く、3人にひとりが指摘を受けています。次いで、「血圧が高い」も27%で4人にひとりの割合となっています。
- 「ふとりすぎ」は20%、「血糖値が高い」は15%、骨粗しょう症は最も低く10%となっています。
- 指摘後の行動として、「骨粗しょう症」と「血圧」では「精密検査や再検査を受けた」、「治療をした」の割合が高く、「ふとりすぎ」「コレステロールや中性脂肪が高い」「血糖値が高い」では、「食事や生活などの指導を受けた」、「自分の健康に気をつけるようにした」の割合が高い傾向があります。
- 「何もしなかった」は「ふとりすぎ」で多くなっています。

■問 27-2: 属性別

ア. 血糖値が高い

○「血糖値が高い」との指摘は男性 50 歳代以上で割合が高くなっています。指摘後の対応は、性別年代別では母数が少なく一定の傾向を指摘するのは困難ですが、全体ではどの項目も同程度の割合となっています。

○就労形態別に指摘の有無を見ると、自営業、無職で指摘されたことが「ある」の割合が高くなっています。

○BMI 別に見ると、「肥満」の範囲の人で指摘されたことが「ある」割合が高くなっています。

(問 27-2 ア. 血糖値が高い：性別年代、就労形態、BMI、居住区別)

	指摘の有無		指摘後の対応						
	N=(実数) ※1	ある	N=(実数) ※2	精密検査 や再検査 を受けた	食事や生 活などの 指導を受 けた	治療をし た	自分の健 康に気を つけるよう にした	その他	何もしな かった
全体	3519	14.7	517	17.4	20.5	16.1	15.7	2.1	6.6
男性計	1547	20.9	323	19.2	19.2	16.1	15.8	1.9	6.5
男性/15~19 歳	107	-	-	-	-	-	-	-	-
20~29 歳	141	2.1	3	-	-	-	33.3	-	33.3
30~39 歳	146	4.8	7	28.6	57.1	-	-	-	-
40~49 歳	149	17.4	26	15.4	26.9	7.7	15.4	-	23.1
50~59 歳	237	29.5	70	27.1	15.7	22.9	12.9	4.3	5.7
60~69 歳	364	30.5	111	13.5	20.7	16.2	16.2	0.9	7.2
70 歳以上	403	26.3	106	20.8	16.0	15.1	17.9	1.9	1.9
女性計(1844)	1844	9.7	178	14.6	23.0	16.3	15.2	2.8	6.2
女性/15~19 歳	161	-	-	-	-	-	-	-	-
20~29 歳	250	0.8	2	50.0	50.0	-	-	-	-
30~39 歳	181	2.8	5	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0
40~49 歳	169	3.6	6	33.3	-	33.3	-	-	16.7
50~59 歳	272	11.0	30	10.0	23.3	16.7	16.7	-	10.0
60~69 歳	365	17.0	62	12.9	29.0	19.4	14.5	3.2	4.8
70 歳以上	446	16.4	73	16.4	19.2	13.7	16.4	2.7	4.1
常勤就労	1007	14.6	147	20.4	20.4	15.6	12.9	2.7	12.9
非常勤就労	405	11.6	47	19.1	23.4	17.0	14.9	2.1	6.4
自営業	217	23.5	51	13.7	11.8	19.6	27.5	2.0	5.9
家事専従	517	13.2	68	17.6	29.4	19.1	8.8	2.9	4.4
生徒・学生	393	0.3	1	-	-	-	100.0	-	-
無職	784	22.4	176	17.0	19.9	15.9	15.9	1.7	2.3
やせ	297	5.4	16	12.5	-	25.0	18.8	6.3	6.3
標準	2484	13.5	335	19.1	20.3	15.8	15.5	1.8	7.5
肥満	584	25.3	148	14.9	22.3	16.9	14.2	2.7	4.7
西区	248	11.3	28	7.1	28.6	14.3	14.3	3.6	10.7
北区	322	14.0	45	15.6	22.2	22.2	22.2	-	4.4
大宮区	333	14.7	49	4.1	10.2	20.4	14.3	6.1	10.2
見沼区	434	15.0	65	20.0	20.0	9.2	21.5	3.1	9.2
中央区	258	20.2	52	17.3	25.0	17.3	9.6	1.9	5.8
桜区	255	14.9	38	21.1	18.4	18.4	13.2	-	5.3
浦和区	490	14.5	71	22.5	19.7	16.9	11.3	1.4	7.0
南区	454	15.2	69	14.5	20.3	20.3	20.3	1.4	5.8
緑区	313	14.4	45	22.2	17.8	15.6	11.1	4.4	2.2
岩槻区	317	14.5	46	26.1	26.1	8.7	15.2	-	4.3

※1：問 27 で最近 1 年間に健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

※2：27-2 で「指摘されたことがある」とした回答者数である。

イ. 血圧が高い

○「血圧が高い」は、健診等を「受けた」人の27%が指摘されており、男性50歳代以上、女性60歳代以上で全体より高くなっています。指摘後の対応は、全体では「治療した」が39%で最も多くなっており、とくに、男性50歳代、70歳以上と女性50～60歳代で高くなっています。一方、「何もなかった」は男女とも30歳代以下で高くなっています（ただし、母数が少ないことに留意する必要があります）。

○就労形態別に見ると、自営業、無職で指摘されたことが「ある」の割合が高くなっています。

○BMI別に見ると、「肥満」の範囲の人で指摘されたことが「ある」割合が高くなっていますが、指摘後の対応については、全体傾向とほぼ同様となっています。

（問27-2 イ. 血圧が高い：性別年代、就労形態、BMI、居住区別）

	指摘の有無		指摘後の対応						
	N=(実数) ※1	ある	N=(実数) ※2	精密検査 や再検査 を受けた	食事や生 活などの 指導を受 けた	治療をし た	自分の健 康に気を つけるよう にした	その他	何もしな かった
全体	3519	27.3	961	10.9	9.6	38.7	13.3	1.2	3.5
男性計	1547	33.1	512	13.5	8.6	38.7	12.9	0.8	4.9
男性/15～19歳	107	1.9	2	-	-	-	50.0	-	50.0
20～29歳	141	8.5	12	16.7	8.3	-	16.7	16.7	41.7
30～39歳	146	11.6	17	5.9	23.5	-	35.3	-	23.5
40～49歳	149	21.5	32	15.6	28.1	18.8	9.4	-	12.5
50～59歳	237	36.7	87	9.2	14.9	43.7	17.2	-	2.3
60～69歳	364	44.2	161	12.4	6.2	39.8	10.6	0.6	3.7
70歳以上	403	49.9	201	16.4	3.5	44.8	10.9	0.5	1.5
女性計(1844)	1844	22.5	414	7.7	10.4	39.4	14.5	1.9	1.7
女性/15～19歳	161	0.6	1	100.0	-	-	-	-	-
20～29歳	250	1.6	4	-	50.0	-	-	-	50.0
30～39歳	181	3.3	6	-	50.0	-	-	-	16.7
40～49歳	169	5.3	9	11.1	22.2	33.3	33.3	-	-
50～59歳	272	23.2	63	6.3	6.3	44.4	22.2	1.6	4.8
60～69歳	365	37.3	136	4.4	14.0	47.1	11.0	2.2	0.7
70歳以上	446	43.7	195	10.3	6.7	34.9	14.4	2.1	-
常勤就労	1007	20.0	201	12.4	16.9	33.8	14.9	0.5	8.5
非常勤就労	405	19.3	78	7.7	12.8	33.3	15.4	-	2.6
自営業	217	43.3	94	12.8	9.6	41.5	14.9	-	2.1
家事専従	517	31.5	163	6.7	10.4	46.0	11.7	3.7	0.6
生徒・学生	393	2.0	8	25.0	-	-	25.0	12.5	37.5
無職	784	45.2	354	12.7	4.0	40.4	11.6	1.1	2.3
やせ	297	12.1	36	16.7	2.8	33.3	22.2	5.6	-
標準	2484	24.8	617	9.6	10.0	39.1	13.8	1.3	4.1
肥満	584	46.1	269	13.0	8.6	40.9	11.5	0.7	2.6
西区	248	23.8	59	10.2	8.5	39.0	18.6	-	3.4
北区	322	30.1	97	12.4	11.3	39.2	19.6	2.1	3.1
大宮区	333	26.1	87	9.2	9.2	39.1	10.3	3.4	3.4
見沼区	434	28.3	123	12.2	7.3	38.2	13.0	1.6	4.9
中央区	258	25.2	65	9.2	13.8	38.5	13.8	-	6.2
桜区	255	27.1	69	13.0	5.8	39.1	10.1	1.4	1.4
浦和区	490	28.8	141	12.8	6.4	40.4	11.3	1.4	0.7
南区	454	23.6	107	11.2	13.1	37.4	12.1	1.9	2.8
緑区	313	25.9	81	11.1	7.4	35.8	19.8	-	6.2
岩槻区	317	34.4	109	6.4	12.8	40.4	10.1	-	4.6

※1：問27で最近1年間に健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

※2：27-2で「指摘されたことがある」とした回答者数である。

ウ. コレステロールや中性脂肪が高い

○「コレステロールや中性脂肪が高い」については、全体で33%が指摘を受けており、男性40歳代以上、女性50～60歳代で高くなっています。指摘後の対応は、全体では「自分の健康に気をつけるようにした」が24%で最も多くなっています。性別年代別では母数が少ないため留意する必要がありますが、「何もしなかった」割合が男性30～40歳代で高くなっています。

○就労形態別に指摘の有無を見ると、家事専従のほか、自営業、無職で指摘されたことが「ある」の割合が高くなっています。

○BMI別に見ると、「肥満」の範囲の人で、指摘されたことが「ある」割合が高くなっています。

(問 27-2 ウ. コレステロールや中性脂肪が高い：性別年代、就労形態、BMI、居住区別)

	指摘の有無		指摘後の対応						
	N=(実数) ※1	ある	N=(実数) ※2	精密検査 や再検査 を受けた	食事や生 活などの 指導を受 けた	治療をし た	自分の健 康に気をつ けるよう にした	その他	何もしな かった
全体	3519	32.5	1145	9.9	21.3	16.2	24.0	1.7	8.0
男性計	1547	35.6	551	11.4	22.1	14.2	22.9	1.5	10.7
男性/15～19歳	107	-	-	*	*	*	*	*	*
20～29歳	141	9.9	14	14.3	21.4	-	35.7	-	14.3
30～39歳	146	27.4	40	15.0	30.0	-	32.5	-	17.5
40～49歳	149	47.7	71	4.2	26.8	5.6	25.4	-	22.5
50～59歳	237	53.2	126	7.1	26.2	12.7	31.0	3.2	8.7
60～69歳	364	42.0	153	9.2	24.8	15.0	19.0	2.0	11.8
70歳以上	403	36.5	147	19.7	11.6	23.8	15.0	0.7	3.4
女性計(1844)	1844	30.2	557	7.9	20.3	19.2	25.3	2.2	5.2
女性/15～19歳	161	0.6	1	-	-	-	100.0	-	-
20～29歳	250	5.6	14	14.3	28.6	-	50.0	-	-
30～39歳	181	13.8	25	8.0	8.0	-	60.0	4.0	12.0
40～49歳	169	21.3	36	5.6	27.8	2.8	33.3	5.6	13.9
50～59歳	272	46.0	125	5.6	21.6	11.2	32.0	1.6	12.0
60～69歳	365	52.3	191	7.3	18.8	24.1	20.4	2.1	1.6
70歳以上	446	37.0	165	10.3	20.6	27.9	16.4	1.8	1.8
常勤就労	1007	35.4	356	9.6	24.7	7.9	30.1	1.4	14.9
非常勤就労	405	34.6	140	12.1	20.0	12.1	26.4	-	7.9
自営業	217	37.8	82	12.2	17.1	18.3	20.7	3.7	8.5
家事専従	517	39.5	204	5.9	20.1	24.5	21.1	2.0	5.4
生徒・学生	393	1.8	7	-	28.6	-	57.1	-	-
無職	784	38.6	303	10.9	19.1	23.4	17.5	2.6	3.0
やせ	297	12.8	38	10.5	28.9	13.2	21.1	2.6	5.3
標準	2484	31.8	791	8.7	20.2	17.2	26.2	1.9	7.8
肥満	584	49.1	287	12.2	23.0	15.0	18.5	1.0	9.4
西区	248	31.5	78	10.3	23.1	15.4	28.2	-	7.7
北区	322	32.9	106	9.4	26.4	15.1	24.5	2.8	6.6
大宮区	333	31.8	106	8.5	22.6	15.1	29.2	1.9	7.5
見沼区	434	33.9	147	8.8	22.4	17.0	22.4	2.0	6.1
中央区	258	31.4	81	13.6	21.0	23.5	17.3	-	6.2
桜区	255	29.8	76	7.9	15.8	21.1	23.7	1.3	5.3
浦和区	490	35.3	173	11.0	17.3	17.9	21.4	2.3	8.1
南区	454	32.2	146	12.3	22.6	11.6	25.3	2.1	12.3
緑区	313	31.3	98	9.2	20.4	15.3	22.4	4.1	10.2
岩槻区	317	36.0	114	6.1	20.2	16.7	26.3	-	8.8

※1：問 27 で最近 1 年間に健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

※2：27-2 で「指摘されたことがある」とした回答者数である。

工. 骨粗しょう症

○「骨粗しょう症」の指摘を受けた人は全体では10%ですが、女性60歳代で23%、70歳代では40%と顕著に高くなっています。指摘後の対応は、全体では「治療をした」が22%となっていますが、女性50歳代、60歳代では30%以上となっています。一方、「何もしなかった」は男性で高くなっています。

(問 27-2 エ. 骨粗しょう症：性別年代、就労形態、BMI、居住区別)

	指摘の有無		指摘後の対応						
	N=(実数) ※1	ある	N=(実数) ※2	精密検査 や再検査 を受けた	食事や生 活などの 指導を受 けた	治療をし た	自分の健 康に気を つけるよう にした	その他	何もしなか った
全体	3519	10.2	359	17.8	13.1	22.3	17.3	1.1	6.1
男性計	1547	3.6	56	30.4	16.1	3.6	17.9	1.8	21.4
男性/15~19歳	107	-	-	*	*	*	*	*	*
20~29歳	141	-	-	*	*	*	*	*	*
30~39歳	146	-	-	*	*	*	*	*	*
40~49歳	149	2.0	3	33.3	-	-	66.7	-	-
50~59歳	237	1.3	3	33.3	66.7	-	-	-	-
60~69歳	364	4.7	17	29.4	17.6	5.9	17.6	-	23.5
70歳以上	403	8.2	33	30.3	12.1	3.0	15.2	3.0	24.2
女性計(1844)	1844	15.9	294	15.0	12.6	26.5	17.3	1.0	3.1
女性/15~19歳	161	-	-	*	*	*	*	*	*
20~29歳	250	0.4	1	-	-	-	100.0	-	-
30~39歳	181	2.8	5	-	20.0	20.0	60.0	-	-
40~49歳	169	1.8	3	-	-	-	33.3	-	33.3
50~59歳	272	7.7	21	4.8	19.0	33.3	9.5	4.8	-
60~69歳	365	23.3	85	12.9	18.8	32.9	10.6	1.2	7.1
70歳以上	446	40.1	179	17.9	8.9	23.5	19.6	0.6	1.1
常勤就労	1007	1.6	16	12.5	6.3	12.5	43.8	-	6.3
非常勤就労	405	6.9	28	14.3	14.3	39.3	10.7	3.6	7.1
自営業	217	10.6	23	30.4	21.7	21.7	13.0	-	-
家事専従	517	21.5	111	12.6	14.4	26.1	16.2	-	3.6
生徒・学生	393	-	-	*	*	*	*	*	*
無職	784	19.1	150	20.7	10.7	20.0	17.3	2.0	8.7
やせ	297	11.8	35	17.1	8.6	22.9	22.9	2.9	2.9
標準	2484	9.8	243	17.7	14.0	23.5	18.1	0.8	6.2
肥満	584	11.1	65	16.9	13.8	16.9	13.8	1.5	7.7
西区	248	8.5	21	23.8	-	19.0	9.5	-	14.3
北区	322	10.9	35	22.9	2.9	25.7	28.6	-	2.9
大宮区	333	9.3	31	16.1	12.9	38.7	9.7	-	-
見沼区	434	10.1	44	9.1	13.6	31.8	22.7	-	6.8
中央区	258	11.2	29	31.0	17.2	17.2	6.9	-	3.4
桜区	255	9.8	25	16.0	24.0	16.0	16.0	-	12.0
浦和区	490	13.5	66	16.7	10.6	18.2	21.2	1.5	3.0
南区	454	10.6	48	14.6	16.7	29.2	14.6	2.1	6.3
緑区	313	10.5	33	15.2	18.2	12.1	21.2	6.1	3.0
岩槻区	317	6.6	21	23.8	14.3	9.5	14.3	-	19.0

※1：問 27 で最近1年間に健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

※2：27-2 で「指摘されたことがある」とした回答者数である。

オ. ふとりすぎ

- 「ふとりすぎ」の指摘を受けた人は全体では20%ですが、男性30～60歳代で顕著に高く、40歳代では40%を超える高い割合となっています。また、女性70歳以上で25%と高くなっています。
- 指摘を受けた後の対応として、全体では「自分の健康に気をつけるようにした」「食事や生活などの指導を受けた」が多くなっており、ふとりすぎの指摘を受ける割合が高まる男性30～50歳代では「食事や生活などの指導を受けた」が高くなっています。一方、「何もしなかった」とする割合は、10歳代男女および男性の30～50歳代で多くなっています。
- BMI別に見ると、「肥満」の範囲にある人で指摘されたことが「ある」割合が75%になっていますが、指摘後の対応については、全体傾向と同様となっています。

(問27-2 オ. ふとりすぎ：性別年代、就労形態、BMI、居住区別)

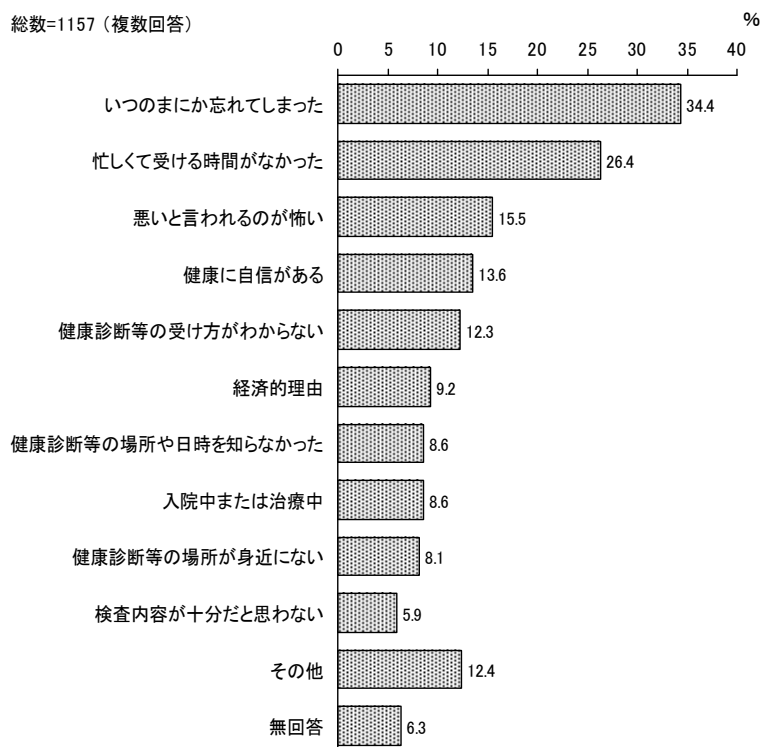
	指摘の有無		指摘後の対応						
	N=(実数) ※1	ある	N=(実数) ※2	精密検査 や再検査 を受けた	食事や生 活などの 指導を受 けた	治療をし た	自分の健 康に気を つけるよう にした	その他	何もしな かった
全体	3519	19.8	697	3.3	27.7	1.7	38.5	0.7	12.2
男性計	1547	24.7	382	3.9	31.2	2.1	34.0	0.5	14.4
男性/15～19歳	107	0.9	1	-	-	-	-	-	100.0
20～29歳	141	11.3	16	6.3	25.0	-	50.0	-	12.5
30～39歳	146	28.8	42	4.8	35.7	-	21.4	-	26.2
40～49歳	149	41.6	62	1.6	38.7	-	27.4	-	17.7
50～59歳	237	30.0	71	4.2	35.2	-	29.6	-	19.7
60～69歳	364	31.0	113	3.5	26.5	3.5	38.9	1.8	9.7
70歳以上	403	19.1	77	5.2	27.3	5.2	40.3	-	6.5
女性計(1844)	1844	15.8	292	2.7	22.9	1.4	44.2	1.0	8.9
女性/15～19歳	161	4.3	7	14.3	-	-	28.6	-	28.6
20～29歳	250	5.6	14	-	14.3	-	57.1	7.1	21.4
30～39歳	181	8.8	16	-	18.8	-	50.0	-	12.5
40～49歳	169	14.8	25	-	24.0	-	56.0	-	12.0
50～59歳	272	19.5	53	-	22.6	5.7	39.6	-	13.2
60～69歳	365	17.0	101	4.0	28.7	1.0	44.6	-	3.0
70歳以上	446	24.7	76	3.9	19.7	-	40.8	2.6	7.9
常勤就労	1007	25.1	253	3.6	32.8	0.4	31.6	0.4	21.3
非常勤就労	405	21.0	85	1.2	20.0	1.2	49.4	1.2	9.4
自営業	217	25.8	56	3.6	28.6	1.8	41.1	-	12.5
家事専従	517	19.3	100	3.0	28.0	1.0	41.0	2.0	4.0
生徒・学生	393	2.8	11	9.1	9.1	-	27.3	-	27.3
無職	784	20.7	162	3.7	25.3	4.9	39.5	0.6	3.7
やせ	297	0.7	2	-	50.0	-	50.0	-	-
標準	2484	9.6	238	4.2	29.0	0.8	42.0	0.8	8.8
肥満	584	74.5	435	3.0	27.6	2.1	36.1	0.7	13.6
西区	248	23.0	57	3.5	26.3	-	43.9	-	10.5
北区	322	17.7	57	1.8	35.1	-	38.6	-	10.5
大宮区	333	21.6	72	5.6	25.0	1.4	38.9	-	11.1
見沼区	434	21.0	91	1.1	30.8	2.2	41.8	-	11.0
中央区	258	21.3	55	3.6	23.6	3.6	36.4	3.6	14.5
桜区	255	23.1	59	3.4	28.8	1.7	39.0	-	6.8
浦和区	490	16.1	79	2.5	34.2	-	29.1	1.3	11.4
南区	454	19.6	89	5.6	23.6	1.1	44.9	1.1	12.4
緑区	313	18.5	58	3.4	22.4	5.2	34.5	1.7	17.2
岩槻区	317	21.5	68	2.9	26.5	2.9	33.8	-	17.6

※1：問27で最近1年間に健康診断や検査を「受けた」とした回答者数である。

※2：27-2で「指摘されたことがある」とした回答者数である。

④健診を受けていない理由

問27-3 (問27で「2. 受けていない」とお答えの方に) 受けていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



○健診を受けていない人 (回答者全体の 24%) の、その理由としては、「いつのまにか忘れてしまった」が 34% で第 1 位となっています。次いで「忙しくて受ける時間がなかった」26% が続いています。
○そのほか、「悪いと言われるのが怖い」「健康に自信がある」「健康診断等との受け方がわからない」が 10% 台となっています。

■問 27-3: 属性別

- 性別年代別で見ると、全体で第1位であった「いつのまにか忘れてしまった」は、男性 50～60 歳代と女性 30～60 歳代で多くなっています。「忙しくて受ける時間がなかった」は、男性 20～60 歳代、女性 10～40 歳代で多くなっています。
- 10～20 歳代の若い層では、「健康に自信がある」が、10～30 歳代の層では「経済的理由」を挙げる割合が全体より高くなっています。また、20～30 歳代では健診等の場所や日時を「知らなかった」や「身近にない」など、機会上の要因を挙げている割合も高くなっています。
- 「入院中または治療中」は男性 60 歳代以上、女性 70 歳以上で高くなっていますが、一方で、男女とも 70 歳以上で「健康に自信がある」とする割合も全体よりも高くなっています。
- 常勤就労や自営業では「忙しくて受ける時間がなかった」が高くなっています。また、女性を多く含む非常勤就労では、忙しさに加えて、「いつのまにか忘れてしまった」が多くなっており、勤労層では忙しさのなかで、時機を逸したり、忘れてしまったりする様子が見られます。
- 常勤就労、非常勤就労では「経済的理由」も他の属性より高くなっています。
- 「健診の場所や日時を知らなかった」は生徒・学生で、「場所が身近にない」は常勤就労で高くなっています。

(問 27-3：性別年代別、就労形態別)

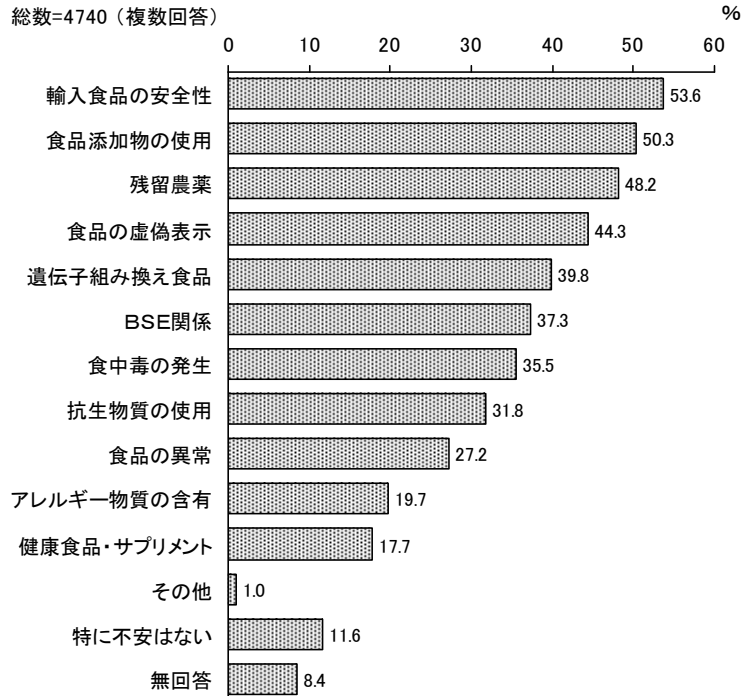
	N=(実数)	いつのまにか忘れてしまった	忙しくて受ける時間がなかった	悪いと言われるのが怖い	健康に自信がある	健康診断等の受け方がわからない	経済的理由	入院中または治療中	健康診断等の場所や日時を知らなかった	健康診断等の場所が身近にない	検査内容が十分だと思わない	その他
全体	1157	34.4	26.4	15.5	13.6	12.3	9.2	8.6	8.6	8.1	5.9	12.4
男性計	433	27.7	24.9	13.6	15.0	13.4	12.0	10.9	9.2	8.8	6.9	11.3
男性/15～19 歳	50	8.0	26.0	4.0	20.0	26.0	10.0	-	12.0	12.0	2.0	26.0
20～29 歳	71	8.5	38.0	7.0	19.7	40.8	26.8	1.4	28.2	16.9	2.8	15.5
30～39 歳	40	20.0	52.5	15.0	2.5	17.5	17.5	7.5	12.5	20.0	5.0	20.0
40～49 歳	26	34.6	46.2	26.9	3.8	15.4	15.4	7.7	7.7	11.5	19.2	11.5
50～59 歳	41	41.5	39.0	12.2	9.8	4.9	7.3	7.3	-	4.9	4.9	4.9
60～69 歳	95	45.3	13.7	17.9	11.6	3.2	11.6	16.8	4.2	4.2	11.6	5.3
70 歳以上	110	30.0	5.5	15.5	21.8	-	2.7	20.0	2.7	2.7	6.4	6.4
女性計	696	38.6	27.6	17.0	13.1	11.9	7.9	7.0	8.5	8.0	5.0	13.2
女性/15～19 歳	47	14.9	31.9	8.5	23.4	40.4	12.8	-	17.0	17.0	-	14.9
20～29 歳	102	32.4	40.2	11.8	6.9	38.2	11.8	2.0	28.4	14.7	2.9	14.7
30～39 歳	126	42.9	42.9	11.1	10.3	10.3	13.5	4.0	7.1	9.5	3.2	15.1
40～49 歳	66	53.0	42.4	18.2	3.0	1.5	4.5	3.0	4.5	3.0	4.5	10.6
50～59 歳	107	56.1	22.4	22.4	7.5	4.7	9.3	5.6	3.7	8.4	7.5	11.2
60～69 歳	128	39.8	18.0	24.2	18.0	3.9	5.5	7.0	2.3	5.5	7.8	10.9
70 歳以上	120	24.2	5.8	17.5	22.5	0.8	-	20.8	2.5	2.5	5.8	15.0
常勤就労	139	28.8	62.6	7.9	5.8	18.7	15.1	4.3	12.9	15.1	3.6	10.8
非常勤就労	186	43.0	29.6	21.0	14.0	19.4	15.1	3.2	11.8	11.3	4.8	10.2
自営業	111	34.2	39.6	22.5	12.6	6.3	9.0	7.2	3.6	11.7	6.3	6.3
家事専従	280	41.4	24.3	16.1	10.7	6.8	6.4	7.5	4.6	4.6	6.8	15.0
生徒・学生	122	13.9	27.9	7.4	23.8	32.8	6.6	-	22.1	11.5	2.5	21.3
無職	265	34.7	3.8	17.4	17.0	3.4	7.9	20.4	4.5	3.4	8.3	10.9

(9) 食の安全性

①食品の安全性に対する不安

問28 食品の安全性について、不安に感じることはありますか。(○はあてはまるものすべて)

問28. 食品の安全性で不安に感じること



○食品に対して不安を感じる内容としては、第1位が「輸入食品の安全性」、第2位が「食品添加物の使用」で、どちらも半数を超えています。

○次いで「残留農薬」「食品の虚偽表示」が40%台、「遺伝子組み換え食品」「BSE関係」「食中毒の発生」「抗生物質の使用」が30%台で続き、比較的高い割合を占めています。

■問 28: 属性別

- 食品の安全性については、不安を感じる項目を挙げる割合が、男女とも 30～60 歳代で全般的に高くなっていますが、そのなかで、「食中毒の発生」については、10～30 歳代の若い層で、他世代よりも割合が高い傾向が見られます。
- 「とくに不安はない」はすべての年代で男性のほうが高くなっていますが、その他の項目は女性のほうが高い割合を示すものが多くなっています。ことに、女性 30～60 歳代は全体との差が大きく、食の安全にもっとも敏感な世代となっています。

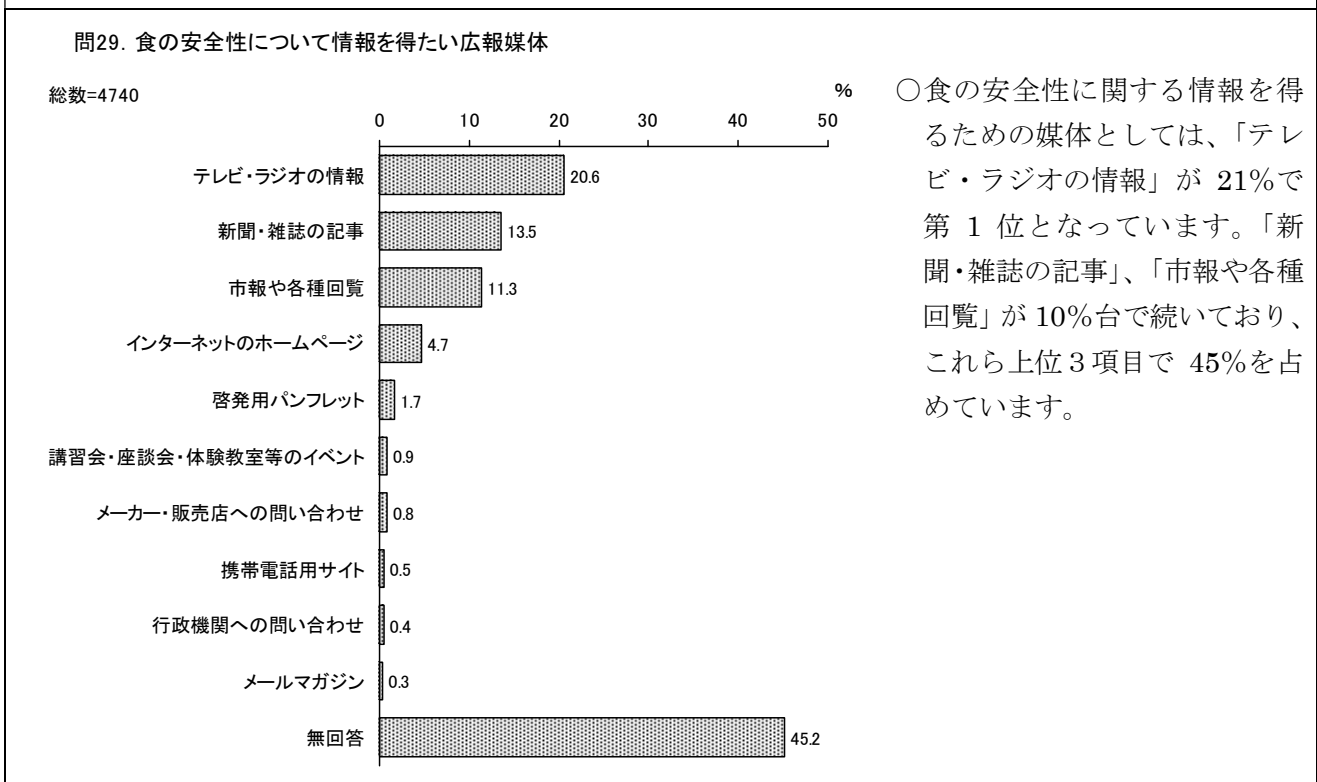
(問 28 : 性別年代別)

	N=(実数)	輸入食品の安全性	食品添加物の使用	残留農薬	食品の虚偽表示	遺伝子組み換え食品	BSE関係	食中毒の発生	抗生物質の使用
全 体	4740	53.6	50.3	48.2	44.3	39.8	37.3	35.5	31.8
男性計	2002	46.3	42.3	43.2	39.8	32.7	33.0	32.2	27.9
男性/15～19 歳	157	29.9	35.0	34.4	26.1	33.8	35.0	39.5	17.8
20～29 歳	212	41.5	32.1	39.2	40.1	30.7	33.0	37.7	25.5
30～39 歳	186	49.5	46.8	54.8	47.8	40.3	46.8	36.6	36.6
40～49 歳	175	44.0	41.1	44.6	40.0	36.6	42.9	37.1	29.1
50～59 歳	280	55.0	47.5	51.8	40.0	42.9	42.1	29.3	36.4
60～69 歳	461	54.9	49.0	46.6	43.6	30.8	29.7	32.8	29.9
70 歳以上	531	40.7	38.6	35.2	37.5	25.6	22.4	25.8	22.2
女性計	2575	60.2	57.8	53.2	48.6	46.0	41.1	38.5	35.1
女性/15～19 歳	210	31.4	34.8	30.5	27.6	26.2	26.7	46.2	11.9
20～29 歳	352	49.1	50.9	52.3	48.0	44.9	49.4	55.4	29.3
30～39 歳	307	62.9	57.7	57.0	51.5	49.8	49.8	40.7	33.6
40～49 歳	235	68.5	65.1	62.6	54.0	50.2	47.7	38.7	42.6
50～59 歳	379	78.4	76.3	61.7	57.0	57.0	50.9	31.7	45.4
60～69 歳	499	71.1	67.7	61.1	56.3	53.5	44.1	32.3	41.5
70 歳以上	593	51.3	47.2	44.0	40.8	36.6	25.5	34.1	32.9

	食品の異常	アレルギー物質の含有	健康食品・サプリメント	その他	特に不安はない
全 体	27.2	19.7	17.7	1.0	11.6
男性計	24.1	16.5	12.9	1.1	17.7
男性/15～19 歳	23.6	16.6	9.6	1.3	21.0
20～29 歳	33.0	15.1	13.2	1.4	23.1
30～39 歳	35.5	22.0	14.5	1.6	12.9
40～49 歳	27.4	18.3	11.4	-	14.9
50～59 歳	24.3	23.6	12.1	0.4	13.6
60～69 歳	21.0	14.5	15.6	1.7	18.0
70 歳以上	18.1	12.4	11.9	1.1	19.2
女性計	30.2	22.3	21.6	0.9	7.1
女性/15～19 歳	33.8	17.1	14.8	-	17.1
20～29 歳	44.9	21.3	17.3	1.7	8.8
30～39 歳	29.6	27.0	18.9	0.3	5.2
40～49 歳	26.4	25.5	26.0	-	2.6
50～59 歳	26.9	25.3	28.0	1.1	4.2
60～69 歳	29.1	23.2	25.7	1.0	2.8
70 歳以上	25.1	18.0	18.7	1.2	10.8

②情報入手に利用したい広報媒体

問29 食の安全性について、どのような広報媒体を利用して情報を得たいですか。(○は1つだけ)



■問29: 属性別

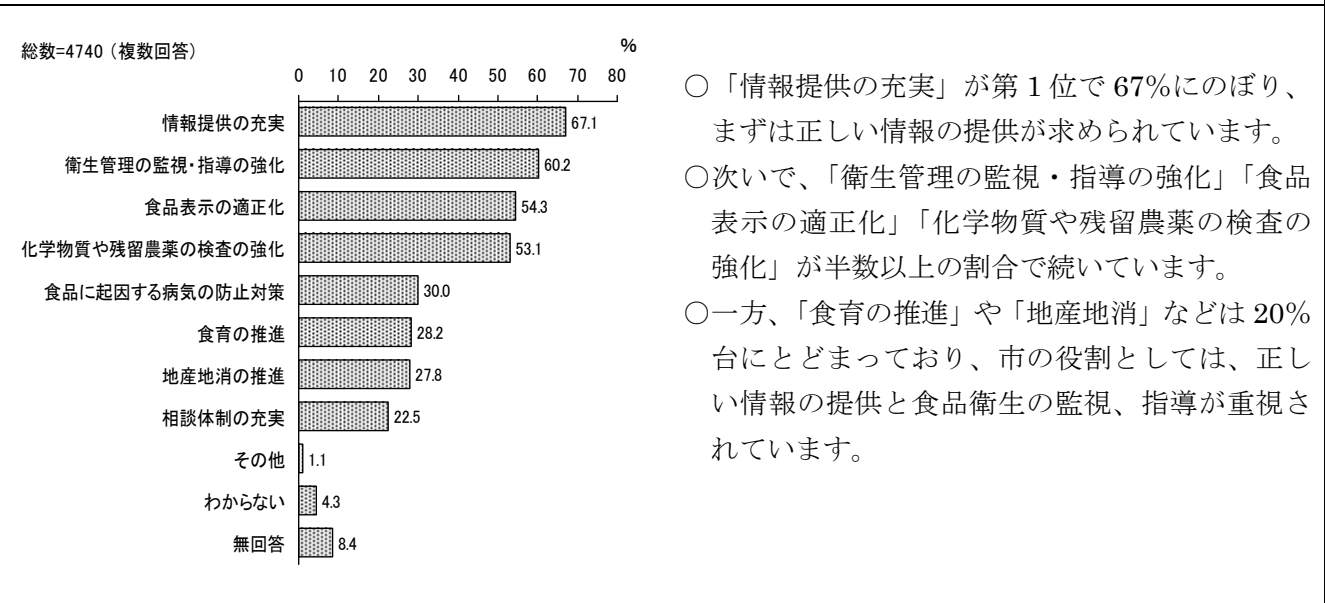
○性別年代別に見ると、男女とも「テレビ・ラジオ」は男女10～20歳代の若い世代で、「新聞・雑誌」は男女40歳代で他世代よりも高い割合になっています。また、インターネットは男性10～40歳代でとくに高くなっています。

(問29：性別年代別)

	N=(実数)	テレビ・ラジオの情報	新聞・雑誌の記事	市報や各種回覧	インターネットのホームページ	啓発用パンフレット	講習会・座談会・体験教室等のイベント	メーカー・販売店への問い合わせ	携帯電話用サイト	行政機関への問い合わせ	メールマガジン
全体	4740	20.6	13.5	11.3	4.7	1.7	0.9	0.8	0.5	0.4	0.3
男性計	2002	18.6	14.4	11.7	6.5	2.1	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3
男性/15～19歳	157	27.4	10.8	4.5	19.1	1.9	0.6	0.6	1.9	1.9	-
20～29歳	212	19.3	10.8	3.3	17.5	1.9	-	0.5	1.9	-	0.5
30～39歳	186	17.2	11.3	9.1	9.7	3.8	-	1.1	1.6	0.5	1.1
40～49歳	175	14.9	17.7	8.6	12.0	2.9	-	-	-	-	0.6
50～59歳	280	19.3	13.9	10.7	5.7	3.2	0.4	1.1	-	-	0.7
60～69歳	461	17.8	17.4	15.8	1.3	1.3	0.9	0.7	-	1.1	0.2
70歳以上	531	17.7	14.5	16.2	0.4	1.5	1.1	0.6	0.2	0.4	-
女性計	2575	22.4	13.2	11.4	3.5	1.6	1.0	0.9	0.5	0.4	0.2
女性/15～19歳	210	37.1	9.0	3.3	8.6	2.9	0.5	1.9	2.9	-	0.5
20～29歳	352	27.6	14.2	6.3	8.0	2.0	0.9	1.1	0.9	-	0.3
30～39歳	307	21.2	11.1	11.7	7.2	1.0	1.3	1.3	0.7	0.7	0.3
40～49歳	235	17.0	20.9	12.3	5.1	2.1	0.4	1.3	0.4	0.9	-
50～59歳	379	19.3	16.4	12.7	1.6	1.8	1.3	1.3	0.3	-	0.5
60～69歳	499	20.4	11.0	15.6	0.6	1.8	1.6	0.2	-	0.6	-
70歳以上	593	20.6	11.8	12.5	0.2	0.5	0.8	0.5	-	0.5	-

③食品の安全性確保のために市が取り組むべきこと

問30 食品の安全性を確保するために、市としてどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



- 「情報提供の充実」が第1位で67%にのぼり、まずは正しい情報の提供が求められています。
- 次いで、「衛生管理の監視・指導の強化」「食品表示の適正化」「化学物質や残留農薬の検査の強化」が半数以上の割合で続いています。
- 一方、「食育の推進」や「地産地消」などは20%台にとどまっており、市の役割としては、正しい情報の提供と食品衛生の監視、指導が重視されています。

■問30:属性別

○問28で見たように、食の安全性については女性のほうがより敏感であることを反映して、市に求める取り組みも全般的に女性で高くなっています。なかでも、「残留農薬」や「食育の推進」、「地産地消の推進」などでは、同世代の男性との差が大きい傾向が見られます。

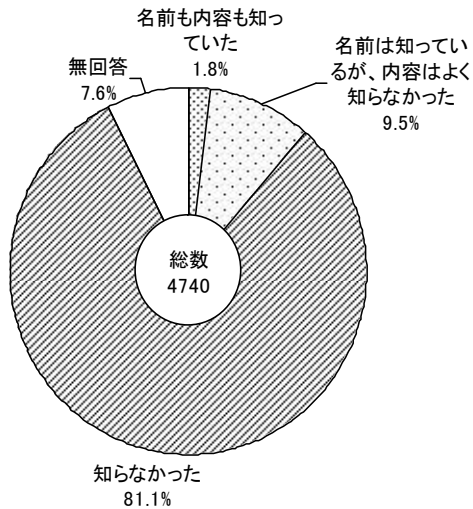
(問30：性別年代別)

	N=(実数)	情報提供の充実	衛生管理の監視・指導の強化	食品表示の適正化	化学物質や残留農薬の検査の強化	食品に起因する病気の防止対策	食育の推進	地産地消の推進	相談体制の充実
全体	4740	67.1	60.2	54.3	53.1	30.0	28.2	27.8	22.5
男性計	2002	68.0	58.7	53.3	48.7	28.8	22.7	24.3	23.2
男性/15~19歳	157	59.2	55.4	43.9	50.3	24.2	24.2	15.9	18.5
20~29歳	212	71.2	62.3	50.9	52.8	33.5	32.5	18.4	29.7
30~39歳	186	72.0	61.8	55.9	52.7	29.0	25.8	24.2	31.7
40~49歳	175	75.4	59.4	48.0	45.7	28.0	22.9	22.9	28.6
50~59歳	280	70.0	60.7	56.4	51.8	31.1	21.1	24.3	21.4
60~69歳	461	72.0	60.1	58.8	51.8	27.8	19.3	26.9	20.4
70歳以上	531	60.8	54.8	51.4	41.8	28.2	20.9	27.5	20.5
女性計	2575	68.0	62.6	56.0	57.6	31.7	33.3	31.0	22.0
女性/15~19歳	210	67.1	64.3	45.2	50.0	34.3	27.6	14.8	21.4
20~29歳	352	73.9	74.4	54.0	59.1	31.3	37.2	21.3	27.0
30~39歳	307	81.8	64.2	58.3	59.6	29.3	40.4	29.0	26.4
40~49歳	235	77.4	70.2	56.2	63.4	31.1	37.0	28.5	24.7
50~59歳	379	72.8	64.9	62.0	61.2	34.0	35.9	39.1	24.0
60~69歳	499	67.9	61.3	61.5	64.3	33.1	33.1	39.9	20.4
70歳以上	593	50.9	50.6	51.4	47.9	29.8	26.3	31.9	16.9

(10) 市の施策

①ヘルスプラン21の認知度

問31 「さいたま市ヘルスプラン21」とは、すべての市民が健康でいきいきとした生活を送ることができるよう策定した、健康づくりの行動計画です。この計画は、市民・民間団体・事業所と行政が一体となって検討し、健康づくりの具体的な目標値や取り組みを栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、健康管理の7つの分野に分けて掲げています。あなたは、この「さいたま市ヘルスプラン21」をご存知でしたか。(〇は1つだけ)



〇ヘルスプラン21については、「名前も内容も知っていた」は2%と少数となっています。「名前を知っているが、内容はよく知らなかった」は10%で、大多数は「知らなかった」としています。

■問31:属性別

〇男性では年齢が高いほど「名前も内容も知っていた」「名前を知っているが、内容はよく知らなかった」の割合が高まっていく傾向があり、その合計値は男性全体では11%であるのに対し、60歳代で15%、70歳以上では18%となっています。

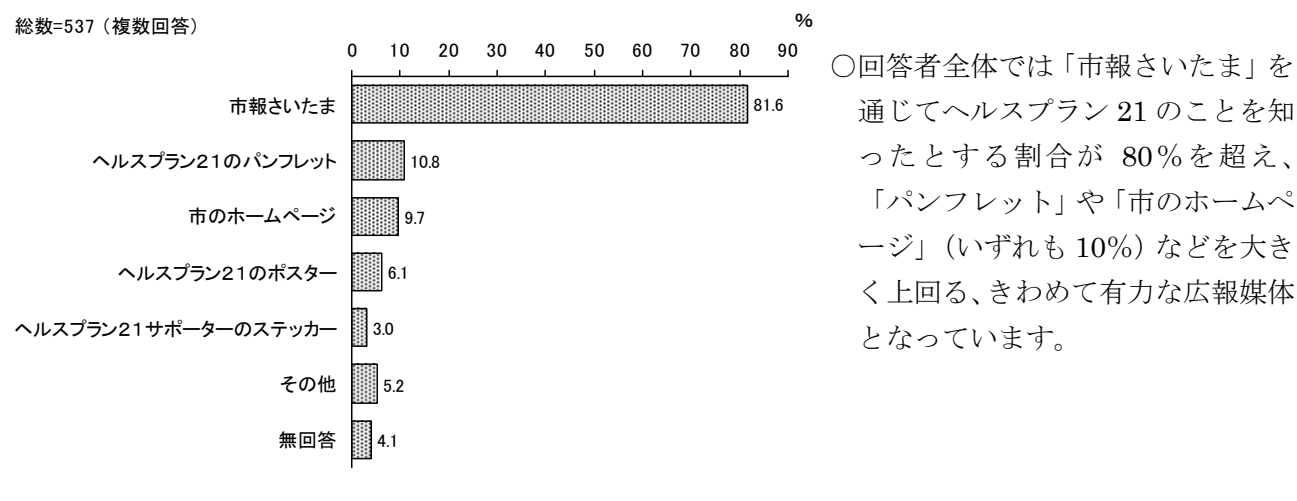
〇女性では、「名前を知っているが、内容はよく知らなかった」とする割合が60歳代で11%、50歳代と70歳以上では12%と全体より高くなっています。

(問31:性別年代別)

	N=(実数)	名前も内容も知っていた	名前を知っているが、内容はよく知らなかった	知らなかった
全体	4740	1.8	9.5	81.1
男性計	2002	2.0	9.1	82.9
男性/15~19歳	157	0.6	3.2	93.6
20~29歳	212	0.5	4.2	94.8
30~39歳	186	0.5	3.8	94.6
40~49歳	175	1.1	5.1	93.1
50~59歳	280	1.8	7.9	87.5
60~69歳	461	2.6	12.1	79.4
70歳以上	531	3.6	14.1	68.2
女性計	2575	1.7	9.8	81.3
女性/15~19歳	210	1.4	3.8	92.4
20~29歳	352	2.6	7.1	87.2
30~39歳	307	1.3	7.8	88.9
40~49歳	235	0.9	8.9	87.7
50~59歳	379	1.6	11.6	83.4
60~69歳	499	2.2	11.4	77.8
70歳以上	593	1.3	12.3	69.1

②ヘルスプラン21の情報を得た際の広報媒体

問31-1（問31で「1. 名前も内容も知っていた」「2. 名前は知っている…」とお答えの方に）どちらで知りましたか（○はあてはまるものすべて）



■問31-1:属性別

- 「市報さいたま」を挙げた割合は、すべての年代で高くなっていますが、とくに男性40～50歳代では約90%にのぼっています。
- 「市のホームページ」については、回答者数が小さいことに留意する必要がありますが、性別年代による偏りが顕著で、全体で10%に対し、男性20～30歳代では40～50%と高くなっています。
- このほか、「ポスター」は男女とも10歳代で、「ステッカー」は男性20歳代、女性10歳代で高いなど、視覚的に訴える手段は、若い層で多い傾向がうかがえます。

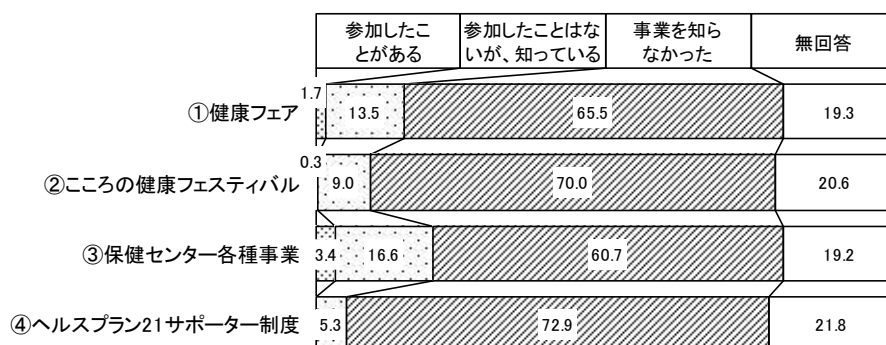
（問31-1：性別年代別）

	N=(実数)	市報さいたま	市のホームページ	ヘルスプラン21のパンフレット	ヘルスプラン21のポスター	ヘルスプラン21サポーターのステッカー
全体	537	81.6	9.7	10.8	6.1	3.0
男性計	224	83.5	12.1	12.1	4.9	3.6
男性/15～19歳	6	66.7	-	33.3	16.7	-
20～29歳	10	70.0	40.0	10.0	10.0	10.0
30～39歳	8	62.5	50.0	-	-	-
40～49歳	11	90.9	27.3	-	18.2	9.1
50～59歳	27	88.9	14.8	18.5	-	3.7
60～69歳	68	83.8	5.9	10.3	5.9	4.4
70歳以上	94	85.1	8.5	12.8	3.2	2.1
女性計	295	79.7	7.5	9.8	7.1	2.4
女性/15～19歳	11	27.3	-	-	18.2	9.1
20～29歳	34	64.7	17.6	8.8	8.8	-
30～39歳	28	82.1	7.1	-	7.1	-
40～49歳	23	82.6	8.7	8.7	-	-
50～59歳	50	86.0	8.0	12.0	4.0	4.0
60～69歳	68	85.3	5.9	19.1	10.3	2.9
70歳以上	81	82.7	4.9	6.2	6.2	2.5

③市の健康づくり関連事業についての参加状況・認知度

問32 市が実施している次の①～④の健康づくり関連事業に参加したことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

総数=4740



○全体的に市の健康づくり関連事業に「参加したことがある」は少数となっています。

○4つの事業のなかでは、保健センター関連事業で「参加したことがある」「参加したことはないが、知っている」の割合がやや高くなっています。

■問 32: 属性別

○性別年代別に見ると、「健康フェア」「こころの健康フェスティバル」「ヘルスプラン21サポーター制度」では、男女とも10～50歳代で「事業を知らなかった」の割合が高く、60歳代、70歳代で「参加したことがある」「参加したことはないが知っている」の割合が高まる傾向があります。

○「保健センター各種事業」については、男性よりも女性で「参加したことがある」「参加したことはないが知っている」の割合が高い傾向があります。

○「保健センター各種事業」の女性の参加状況を見ると、「参加したことがある」は女性の30歳代、40歳代、60歳代で高くなっています。また、「参加したことはないが知っている」割合も、40～60歳代で高くなっています。保健センターで開催する事業は、女性を中心に比較的関心を集めているといえます。

○居住区別では、細かく見ると、南区で「知らなかった」の割合が他区よりも高い項目が多いなどの特徴がありますが、いずれの区も「参加したことがある」割合や「参加したことはないが、知っている」割合などは、おおむね全体傾向と同様となっています。

(問 32 : 性別年代別、居住区別)

	N= (実数)	①健康フェア			②こころの健康フェスティバル		
		参加した ことがある	参加した ことはないが、知 っている	事業を 知らな かった	参加した ことがある	参加した ことはないが、知 っている	事業を 知らな かった
全 体	4740	1.7	13.5	65.5	0.3	9.0	70.0
男性計	2002	1.0	12.5	69.6	0.2	8.4	73.2
男性／15～19 歳	157	-	3.8	89.8	-	6.4	87.9
20～29 歳	212	-	3.8	92.5	-	3.8	92.0
30～39 歳	186	-	3.2	90.9	-	0.5	93.0
40～49 歳	175	0.6	7.4	86.9	-	3.4	92.0
50～59 歳	280	0.7	13.2	77.1	-	7.9	83.2
60～69 歳	461	1.3	17.4	63.1	0.2	11.3	69.4
70 歳以上	531	2.3	18.8	42.9	0.8	13.2	46.1
女性計	2575	2.1	14.5	63.9	0.4	9.5	69.2
女性／15～19 歳	210	-	5.7	86.2	-	5.7	86.2
20～29 歳	352	-	4.5	89.5	-	5.4	88.6
30～39 歳	307	1.0	8.8	84.7	0.3	4.6	89.3
40～49 歳	235	3.0	16.2	74.0	-	11.5	80.9
50～59 歳	379	2.6	20.1	66.2	0.8	11.6	76.3
60～69 歳	499	3.6	24.2	48.1	0.2	16.8	56.1
70 歳以上	593	2.9	14.2	37.8	0.8	7.4	43.3
西区	335	0.6	13.7	65.7	0.3	7.8	69.9
北区	457	2.4	12.3	68.1	0.2	8.5	72.6
大宮区	455	1.8	13.8	65.5	0.2	9.2	70.5
見沼区	600	1.3	13.5	65.2	0.3	11.0	67.0
中央区	342	2.9	18.1	61.1	0.3	9.4	70.5
桜区	332	0.9	14.8	67.2	-	9.9	72.6
浦和区	638	1.6	13.0	66.9	0.5	7.7	72.4
南区	618	1.9	13.6	69.3	0.5	8.3	75.1
緑区	408	2.0	15.4	65.0	0.7	11.8	67.9
岩槻区	434	0.7	10.1	66.1	-	7.4	68.2

注) 行政区の網掛けは 10 区のなかで割合の高い 3 区を示す。

	N= (実数)	③保健センター各種事業			④ヘルスプラン21サ ポーター制度	
		参加した ことが ある	参加した ことはな いが、知 っている	事業を 知らな かった	参加した ことはな いが、知 っている	事業を 知らな かった
全 体	4740	3.4	16.6	60.7	5.3	72.9
男性計	2002	2.1	15.1	65.7	5.8	75.1
男性／15～19 歳	157	-	3.2	91.1	1.9	92.4
20～29 歳	212	0.5	7.1	88.2	1.4	93.9
30～39 歳	186	1.1	5.9	87.1	0.5	93.0
40～49 歳	175	-	10.9	84.6	2.9	92.0
50～59 歳	280	2.9	17.5	70.4	6.4	83.9
60～69 歳	461	2.8	22.3	57.7	8.9	70.7
70 歳以上	531	3.6	18.8	39.9	8.5	49.7
女性計	2575	4.5	18.2	58.1	5.0	72.9
女性／15～19 歳	210	-	6.2	85.7	1.4	90.5
20～29 歳	352	1.7	10.2	82.1	2.8	90.6
30～39 歳	307	6.8	16.3	72.6	2.3	91.9
40～49 歳	235	6.0	24.7	62.6	4.7	87.2
50～59 歳	379	4.7	28.8	56.5	7.9	78.1
60～69 歳	499	6.6	24.0	45.7	9.4	62.7
70 歳以上	593	3.9	13.8	36.1	3.4	45.9
西区	335	2.4	17.0	59.4	4.2	73.4
北区	457	4.2	16.8	62.4	5.7	75.1
大宮区	455	2.9	15.6	63.1	5.7	73.4
見沼区	600	2.5	16.3	59.8	6.0	71.2
中央区	342	6.4	19.3	58.2	5.6	74.3
桜区	332	3.6	15.1	64.8	6.6	74.1
浦和区	638	2.8	14.9	63.6	4.2	74.6
南区	618	3.2	15.0	66.0	4.5	77.8
緑区	408	1.7	19.6	60.3	6.9	71.8
岩槻区	434	6.2	21.4	51.6	5.1	69.4

注) 行政区の網掛けは 10 区のなかで割合の高い 3 区を示す。

(11) 市への意見・要望

自由記述に寄せられた意見や要望を次の10の項目のもとに分類・整理しました。

①健康診断・各種検診	②医療機関	③健康相談
④健康づくり広報・規制	⑤健康づくり関連事業	⑥運動できる環境
⑦健康教育	⑧食生活	⑨住環境
⑩健康関連その他		

①健康診断・各種検診について(134票)

健康診断や各種検診の要望で最も多いのは料金に関するもので、無料または低料金化が望まれています。続いて、実施方法では、平日以外に土休日や夜間の実施の要望が最も多くなっており、ほかには駅などでの健診場所の設置、乳児のポリオ検査の集団受診の実施の要望が少数ながらみられます。また健診実施の個人通知への要望も複数あります。

健診内容としては、血液検査の充実や心の病気の診断、高度な医療器具を用いての診察が希望されており、また詳細な検査を行う検診においては、乳がん検診でのマンモグラフィー検診をはじめ、肺がんや前立腺がんなどがん検診の充実などの要望があります。

また健診や検診の対象年齢引き下げの要望も複数にのぼります。がん検診については、特に女性の乳がん検診の年齢制限を、再び引き下げて30歳代から受診したいという要望が多数みられました。

項目	票数
健診・検診の料金	32票
健診・検診の実施方法	23票
健診内容の充実	20票
検診対象年齢引き下げ	13票
検診内容の充実	10票
健診・検診の通知	10票
健診対象年齢引き下げ	8票
指定医療機関の拡大	8票
健診対象の拡大	6票
予防対策	4票

②医療機関について(91票)

医療機関については、施設数増加の要望が強く、なかでも緊急時に安心してかかることができる総合病院、市立病院の増加が望まれています。具体的には、耳鼻科や小児科、リハビリ施設、またがん患者らのコミュニケーションの場（ホスピス）等が挙げられています。また医療機関の利用改善としては、休日や夜間など緊急時に対応できる体制の整備が求められており、ほかにも、待ち時間の長さの緩和を求める声もありました。

次に、医療費の負担軽減を求める声が多く、高齢者や子どもの医療費低減の要望が目立ちます。

また医師・病院のあり方としては、医師の対応の悪さが最も多く挙げられています。この中には、説明不足への不満もみられます。このほか、セカンドオピニオンの奨励や、婦人科等での女性医師やスタッフ増員の要望があります。

項目	票数
医療機関の充実	37票
医療費の負担軽減	25票
医師・病院のあり方	15票
医療機関の利用改善	10票
医療器具の整備	4票

③健康相談について(26 票)

疾病予防や治療のほかに、健康について気軽に相談できる窓口の充実が求められています。相談時間としては、休日の窓口開設がもっとも多く望まれています。また相談の手段としては、市役所以外での窓口増設のほか、保健師やヘルパーなどによる家庭訪問など対面式の相談体制の充実が要望されていますが、一方でインターネットなどを介しての相談を希望する意見もありました。

このほか心の健康づくりとして、精神的な病を抱える人々に対する取り組みが求められています。

項目	票数
相談窓口の充実	20 票
心の健康	6 票

④健康づくり広報・規制について(243 票)

健康づくりに関する広報・規制の要望は非常に高くなっています。規制の面では、たばこの規制を求める意見が非常に多く、歩きタバコの禁止や分煙化推進を条例等で進めることが望まれています。

次に広報の面では、健康情報の提供として、健康診断の重要性をPRしてほしいとの要望が最も多く、ほかには生活習慣病や、うつ病など疾病情報の提供が求められています。計画・事業の広報を望む声も多く、『さいたま市ヘルスプラン 21』についてもっと広報すべきだとの意見が多数に上っています。

広報のしかたについては、特に若い世代から、インターネットや電車・バスのつり広告など色々なメディアを使った広報が求められています。

医療情報の提供としては、信頼できる病院や、休日診療している医療機関などの情報提供、また少数意見として高額医療補助制度による医療費の返還制度や、自動体外式除細動器の取り扱い方法などについての広報・周知が要望されています。

また、食の情報提供としては、異常発生時の速やかな情報提供が求められています。

項目	票数
たばこの規制	56 票
健康情報の提供	42 票
計画・事業の広報	42 票
広報のしかた	31 票
広報の充実	22 票
医療情報の提供	19 票
食の情報提供	14 票
市報の改善	8 票
喫煙者への配慮	3 票

⑤健康づくり関連事業について(83 票)

市の健康づくり関連事業の実施方法については、まず身近な会場での実施してほしいとの要望が多く、次いで、土日や夜間の開催、託児等福祉体制の整備、事業回数の増加の要望が見られます。

運動教室およびイベントの充実方策としては、子どもや若者、妊婦、高齢者など対象者を絞った企画が求められており、なかでもウォーキング大会など直接からだを動かすイベントや診察を受けるなど健康状況を把握できるようなイベント案が出されました。このほか、講座・学習の充実については、公民館での健康全般や環境に関する講座の要望が挙げられています。

項目	票数
実施方法の改善	26 票
運動教室の充実	23 票
イベントの充実	21 票
講座・学習の充実	14 票

⑥運動できる環境について(147 票)

健康づくりには運動が欠かせません。運動環境整備のなかで最も多かった要望は、運動施設の充実です。身近な場所への設置要望が最も多く、ほかには市営施設や、高齢者等の対象者別施設、また室内プールなどの施設内の充実が求められています。

続いて運動施設の利用改善では主に3つのことが挙げられています。まず料金を安くすること、次に利用手続きは予約無しで即日利用も可能すること、最後に時間帯について土休日や夜間にも利用できるようにすることが望まれています。

こうした運動施設以外の運動環境としては、ウォーキングコースや公園・広場の整備、さらに子どもが安心して遊べる場所の確保のほか、運動機会の提供として、運動団体の紹介などが望まれています。

項目	票数
運動施設の充実	69 票
運動施設の利用改善	21 票
その他環境整備	18 票
公園・広場の整備	15 票
運動機会の提供	11 票
子どもの遊び場	8 票
運動施設の管理	5 票

⑦健康教育について(23 票)

健康づくりは家庭のみならず、学校教育としても求められています。内容としては、食生活や歯磨き指導、喫煙による疾病の危険などに関する指導の要望があります。

また学校に限らず、行政に対する要望として、たばこや酒など生活習慣を、特に若者に対して行なうことが要望されています。

さらに身体のみでなく、心の健康づくりに関して教育現場での実施が少数意見ながら望まれています。

項目	票数
学校での教育	11 票
生活習慣の指導	10 票
心の健康づくり	2 票

⑧食生活について(11 票)

家庭における食生活を見直すために、市には食育を進めることが強く求められています。特に幼児や義務教育中の子どもへの食育が要望されています。

次に、安全な食品の提供が望まれており、流通段階など消費者が購入するまでの食品の安全管理が求められています。これに類するものとして、食品検査の徹底や、食品の表示の適正化（産地表示の義務付けや、虚偽表示への取り締まり）、また衛生管理の徹底が挙げられています。

このほかには地産地消や、少数意見ではありますが、市として農作物づくりの段階から安全性を管理するべきという意見も見られました。

項目	票数
食育	36 票
安全な食品の提供	21 票
食品検査	15 票
食品の表示	14 票
地産地消	12 票
衛生管理	7 票
安全な食品づくり	6 票

⑨住環境について(33 票)

住環境を整備することも健康づくりの一環として捉えると、まず衛生管理としてゴミの管理・収集・処理の徹底が求められています。住宅周辺における緑地の確保、増加など緑化についての意見も多く、具体的には大宮駅周辺や国道 17 号沿いの緑化が要望されています。

さらに周辺環境の整備・規制としては、排気ガス対策や、住居地区内での農薬・消毒薬散布の規制が求められています。

項目	票数
緑化	13 票
衛生管理	12 票
周辺環境の整備・規制	8 票

⑩健康関連その他について(420 票)

健康管理の方法に関する記述は多く、なかでも、食生活に関して、1 日 3 食、バランスのよい食事を心がける方が多くなっています。次いで適度な運動、睡眠や休養など身体管理、さらにストレスをためないなど精神面への配慮も挙げられました。これらの個人的な取り組みの背景には、自分の健康は自分で守ろうという意思がみられます。

一方で、個人の力だけでは対応しきれない問題についての対策が求められています。

まず、高齢化対策として、介護サービスの充実や内容などの周知、老人福祉施設の増設要望が多くみられます。また生活支援として、通院などの交通費負担の軽減や、高齢者の憩いの場所が求められています。さらに、少子化対策としては、出産費用や保育施設の整備に加えて、母親学級などの交流の場を充実させてほしいという要望があります。また、その他福祉としては、バリアフリー対策が最も多く、ほかには保健センターの所在地の周知や、疾病による長期休職後の社会復帰支援に関する案内が要望されています。

今後の計画の進め方については、医療機関との連携、区や町ごとの施策実行が挙げられています。

項目	票数
健康管理の方法	140 票
高齢化対策	66 票
計画	45 票
少子化対策	17 票
国民健康保険	13 票
公共施設の利用改善	12 票
その他福祉	32 票

調查票

さいたま市 健康についての調査 報告書

平成 18 年 3 月 発行

さいたま市 保健福祉局 保健部 健康増進課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4
電話 048-829-1294

さいたま市 健康についての調査

《 アンケートについてのお願い 》

さいたま市では、すべての市民の皆様が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を形成するため、平成15年3月に『ヘルスプラン21』を策定し、市民の健康づくりを推進してまいりました。このヘルスプラン21は、平成22年までの8年間を計画期間としており、このたび、プランの中間評価を行うため、15歳以上の市民の皆様から無作為に選んだ10,000人の方を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、皆様の健康状態や生活習慣などをお聞きし、プランに掲げた目標の見直しや市の保健施策に反映していくための基礎資料とするものです。お忙しいところを誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

なお、調査は無記名であり、あなたの書かれた内容は秘密が守られ、調査の目的以外に利用されることは一切ありませんので、率直にご回答くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成17年8月

さいたま市長 相川 宗一

ご記入にあたってのお願い

1. 調査は無記名です。お名前は書かないよう、お願いいたします。
2. 宛名のご本人がご記入くださいますよう、お願いいたします。
3. 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。
4. 回答数は（ ）内の指示に沿ってください。
5. 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
6. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や「ことわり書き」をよくお読みください。
7. ご記入が済みました調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**9月5日（月）まで**にご投函ください。
8. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

さいたま市 保健福祉局保健部健康増進課

TEL 048-829-1294

FAX 048-829-1967

健康観、現在の健康状況について、おうかがいします。

問1 現在、あなたは自分の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|------------|------------------|
| 1. とても健康である | 3. 疲労気味である | 5. 療養中(入院・通院)である |
| 2. まあ健康である | 4. 病気がちである | |

問2 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 気をつけている | 3. あまり気をつけていない |
| 2. ある程度は気をつけている | 4. 気をつけていない |

問2-1 (問2で「1. 気をつけている」、または「2. ある程度は～」とお答えの方に)何か実行していることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 食事、栄養に気をつけている(バランスのよい食事をとるようにしている) |
| 2. 日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている |
| 3. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とるようにしている |
| 4. 規則正しい生活を送っている |
| 5. 定期的に健康診断を受けている |
| 6. 気持ちをなるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている |
| 7. 歯と歯ぐきの健康に気をつけている |
| 8. たばこを控えている |
| 9. お酒を控えている |
| 10. 安全な食品や飲み水に気をつけている |
| 11. 体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している |
| 12. 健康について、家族や友人などと話をする |
| 13. 役割や目的意識を持って、毎日生活している |
| 14. 新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている |
| 15. その他 () |

問3 自分の健康について不安を感じることがありますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

(問3-1へ)

問3-1 (問3で「1. よくある」、または「2. ときどきある」とお答えの方に) それほど
んな不安ですか。(○は3つまで)

1. がん、心臓病、脳卒中など生活習慣病(成人病)*への不安
2. 生活習慣病(成人病)以外の病気への不安
3. 心の病気に対する不安
4. 働けなくなることへの不安
5. 体が不自由になるのではないかという不安
6. 家族に迷惑をかけることへの不安
7. 介護・看病してくれる人がいないのではないかという不安
8. 病院や医師に関する不安
9. 医療費の支払いに関する不安
10. 何となく漠然とした不安
11. その他()

*** 生活習慣病(成人病)とは**
「食べる」「動く」「休む」「たばこ」「アルコール」など、日常生活の習慣のかたよりによって引き起こされる病気の総称です。がん、脳卒中、心臓病、糖尿病などがその典型です。

問3-2 (問3で「1. よくある」、または「2. ときどきある」とお答えの方に) ご自身の健康の不安について、どこに相談していますか。

1. 家族や親類
2. 知人
3. 医療機関
4. 職場の上司や同僚
5. 学校の先生または保健室の先生
6. 公的な機関(保健センター、保健所など)
7. 民間の相談機関(悩み相談所など)
8. 職場の健康管理部門
9. その他()

栄養・食生活について、おうかがいします。

問4 現在の(日常)の食生活の状況をお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1. 朝・昼・夕3食食べている
2. 間食・夜食を控えている
3. 食事は腹八分目までにしている
4. 栄養に配慮し、いろいろな食品を食べている
5. 菓子類(菓子パンを含む)を食事代わりに食べることがある
6. 主食(ごはん・パン・めん類など)を食べないことがある
7. 家族や友人と一緒に食事をしている
8. おいしく楽しく食事をしている
9. 動物性脂肪(脂身の多い肉やバターなど)を控えている
10. 油を使った料理(から揚げ・天ぷらなど)を控えている
11. 塩分をとり過ぎないように、薄味にしている
12. 自分にとって適切な食事の内容・量を知っている

問5 あなたは、朝食をとっていますか。(○は1つだけ)

1. 毎日とっている	2. 毎日とはっていない	3. ほとんどとっていない
------------	--------------	---------------

問6 あなたは、毎食野菜を食べていますか。(○は1つだけ)

1. 毎食食べている	2. 毎日1～2回食べている	3. ほとんど食べていない
------------	----------------	---------------

問7 次の食品を、どのくらいの頻度で食べていますか。ア～ウのそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1. 毎日	2. 週に4～6日	3. 週に1～3日	4. 週に1日未満
ア. 牛乳・乳製品	1	2	3	4
イ. 大豆・大豆製品	1	2	3	4
ウ. 果物	1	2	3	4

問8 あなたの外出(市販の弁当も含む)状況について、お答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
ア. 朝食	1	2	3
イ. 昼食	1	2	3
ウ. 夕食	1	2	3

問9 現在の自分の食生活をどのように思いますか。(○は1つだけ)

1. よい	2. ふつう	3. 少し問題がある	4. 問題が多い
-------	--------	------------	----------

問9-1 (問9で2～4をお答えの方に) 自分の食生活について、今後どのようにしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

1. 今より良くしたい	2. 今のままでよい	3. 特に考えていない
-------------	------------	-------------

身体活動・運動について、おうかがいします。

問10 あなたは日頃から、意識的に体を動かしていますか。(○は1つだけ)

1. よく動かしている	3. あまり動かしていない
2. ふつう	4. ほとんど動かしていない

問11 あなたは、ふだん通勤・買い物・散歩等の日常生活で歩く時間を合計すると、1日に何分くらい歩きますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| 1. 30分以下 | 2. 30分以上1時間未満 | 3. 1時間以上 |
|----------|---------------|----------|

問12 あなたは運動習慣がありますか。(○は1つだけ)

(「運動習慣」とは、1回30分以上の運動をおおよそ週2回以上実施し、1年以上継続している場合をいいます。)

- | | | |
|-------|---------------------------|-------|
| 1. ある | 2. 運動習慣の条件は満たさないが、運動はしている | 3. ない |
|-------|---------------------------|-------|

(問12-2へ)

問12-1 (問12で「1. ある」「2. 条件は満たさないがしている」とお答えの方に)では、具体的に何をしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. ウォーキング | 6. 球技 (テニス、バレーボール、野球等) |
| 2. ジョギング | 7. 陸上競技 |
| 3. 水泳 | 8. 武道、格闘技 |
| 4. スポーツジムなどでの運動 | 9. その他 () |
| 5. 体操、エアロビクス、ダンス | |

問12-2 (問12で「3. ない」とお答えの方に) 運動していない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1. 病気や健康上の理由から |
| 2. 時間に余裕がないから |
| 3. 費用がかかるから |
| 4. 身体を動かすことが好きではないから |
| 5. 安全にウォーキングやジョギングなどのできる歩道や公園が整備されていないから |
| 6. 誰でも気軽に利用できる運動施設が近くにないから |
| 7. 運動を一緒に楽しんでもくれる仲間がないから |
| 8. 運動する必要がないと思うから |
| 9. その他 () |
| 10. 特に理由はない |

問14-1 (問14で「1. 身近にいる」、または「2. 身近ではないがいる」とお答えの方に)
相談にのってくれるのは誰ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 家族や親類	6. 公的な機関(保健センター、保健所など)
2. 知人	7. 民間の相談機関(悩み相談所など)
3. 医療機関	8. 職場の健康管理部門
4. 職場の上司や同僚	9. その他()
5. 学校の先生または保健室の先生	

問15 あなたの平均睡眠時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

1. 6時間未満	2. 6時間以上8時間未満	3. 8時間以上
----------	---------------	----------

問16 睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(○は1つだけ)

1. 十分とれている	3. あまりとれていない
2. ある程度とれている	4. とれていない

問17 眠りを助けるために睡眠剤を使用したり、アルコールを飲んだりすることがあります。使う場合は、どの程度ですか。(○は1つだけ)

ア. 睡眠剤	1. 使うことがある 2. 使わない	→	1. ほとんど毎日 2. 週に数回 3. 月に数回
イ. アルコール	1. 使うことがある 2. 使わない	→	1. ほとんど毎日 2. 週に数回 3. 月に数回

問18 あなたは、生きがい・やりがいを持っていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている	2. 持っていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問18-1 (問18で「1. 持っている」とお答えの方に) それは具体的にどのようなことですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 趣味	7. 家族のつながりや団らん
2. スポーツ	8. 友達とのつきあい
3. 勉強・学習	9. 信仰や精神修行
4. 仕事	10. 地域活動、ボランティアなど社会的な活動
5. 育児	11. その他
6. 家事	()

たばこについて、おうかがいします。

問19 たばこを吸うと、ア～クの病気についてかかりやすくなると思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	思 う	思わない	わからない
ア. 肺がん	1	2	3
イ. ぜんそく	1	2	3
ウ. 気管支炎	1	2	3
エ. 心臓病	1	2	3
オ. 脳卒中	1	2	3
カ. 胃かいよう	1	2	3
キ. 妊娠への影響 (未熟児など)	1	2	3
ク. 歯周病 (歯そうのうろう)	1	2	3

問20 あなたは、分煙化・禁煙化を進めるべきだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 分煙化・禁煙化を進めるべきだ
2. どちらともいえない
3. 分煙化・禁煙化を進める必要はない

【次の問21は 喫煙経験についてお尋ねするものです。実態を明らかにし対策に役立てるため、20歳未満の方もお答えください】

問21 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

1. 吸 う

2. 以前吸っていたが、やめた

3. 吸わない

問21-1 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) はじめて、たばこを吸ったのは何歳ですか。(○は1つだけ)

1. 12歳以下 (小学生以下)
2. 13～15歳 (中学生)
3. 16～19歳
4. 20歳以上

問21-2 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) たばこを吸ったきっかけは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 好奇心・興味があったから
2. 友人にすすめられたから
3. 親・兄弟が吸っていたから
4. ストレス解消のため
5. 何となく
6. わからない
7. その他 ()

問21-3 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) あなたは、たばこをやめたいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------------|-----------|
| 1. やめたい | 2. 吸う本数を減らしたい | 3. やめたくない |
|---------|---------------|-----------|

問21-4 (問21で「1. 吸う」とお答えの方に) たばこを吸うときに周囲に気がつかっていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|---------------|----------|
| 1. いつも気がつかっている | 3. あまり気がつかわない | 5. わからない |
| 2. 気がつかうことが多い | 4. 気がつかわない | |

お酒（アルコール）について、おうかがいします。

問22 お酒を飲みすぎると、ア～コの病気についてかかりやすくなると思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	思 う	思わない	わからない
ア. 肝臓病	1	2	3
イ. 胃腸病	1	2	3
ウ. 糖尿病	1	2	3
エ. 肥満	1	2	3
オ. 高脂血症	1	2	3
カ. 心臓病	1	2	3
キ. 妊娠中の影響 (胎児性アルコール症候群)	1	2	3
ク. 依存症	1	2	3
ケ. 脳障害	1	2	3
コ. 高血圧	1	2	3

【 次の問23は、飲酒経験についてお尋ねするものです。実態を明らかにし対策に役立てるため、20歳未満の方もお答えください】

問23 あなたは、お酒（洋酒、日本酒、ビールなど）をどの程度飲みますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日飲む | 4. 週に1～2日飲む | 6. 全く飲まない |
| 2. 週に5～6日飲む | 5. それ以下 | |
| 3. 週に3～4日飲む | | |

↓
(問23-1～)

問23-1 (問23で1～5をお答えの方に) 日本酒に換算して、1日に平均してどれくらい飲んで
いますか。(○は1つだけ)

(注) 日本酒1合 = ビール大ビン1本 = ワイン2杯 = ウイスキーダブル1杯
(633ml) (120ml×2杯) (60ml)

缶ビール500mlは0.8合、350mlは0.5合、焼酎(25度)1杯(120ml)は1合とします。

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1. 1合未満 | 2. 1合～3合未満 | 3. 3合以上 |
|---------|------------|---------|

問23-2 (問23で1～5をお答えの方に) お酒を飲み始めたのは、いつからですか。(○は1
つだけ)

- | | | | |
|-----------------|----------------|-----------|----------|
| 1. 12歳以下(小学生以下) | 2. 13～15歳(中学生) | 3. 16～19歳 | 4. 20歳以上 |
|-----------------|----------------|-----------|----------|

問23-3 (問23で1～5をお答えの方に) お酒を飲み始めたきっかけは何ですか。(○はあて
はまるものすべて)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 好奇心・興味があったから | 5. さみしいから |
| 2. 友人にすすめられて | 6. 何となく・わからない |
| 3. 親・兄弟が飲んでいたので | 7. その他 |
| 4. ストレス解消のため | () |

問23-4 (問23で1～5をお答えの方に) あなたは、今後、飲酒について、どのようにしたい
と思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. やめたい | 3. このままでよい |
| 2. 飲む量を減らしたい | 4. その他 () |

歯の健康について、おうかがいします。

問24 歯科健診を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------------|------------|-----------|
| 1. 定期的(年1回)に受けている | 2. 時々受けている | 3. 受けていない |
|-------------------|------------|-----------|

問25 歯や口の健康のために気を付けていることはありますか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 1日1回以上は歯(義歯)をていねいに磨いている |
| 2. 歯ブラシのほかに、デンタルフロス(糸ようじ)や歯間ブラシを使う |
| 3. フッ素を利用している(歯磨剤・塗布・洗口など) |
| 4. 口の中を自分で観察するようにしている |
| 5. 定期的に歯石を取ってもらう |
| 6. 歯みがき指導を毎年定期的に受けている |
| 7. よく噛んで食べるようにしている |
| 8. 間食や甘い物を控えている |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

問26 自分の歯や口の状態について、どのように思っていますか。(○は1つだけ)

1. よい	2. よくない	3. わからない
-------	---------	----------

問26-1 (問26で「2. よくない」とお答えの方に) その理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 歯が痛んだりしんだりする 2. 歯ぐきから血が出る 3. 歯ぐきが腫れる、色が悪い 4. 歯が動く 5. 歯並びが悪い 6. 食べ物がはさまる 7. 食べ物がよく噛めない	8. 入れ歯があわない 9. 口臭がある 10. 口内炎がしやすい 11. あごの調子が悪い 12. 飲み込みにくいことがある 13. その他 () 14. わからない
--	---

疾病予防・健康診断や検査について、おうかがいします。

問27 あなたは、最近1年以内に、健康診断や検査を受けましたか。(○は1つだけ)

1. 受けた	2. 受けていない	→ 問27-3へ
--------	-----------	----------

問27-1 (問27で「1. 受けた」とお答えの方に) では、次にあげる健康診断などをどこで受けましたか。ア～ケのそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

		学校で	職場で	市が実施する健康診断や検査で	人間ドックなどで、その他、個人的に	受けていない
ア. 血圧、検尿、血液検査などの健康診断		1	2	3	4	5
がん 検 診	イ. 胃がん		2	3	4	5
	ウ. 肺がん (胸部レントゲン撮影)		2	3	4	5
	エ. 大腸がん (便の潜血反応)		2	3	4	5
	オ. 乳がん (女性のみ)		2	3	4	5
	カ. 子宮がん (女性のみ)		2	3	4	5
キ. 歯科健診		1	2	3	4	5
ク. 結核検診		1	2	3	4	5
ケ. 骨粗しょう症健診			2	3	4	5

問27-2 (問27で「1. 受けた」とお答えの方に) 次にあげるア～カのような指摘を受けたことがありますか。また、指摘を受けたことが「ある」方は、その指摘をされた後、どのようにされたかをお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

ア. 血糖値が高い	1. ある → 2. ない 3. わからない	1. 精密検査や再検査を受けた 2. 食事や生活などの指導を受けた 3. 治療をした(治療中を含む) 4. 自分の健康に気をつけるようにした 5. その他() 6. 何もしなかった
イ. 血圧が高い	1. ある → 2. ない 3. わからない	1. 精密検査や再検査を受けた 2. 食事や生活などの指導を受けた 3. 治療をした(治療中を含む) 4. 自分の健康に気をつけるようにした 5. その他() 6. 何もしなかった
ウ. コレステロールや中性脂肪が高い	1. ある → 2. ない 3. わからない	1. 精密検査や再検査を受けた 2. 食事や生活などの指導を受けた 3. 治療をした(治療中を含む) 4. 自分の健康に気をつけるようにした 5. その他() 6. 何もしなかった
エ. 骨粗しょう症	1. ある → 2. ない 3. わからない	1. 精密検査や再検査を受けた 2. 食事や生活などの指導を受けた 3. 治療をした(治療中を含む) 4. 自分の健康に気をつけるようにした 5. その他() 6. 何もしなかった
オ. ふとりすぎ	1. ある → 2. ない 3. わからない	1. 精密検査や再検査を受けた 2. 食事や生活などの指導を受けた 3. 治療をした(治療中を含む) 4. 自分の健康に気をつけるようにした 5. その他() 6. 何もしなかった
カ. その他()	1. ある → 2. ない 3. わからない	1. 精密検査や再検査を受けた 2. 食事や生活などの指導を受けた 3. 治療をした(治療中を含む) 4. 自分の健康に気をつけるようにした 5. その他() 6. 何もしなかった

問27-3 (10ページの間27で「2. 受けていない」とお答えの方に) 受けていない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 入院中または治療中だったから
2. 健康に自信があるから
3. 悪いと言われるのが怖いから
4. 検査内容が十分だと思わないから
5. 健康診断や検査の場所が身近にないから
6. 健康診断や検査の受け方がわからないから
7. 経済的理由から (健康診断や検査の料金が安いから)
8. 忙しくて受ける時間がなかったから
9. 受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった
10. 健康診断や検査の場所や日時を知らなかったから
11. その他 ()

食の安全性について、おうかがいします。

問28 食品の安全性について、不安に感じることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. アレルギー物質の含有 | 8. 食品の異常 (異物混入、異臭など) |
| 2. 遺伝子組み換え食品 | 9. 輸入食品の安全性 |
| 3. 抗生物質の使用 | 10. B S E 関係 |
| 4. 食中毒の発生 | 11. 健康食品・サプリメント |
| 5. 食品添加物の使用 | 12. その他 () |
| 6. 残留農薬 | 13. 特に不安はない |
| 7. 食品の虚偽表示 | |

問29 食の安全性について、どのような広報媒体を利用して情報を得たいですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. インターネットのホームページ | 6. 啓発用パンフレット |
| 2. メールマガジン | 7. 講習会・座談会・体験教室等のイベント |
| 3. 携帯電話用サイト | 8. 新聞・雑誌の記事 |
| 4. 市報や各種回覧 | 9. テレビ・ラジオの情報 |
| 5. 行政機関への問い合わせ | 10. メーカー・販売店への問い合わせ |

問30 食品の安全性を確保するために、市としてどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

1. 情報提供の充実
2. 相談体制の充実
3. 衛生管理の監視・指導の強化
4. 化学物質や残留農薬の検査の強化
5. 食品に起因する病気の防止対策
6. 食品表示の適正化
7. 地産地消*の推進
8. 食育*の推進
9. その他 ()
10. わからない

***地産地消とは**
地域生産・地域消費の略語で、「地域で生産した農林水産物を、地域で消費する」という意味で使われています。

***食育とは**
心身の健康の基本となる食生活に関するさまざまな教育を行うことです。

さいたま市の健康づくりに関する施策について、おうかがいします。

問31 「さいたま市ヘルスプラン21」とは、すべての市民が健康でいきいきとした生活を送ることができるよう策定した、健康づくりの行動計画です。この計画は、市民・民間団体・事業所と行政が一体となって検討し、健康づくりの具体的な目標値や取り組みを栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、健康管理の7つの分野に分けて掲げています。あなたは、この「さいたま市ヘルスプラン21」をご存知でしたか。(○は1つだけ)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 名前も内容も知っていた 2. 名前は知っているが、内容はよく知らなかった | <ol style="list-style-type: none"> 3. 知らなかった |
|--|---|

問31-1 (問31で「1. 名前も内容も知っていた」「2. 名前は知っている…」とお答えの方に) どちらで知りましたか (○はあてはまるものすべて)

1. 市報さいたま
2. 市のホームページ
3. ヘルスプラン21のパンフレット
4. ヘルスプラン21のポスター
5. ヘルスプラン21サポーターのステッカー
6. その他 ()



ヘルスプラン 21 サポーターのステッカー

最後に、あなた自身のことについておうかがいします。

問34 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問35 あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 15～19歳 | 4. 30～34歳 | 7. 45～49歳 | 10. 60～64歳 | 13. 75歳以上 |
| 2. 20～24歳 | 5. 35～39歳 | 8. 50～54歳 | 11. 65～69歳 | |
| 3. 25～29歳 | 6. 40～44歳 | 9. 55～59歳 | 12. 70～74歳 | |

問36 現在のあなたの就労状況は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. 常勤就労 | 5. 生徒・学生 |
| 2. 非常勤就労 (パートタイム・アルバイト・内職) | 6. 無職 |
| 3. 自営業 | 7. その他 |
| 4. 家事専従 | () |

問37 あなたのお宅の世帯類型は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 一人暮らし世帯 |
| 2. 夫婦のみの世帯 |
| 3. 核家族世帯 (親と子どもからなる世帯) |
| 4. 二世帯世帯 (親と子ども夫婦のみで構成される世帯) |
| 5. 三世帯世帯 (親と子ども夫婦と孫の三世帯、あるいはそれ以上の世帯) |
| 6. その他 () |

問38 あなたの身長と体重をご記入ください。

身長	cm	体重	kg
----	----	----	----

問39 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 西区 | 3. 大宮区 | 5. 中央区 | 7. 浦和区 | 9. 緑区 |
| 2. 北区 | 4. 見沼区 | 6. 桜区 | 8. 南区 | 10. 岩槻区 |

以上で終わりです。お忙しいところ、アンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて、9月5日 (月) までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。